

著書

- 1) 大坪毅人. II 基本手技 2.肝切除における血行動態. 肝胆膵高難度外科手術 2010;:50-55.
- 2) 宮島伸宜. 腹腔鏡下 S 状結腸切除術 D3 郭清. 腹腔鏡下大腸手術の基本手術手技 2010;:37-65.
- 3) 牧角良二, 宮島伸宜. 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術. Digestive Surgery Now NO.9 下部消化管の腹腔鏡下手術 正確な手術を行うためのコツ 2010;9:123-134.
- 4) 福永哲. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術(LADG). 腹腔鏡下胃切除術 一目でわかる術野展開とテクニック 第2版 2010;:2-27.
- 5) 福永哲. 腹腔鏡補助下胃全摘術(LATG). 腹腔鏡下胃切除術 一目でわかる術野展開とテクニック 第2版 2010;:82-97.
- 6) 福永哲. 胃全摘術後再建法 a.経口アンビル挿入法. 腹腔鏡下胃切除術 一目でわかる術野展開とテクニック 第2版 2010;:141-148.
- 7) 福永哲. プタの解剖とトレーニング法. 腹腔鏡下胃切除術 一目でわかる術野展開とテクニック 第2版 2010;:167-177.
- 8) 宮島伸宜. 特集:子宮内膜症治療の諸問題 進行直腸癌を合併した子宮内膜症例に対する腹腔鏡下手術. MEDICAL TORCH 外科医のための現場と症例 2010;16(15):20-21.
- 9) 福永哲. 体位・トロッカー配置, 癌研スタイル. 腹腔鏡下胃切除術 2011;:7-8.
- 10) 福永哲. リンパ節郭清 1) D2 幽門下部(No.14v, No.6, No.4d を含む) 2) D2 幽門上部(No.12a, No.5, No 8a を含む) 3) D2 臍上縁(No.11p, No.9, No 7, No 8 を含む). 癌研スタイル 腹腔鏡下胃切除術 2011;:10-47.
- 11) 福永哲. リンパ節郭清 7) 脾門, 脾門脈周囲(No.11, No.11d). 癌研スタイル 腹腔鏡下胃切除術 2011;:78-84.
- 12) 福永哲. 再建法 1. LDG(LADG)[腹腔鏡(補助)下幽門側胃切除術] Billroth I法再建 Roux-en Y 法再建 腹腔鏡補助下再建(腹腔外吻合) Roux-en Y 法再建 腹腔鏡再建(腹腔内吻合). 癌研スタイル 腹腔鏡下胃切除術 2011;:86-111.
- 13) 福永哲. 再建法 2. LAPRG[腹腔鏡補助下幽門保存胃切除術] 三角吻合. 癌研スタイル 腹腔鏡下胃切除術 2011;:131-136.
- 14) 福永哲. 再建法 3.LTG(LATG)[腹腔鏡(補助)下胃全摘術] 経口的 Anvil 挿入法(Orvil 法). 癌研スタイル 腹腔鏡下胃切除術 2011;:143-150.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 大坪毅人. 特集 必読 最新の肝切除-その 2 1. 肝切除中の出血を減らす血行遮断の工夫. 外科 2010;72(5):457-460.
- 2) 中野浩, 三浦和裕, 櫻井丈, 小池淳樹, 大坪毅人. 大腸癌肝転移に対する治療の Update 化学療法による肝組織障害. 外科治療 2010;102(6):857-862.
- 3) 民上真也, 宮島伸宜, 嶋田仁, 佐々木貴浩, 片桐秀元, 須田直史, 大坪毅人. 尿管管瘻に対する腹腔鏡下手術の検討-自験例および本邦報告例の検討-. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(2・3):89-96.
- 4) 福永哲, 佐野武士, 山口利治. 特集:内視鏡・内視鏡外科治療最前線 胃癌・食道癌に対する内視鏡外科治療の進歩. 日

本臨床 2010;68(7):1328-1333.

- 5) 福永哲, 比企直樹, 明石義正, 野原恭子, 片山宏, 窪田健, 愛甲丞, 熊谷厚志, 大山繁和, 佐野武, 山口俊晴. 消化器外科手術による新しい潮流 特集 経口アンビルを用いた食道-空腸吻合 Advances in circular stapling technique for esophagejunostomy:transoral placement of the anvil(OrVilTM). 臨床外科 2010;65(5):628-632.
- 6) 福永哲, 佐野武, 山口俊晴. 鏡視下手術用機器 10.超音波凝固切開装置と LigaSureTM-その基本と応用-. 手術 5 月臨時増刊号 手術機器の使い方 -基本と応用- 2010;64(6):867-872.
- 7) 山田恭司, 濱谷昌弘, 岩端秀之, 松森智子, 本田朱麗, 本庄広大, 川嶋八也, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫夫, 大坪毅人. 当院における右側結腸癌に対する小切開手術と腹腔鏡手術の比較. 小切開・鏡視外科学会雑誌 2010;1(1):117-120.
- 8) 瀬上航平, 小林慎二郎, 大坪毅人. Magnetic resonance cholangiopancreatography(MRCP)を用いた胆管合流の形態および位置に関する検討(グリソン鞘一括処理法による肝左葉切除の安全性の検討). 聖マリアンナ医科大学雑誌 2011;38(4):221-227.
- 9) 亀井奈津子, 小泉哲, 朝野隆之, 榎本武治, 大坪毅人. 鼠径部ヘルニアにおける鼠径部除圧下腹臥 CT 撮影法(ヘルニアスタディ)に関する検討. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2011;38(4):213-219.
- 10) 櫻井丈, 福永哲, 大坪毅人. 特集:腹部・臓器出血の診断と治療 2.胃・十二指腸から出血. 臨床雑誌「外科」2010;70(10):1033-7.
- 11) 大坪毅人, 福永哲, 小泉哲, 櫻井丈, 榎本武治, 片山真史. 特集:必読 セカンドオピニオン I.消化管 7.胃・十二指腸潰瘍. 外科 2010;72(12):1289-1293.

② 総説又は症例解説

- 1) 大坪毅人. 外科とリスクマネジメント 7. インフォームドコンセント. 日本外科学会雑誌 2010;111(3):166-169.
- 2) 小泉哲, 榎本武治, 小林慎二郎, 櫻井丈, 四万村司, 牧角良二, 朝倉武士, 中野浩, 月川賢, 大坪毅人. 特集:Oncologic emergency の診断と治療 I 消化器外科領域における oncologic emergency の現況. 日本腹部救急医学会雑誌 2010;30(5):639-646.
- 3) 宮島伸宜, 民上真也, 佐々木貴浩, 嶋田仁, 大坪毅人. 内視鏡的生陰後合併症 結腸. 消化器外科 4 月臨時増刊号 外科当直医必携 2010;33(5):922-924.
- 4) 小泉哲, 大坪毅人. イレウス管挿入. 消化器外科 4 月臨時増刊号 外科当直医必携 2010;33(5):594-596.
- 5) 小泉哲, 大坪毅人. 特集 保存版 臓器がわかればケアアップ! 超図解 消化器外科の解剖整理 5 肝臓・胆道. 消化器外科 NURSING 2011;16(1):55-62.

③ 症例報告

- 1) 四万村司, 須田直史, 小林慎二郎, 櫻井丈, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. Sister Mary Joseph's を認めた上行結腸癌の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌 2010;63(4):197-200.
- 2) 小林慎二郎, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 小池淳樹, 大坪毅人. 病理組織学的にも類似し嚢胞性腫瘍の形態をとった尿管管瘻を合併した IPMN の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2010;71(4):1030-1033.
- 3) 三浦和裕, 月川賢, 西尾乾司, 片桐秀元, 櫻井丈, 四万村司,

牧角良二, 大坪毅人. 抗癌剤感受性試験を用いた化学療法が効果的であった原発不明癌の1例. 癌と化学療法 2010;37(7):1401-1404.

- 4) 佐々木貴浩, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人, 小池淳樹, 土居正知. 胆嚢原発小細胞癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 2010;71(8):2129-2133.
- 5) 西尾幹司, 小林慎二郎, 櫻井丈, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. イレウス管留置が原因となった腸重積の1例. 日本外科系連合学会雑誌 2010;35(4):593-597.
- 6) 諏訪敏之, 櫻井丈, 浜辺太郎, 畑地慶三, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 前田長生, 大坪毅人. 急性腹症が契機となり術前診断し得た虫垂粘液嚢腫の1例. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(2・3):139-143.
- 7) 朝倉武士, 星野博之, 小林慎二郎, 小泉哲, 中野浩, 大坪毅人, 前田一郎, 高木正之. 異時性腎盂尿管癌に同時性肝細胞癌と膵管内乳頭粘液腺癌を併存した1例. 日本臨床外科学会雑誌 2010;71(8):2179-2184.
- 8) 民上真也, 石井利昌, 奈良橋喜芳, 小森山広幸, 高野俊史, 大坪毅人. 残胃に発生した内分泌細胞癌の1例. 外科 2010;72(8):887-891.
- 9) 芦川和広, 片山真史, 神尾浩司, 朝野隆之, 小森山広幸. 腹腔内に小腸穿孔を来した成人 Bochdalek 孔ヘルニアの1例. 日本消化器外科学会雑誌 2010;43(10):1054-1058.
- 10) 山田恭司, 奈良橋喜芳, 小野田恵一郎, 本田朱麗, 本庄広大, 川嶋八也, 岡本紀彦, 野田真一郎, 金子英彰, 横手薫美夫. UFT+LV療法により組織学的CRを得た腹腔内膿瘍合併直腸癌の1例. 癌と化学療法 2010;37(8):1587-1590.
- 11) 嶋田仁, 櫻井丈, 片桐秀元, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. 結腸膀胱瘻をきたした壁外発育型S状結腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 2011;72(3):737-741.
- 12) 櫻井丈, 牧角良二, 四万村司, 瀬上航平, 諏訪敏之, 榎本武治, 小林慎二郎, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 腹腔鏡下S状結腸切除後に一過性大腸炎によるイレウスを合併した1例. 日本外科系連合学会雑誌 2011;35(6):910-914.
- 13) 瀬上航平, 櫻井丈, 牧角良二, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 消化管通過障害を来したS状結腸巨大脂肪腫の1例. 手術 2011;65(3):397-400.
- 14) 吉田有徳, 櫻井丈, 西尾幹司, 根岸宏行, 瀬上航平, 小林慎二郎, 牧角良二, 大坪毅人. 術前組織学的診断が可能であった原発性進行小腸癌の1例. 日本外科系連合学会雑誌 2011;36(1):23-6.
- 15) 月川賢, 松岡博光, 四万村司, 牧角良二, 櫻井丈, 大坪毅人. 症例の改善度からみた吸引式痔核結紮術の適応と限界. 日本臨床外科学会雑誌 2010;71(4):907-912.
- 16) 朝倉武士, 月川賢, 伊藤弘昭, 三浦和裕, 宮崎賢澄, 野田顕義, 小林慎二郎, 小泉哲, 中野浩, 大坪毅人. S状結腸軸捻転症に対するS状結腸間膜形成術. 日本消化器外科学会雑誌 2010;43(7):770-775.

④ その他

- 1) 三浦和裕, 小泉哲, 小林慎二郎, 榎本武治, 櫻井丈, 朝倉武士, 大坪毅人. 当科における院内PHS使用に関する検討. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(2・3):151-155.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Chad Deisenroth, Aaron R. Thorner, Takeharu Enomoto, Charles M. Perou, Yanping Zhng. Mitochondrial HEP27 Is a c-Myb Target Gene That Inhibits Mdm2 and Stabilizes P53. Molecular and Cellular Biology 2010;30(16):3981-3993.
- 2) Takeshi Asakura, Hiroaki Ito, Yutoku Yoshida, Hiroyuki Negishi, Shinjiro Kobayashi, Satoshi Koizumi, Hiroshi Nakano, Takehito Otsubo. Usefulness of serum procalcitonin (PCT) measurement for predicting early infectious complications after pancreatoduodenectomy (PD). 日本外科感染症学会雑誌 2010;7(6):583-588.
- 3) Kazuhiro Miura, Hiroshi Nakano, Joe Sakurai, Shinjiro Kobayashi, Satoshi Koizumi, Tatsuhiro Arai, Tsukasa Shimamura, Ryoji Makizumi, Kyouji Yamada, Nobuyoshi Miyajima, Takehito Otsubo, Junki Koike. Splenomegaly in FOLFOX-naive stage IV or recurrent colorectal cancer patients due to chemotherapy-associated hepatotoxicity can be predicted by the aspartate aminotransferase to platelet ratio before chemotherapy. Int J Clin Oncol 2011.

③ 症例報告

- 1) Shinnjiro Kobayashi, Takeshi Asakura, Nobuyuki Ohike, Takeharu Enomoto, Joe Sakurai, Satoshi Koizumi, Taiji Watanabe, Hiroshi Nakano, Takehito Otsubo. Mixed Acinar-Endocrine Carcinoma of the Pancreas with Intraductal Growth into the Main Pancreatic Duct: Report of a Case. Surgery Today 2010;40:380-384.
- 2) Toshiaki Hirasawa, Junko Fujisaki, Tetsu Fukunaga, Yorimasa Yamamoto, Toshiharu Yamaguchi, Masamichi Katori, Noriko Yamamoto. Lymph node metastasis from undifferentiated-type mucosal gastric cancer satisfying the expanded criteria for endoscopic resection based on routine histological examination. Gastric Cancer (2010) 2010;13:267-270.

学会発表

① 国内学会

- 1) 中野浩, 三浦和裕, 櫻井丈, 牧角良二, 四万村司, 新井達広, 戸部直孝, 宮島伸宜, 山田恭司, 大坪毅人. 進行・再発大腸癌の化学療法関連肝障害脾容積増加率によるchemotherapy-naive patientsの抽出. 第110回日本外科学会定期学術集会 2010.
- 2) 朝倉武士, 浜辺太郎, 福岡麻子, 野田顕義, 諏訪敏之, 小林慎二郎, 小泉哲, 中野浩, 大坪毅人. 膵頭十二指腸切除後早期感染性合併症の予測における血清プロカルシトニンの有用性について. 第110回日本外科学会定期学術集会 2010.
- 3) 櫻井丈, 亀井奈津子, 瀬上航平, 小島啓夫, 嶋田仁, 畑地慶三, 野田顕義, 大島隆一, 片桐秀元, 片山真史, 佐々木貴浩, 諏訪敏之, 青木一浩, 榎本武治, 小林慎二郎, 小泉哲, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 大腸癌における血清抗p53抗体の有用性. 第110回日本外科学会定期学術集会 2010.
- 4) 小泉哲, 佐々木貴浩, 諏訪敏之, 小林慎二郎, 朝倉武士, 中

外科学（消化器・一般外科）

- 野浩, 大坪毅人. 胆汁中のアマラーゼ値測定の意義. 第 110 日本外科学会定期学術集会 2010.
- 5) 畑地慶三, 渡邊泰治, 大和田滋, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. NASH モデルラットの IR 障害における ROS の関与と Ca/CaM antagonist(CV159)の治療効果. 第 110 回日本外科学会学術集会 2010.
- 6) 小泉哲, 上原悠也, 亀井奈津子, 片桐秀元, 小林慎二郎, 朝倉武士, 大坪毅人. DPC における鼠径ヘルニア手術への対応～当院における問題点～. 第 8 回日本ヘルニア学会学術集会 2010.
- 7) 小林慎二郎, 亀井奈津子, 上原悠也, 瀬上航平, 三浦和裕, 片桐秀元, 諏訪敏之, 榎本武治, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. 当院における腹壁癒痕ヘルニア根治術の治療成績と現況および合併症対策. 第 8 回日本ヘルニア学会学術集会 2010.
- 8) 畑地慶三, 櫻井丈, 浜辺太郎, 小池彩華, 亀井奈津子, 瀬上航平, 小島啓夫, 宮崎賢澄, 諏訪敏之, 四万村司, 牧角良二, 宮島伸宜, 大坪毅人. 腹壁癒痕ヘルニアに対し Bard Composix Mesh 修復後に生じた難治性腹膜血腫の 1 例. 第 8 回日本ヘルニア学会学術集会 2010.
- 9) 小林慎二郎, 天神和美, 瀬上航平, 亀井奈津子, 上原悠也, 野田顕義, 片桐秀元, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. 幽門輪上に膵管と胆管が別開口していた膵胆管形成異常の 1 例. 第 79 回日本消化器内視鏡学会総会 2010.
- 10) 天神和美, 小林慎二郎, 瀬上航平, 亀井奈津子, 上原悠也, 野田顕義, 三浦和裕, 片桐秀元, 諏訪敏之, 櫻井丈, 小泉哲, 四万村司, 牧角良二, 朝倉武士, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 内視鏡がきっかけとなって盲腸内に排膿し縮小し得た膿瘍形成虫垂炎の 1 例. 第 79 回日本消化器内視鏡学会総会 2010.
- 11) 中野浩, 三浦和裕, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 山田恭司, 宮島伸宜, 大坪毅人, Daniel Jaeck. 化学療法関連肝障害, 脾腫, AST/血小板比から考慮する大腸癌肝転移に対する肝切除のリスク. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 12) 朝倉武士, 上原悠也, 亀井奈津子, 野田顕義, 片桐秀元, 小林慎二郎, 小泉哲, 中野浩, 大坪毅人. 教室における膵頭十二指腸切除時の膵腸吻合の工夫と膵液瘻. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 13) 小泉哲, 小林慎二郎, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. MDCT より作成した MPR 画像による肝細胞癌の術前腫瘍肉眼分類診断. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 14) 小林慎二郎, 小泉哲, 亀井奈津子, 上原悠也, 野田顕義, 佐々木貴浩, 片桐秀元, 諏訪敏之, 櫻井丈, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. MRCP 所見を用いた肝門部における胆管の合流形態と門脈分岐の関係についての検討. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 15) 小林慎二郎, 上原悠也, 亀井奈津子, 野田顕義, 諏訪敏之, 片桐秀元, 櫻井丈, 小泉哲, 中野浩, 有泉泰, 小池淳樹, 大坪毅人. 自己免疫関連性胆管炎の臨床病理学的検討. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 16) 野田顕義, 小林慎二郎, 天神和美, 岩重玲子, 福岡麻子, 亀井奈津子, 上原悠也, 宮崎賢澄, 諏訪敏之, 片桐秀元, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 前田一郎, 小池淳樹, 大坪毅人. 結腸癌切除後 12 年目に出現した転移性肝癌の 1 例. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 17) 亀井奈津子, 小林慎二郎, 上原悠也, 野田顕義, 片桐秀元, 諏訪敏之, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 有泉泰, 小池淳樹, 大坪毅人. 術前化学療法によって局所過伸展因子が縮小し手術可能となった膵腺扁平上皮癌の 1 例. 第 22 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.
- 18) 岸龍一, 諏訪敏之, 櫻井丈, 瀬上航平, 畑地慶三, 宮崎賢澄, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. 生体腎移植後に発生した特異な腹壁ヘルニア. 第 35 回日本外科系連合学術集会 2010.
- 19) 諏訪敏之, 櫻井丈, 瀬上航平, 畑地慶三, 宮崎賢澄, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. S 状結腸膀胱瘻を呈した腸管ペーチェット病の 1 例. 第 35 回日本外科系連合学術集会 2010.
- 20) 櫻井丈, 瀬上航平, 浜辺太郎, 亀井奈津子, 小島啓夫, 畑地慶三, 宮崎賢澄, 諏訪敏之, 榎本武治, 小林慎二郎, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. イレウスを発症した大腸結核の 1 例. 第 35 回日本外科系連合学術集会 2010.
- 21) 大島隆一, 湊栄治, 櫻井丈, 吉田和彦, 嶋田久, 大坪毅人. 虫垂憩室穿孔の 3 例. 第 35 回日本外科系連合学術集会 2010.
- 22) 牧角良二, 四万村司, 畑地慶三, 宮崎賢澄, 片桐秀元, 諏訪敏之, 櫻井丈, 須田直史, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 初心者でも鏡視下手術を安全に行うための当院での工夫. 第 35 回日本外科系連合学術集会 2010.
- 23) 牧角良二, 四万村司, 天神和美, 瀬上航平, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 須田直史, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における左側大腸癌イレウスに対する治療の現状. 第 73 回大腸癌研究会 2010.
- 24) 飯沼雅央, 中野浩, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 干川晶弘, 関川和彦, 大坪毅人. C 型慢性肝炎治療中に発見された興味ある肝腫瘍の 1 例. 第 310 回日本消化器病学会関東支部例会 2010.
- 25) 嶋田仁, 榎本武治, 櫻井丈, 岸龍一, 京井玲奈, 片山真史, 福永哲, 高崎晴子, 竹村弘, 大坪毅人. 待機性胃癌手術症例における周術期感染対策と手術部位感染サーベイランスについて. 第 38 回神奈川胃癌治療研究会 2010.
- 26) 木村正之. 集学的治療により切除しえた小腸 GIST 術後のグリパック・スーテント耐性腹膜播腫性転移症例. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 27) 山田恭司. 単創吊り上げ式腹腔鏡下虫垂切除術. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 28) 小林慎二郎. 術前減黄における外瘻と内瘻の比較検討—ENBDの方が1期的ERBDよりも優れているか—. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 29) 花井彰. ラパロポインター直腸鏡と Type Twist Method による確実で楽な TSME. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 30) 中野浩, Jaeck Daniel, 三浦和裕, 新井達広, 小林慎二郎, 小泉哲, 櫻井丈, 朝倉武士, 山田恭司, 大坪毅人. 化学療法関連肝障害, 脾腫, AST/血小板比から考慮する大腸癌肝転移肝切除のタイミング. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 31) 榎本武治, 田中一郎, 諏訪敏之, 瀬上航平, 宮崎賢澄, 小島啓夫, 三浦和裕, 四万村司, 櫻井丈, 大坪毅人. 待機性胃癌手術症例における集術期感染対策と手術部位感染サーベイランスの結果とその検討. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 32) 四万村司, 宮島伸宜, 宮島賢澄, 畑地慶三, 諏訪敏之, 櫻井丈, 牧角良二, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. 横行結腸癌

外科学（消化器・一般外科）

- に対する鏡視下手術の標準化に向けて一術前 MDCT 検査の有用性一. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 33) 浜辺太郎, 小林慎二郎, 諏訪敏之, 天神和美, 福岡麻子, 野田顕義, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 前田一郎, 大坪毅人. 胃癌と重複した肝原発腺扁平上皮癌の 1 例. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 34) 朝倉武士, 上原悠也, 亀井奈津子, 野田顕義, 片桐秀元, 小林慎二郎, 小泉哲, 中野浩, 大坪毅人. 臍頭十二指腸切除後の早期感染性合併症予測における危険因子のスコア化について. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 35) 田中圭一, 住吉賢, 京井玲奈, 片山真史, 神尾浩司, 石井将光, 朝野隆之, 花井彰, 小森山広幸, 大坪毅人. 当科における残胃癌手術症例の臨床的検討. 第 65 回日本消化器外科学会 2010.
- 36) 三浦和裕, 榎本武治, 上原悠也, 瀬上航平, 小島啓夫, 片桐秀元, 新井達広, 田中一郎, 船津美恵子, 大坪毅人. 胃管再発をきたした食道癌の 1 例. 第 65 回日本消化器外科学会 2010.
- 37) 小泉哲, 小林慎二郎, 朝倉武士, 中野浩, 片桐秀元, 野田顕義, 上原悠也, 亀井奈津子, 大坪毅人. MDCT より作成した MPR 画像による肝細胞癌腫瘍肉眼分類診断は進展因子予測に有用である. 第 65 回日本消化器外科学会 2010.
- 38) 櫻井丈, 牧角良二, 瀬上航平, 畑地慶三, 諏訪敏之, 小林慎二郎, 四万村司, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 大腸癌術後の血清中アンチロビンによる簡便な手術侵襲評価. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 39) 朝倉武士, 佐々木大祐, 星野博之, 松森智子, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小林慎二郎, 小泉哲, 大坪毅人, 小池淳樹, 高木正之. 臍硬度の指標としての組織学的程度分類について. 第 37 回日本臍切研究会 2010.
- 40) 大坪毅人. 症例を通して退院前カンファレンスを考える: 大学病院の医師の立場から. 第 10 回地域医療ネットワークの会 2010.
- 41) 土橋篤仁, 松森智子, 佐々木大祐, 星野博之, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人, 船津美恵子, 有泉泰, 小池淳樹, 高木正之. 膵腺房細胞癌術後に肝転移を発症し切除しえた 1 例. 聖マリアンナ医科大学医学部第 59 回学術集会ならびに平成 22 年度評議員会・総会 2010.
- 42) 佐々木大祐, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 土居正知, 小泉宏隆, 大坪毅人. 胆管細胞癌と鑑別を要した胃癌肝転移の 1 例. 聖マリアンナ医科大学医学部第 59 回学術集会ならびに平成 22 年度評議員会・総会 2010.
- 43) 瀧澤由紀, 小林慎二郎, 佐々木大祐, 松森智子, 星野博之, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. 異食による腸閉塞の 1 例. 第 818 回外科集談会 2010.
- 44) 佐々木大祐, 三浦和裕, 瀧澤由紀, 星野博之, 松森智子, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. 他傷による腹部刺創の一例. 第 818 回外科集談会 2010.
- 45) 宮島伸宜. 大腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術の導入. 第 2 回単孔式内視鏡手術研究会 2010.
- 46) 三原良孝, 中野浩, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 大坪毅人. 診断に難渋した臍インスルーマの 1 例. 第 128 回神奈川県臨床外科医学集談会 2010.
- 47) 嶋田仁, 櫻井丈, 小池淳樹, 佐々木貴浩, 民上真也, 原勝洋, 高木正之, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院におけるテレパソロジーの現状. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 48) 佐治攻, 小林博通, 岩田啓吾, 岡村隆一郎, 大坪毅人. 上行結腸癌術前検査で発見され切除後確定診断に至った直腸肛門管偽粘液腫の 1 例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 49) 三原良孝, 中野浩, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 干川昌弘, 関山和彦, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. C型慢性肝炎治療中に発見された興味ある肝腫瘍の 1 例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 50) 立石文子, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人, 遠藤陽, 小泉宏隆, 高木正之. 十二指腸乳頭部原発腺内分泌腺癌の 1 例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 51) 小島啓夫, 木村正之, 吉川剛司, 前田長生, 福永哲, 大坪毅人. 右側胸部に生じた粘液線維肉腫の 1 例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 52) 戸部直孝, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 金子英彰, 山田恭司, 相田芳夫, 大坪毅人. 成人男性腹腔内 yolk sac tumor の 1 例. 第 15 回日本病理外科学会学術集会 2010.
- 53) 野田顕義, 中原孝, 柴崎俊一, 貝塚真知子, 小林義則, 山田武男, 久保起与子, 濱口實. 胆嚢癌との鑑別を要した胆嚢平滑筋腫の 1 例. 第 15 回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 54) 牧角良二, 新井達広, 三浦和裕, 瀬上航平, 畑地慶三, 宮崎賢澄, 諏訪敏之, 櫻井丈, 四万村司, 中野浩, 月川賢, 大坪毅人. 同時性大腸癌肝転移症例に対する FOLFOX + Bevacizumab を用いた differed resection の安全性: Splenic volume index と AST-Platelet-ratio index を含めた検討. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 55) 櫻井丈, 榎本武治, 亀井奈津子, 瀬上航平, 小島啓夫, 野田顕義, 三浦和裕, 畑地慶三, 片山真史, 片桐秀元, 諏訪敏之, 小林慎二郎, 小泉哲, 四万村司, 牧角良二, 朝倉武士, 中野浩, 月川賢, 福永哲, 大坪毅人. 消化器癌性悪液質患者に対する CRP/Alb ratio を用いた簡便な予後予測. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 56) 小林慎二郎, 小泉哲, 櫻井丈, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. 肝門遮断(プリングル)が肝臓での蛋白合成能に与える影響について検討. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 57) 三浦和裕, 片桐秀元, 浜辺太郎, 上原悠也, 瀬上航平, 小島啓夫, 宮崎賢澄, 榎本武治, 櫻井丈, 田中一郎, 福永哲, 大坪毅人. 腹腔鏡下に修復した胃軸捻転を伴う食道裂孔ヘルニア. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 58) 野田顕義, 小林慎二郎, 亀井奈津子, 上原悠也, 片桐秀元, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 小泉宏隆, 大坪毅人. 膵内分泌腫瘍との鑑別を要した十二指腸 GIST の 1 例. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 59) 亀井奈津子, 小林慎二郎, 上原悠也, 野田顕義, 片桐秀元, 朝倉武士, 中野浩, 土居正知, 小池淳樹, 高木正之, 大坪毅人. 甲状腺濾胞癌肝転移の 1 例. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 60) 嶋田仁, 宮島伸宜, 小泉哲, 佐々木貴浩, 民上真也, 小林慎二郎, 朝倉武士, 大坪毅人. 単孔式と従来式はどちらが痛いのか～腹腔鏡下胆嚢摘出術での比較～. 第 8 回日本消化器外科学会大会 2010.
- 61) 小林慎二郎, 四万村司, 天神和美, 亀井奈津子, 瀬上航平, 上原悠也, 三浦和裕, 片桐秀元, 諏訪敏之, 榎本武治, 櫻井

外科学（消化器・一般外科）

- 文, 小泉哲, 牧角良二, 朝倉武士, 中野浩, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 腫瘍の internal drainage と癌の否定を目的とした膿瘍形成性虫垂炎に対する下部消化管内視鏡検査の有用性. 第 80 回日本消化器内視鏡学会総会 2010.
- 62) 民上真也. やってみよう LAG -チーム医療の実際-. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 Booth Seminar 2010.
- 63) 宮島伸宜, 民上真也, 堀越邦康, 佐々木貴浩, 上原悠也, 月川賢, 牧角良二, 四万村司, 片桐秀元, 大坪毅人. Flexible scope を用いた大腸癌に対する腹腔鏡下手術の有用性. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 64) 山田恭司, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 大坪毅人. 吊り上げ鉤を用いた単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の手術手技. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 65) 四万村司, 宮島伸宜, 片桐秀元, 櫻井丈, 牧角良二, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. Stage IV 大腸癌の原発巣切除における腹腔鏡、開腹手術との比較検討. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 66) 牧角良二, 宮島伸宜, 天神和美, 福岡麻子, 瀬上航平, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 四万村司, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. 当院での腹腔鏡手術手技教育の現況. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 67) 榎本武治, 福永哲, 櫻井丈, 岸龍一, 京井玲奈, 嶋田仁, 片山真史, 大坪毅人. 腹腔鏡下胃切除における腹腔内吻合の工夫. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 68) 櫻井丈, 福永哲, 岸龍一, 京井玲奈, 瀬上航平, 嶋田仁, 片山真史, 小林慎二郎, 榎本武治, 大坪毅人. 腹腔鏡下幽門側胃切除における左側アプローチを用いた迷走神経腹腔枝温存術. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 69) 宮下知治, 福永哲, 西島弘二, 二上丈夫, 西村元一, 伏田幸夫, 藤村隆, 太田哲生. 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術における左側アプローチによる迷走神経腹腔枝温存術の経験. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 70) 本田由佳, 磯貝晶子, 谷内麻子, 新橋成直子, 岸本佳子, 石塚文平. レディースドック受診者における卵巣機能と体組成に関する検討. 第 25 回日本更年期医学会学術集会 2010.
- 71) 木村正之, 小島啓夫, 吉川剛司, 前田長生, 福永哲, 大坪毅人. 同時性多発肝・肺転移を有する直腸癌に対して集学的治療が奉効している一例. 第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010.
- 72) 福永哲. 進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除におけるリンパ節郭清の工夫. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 73) 中野浩, 朝野隆之, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 田中圭一, 花井彰, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. 肝門部胆管癌初心者のための下部胆管処理の工夫: ハーモニック Focus を用いて. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 74) 朝野隆之, 中野浩, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 住吉賢, 田中圭一, 西川徹, 花井彰, 大坪毅人. 嚙頭十二指腸切除術におけるハーモニックフォーカスの有用性. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 75) 田中圭一, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 朝野隆之, 住吉賢, 西川徹, 花井彰, 中野浩, 干川昌弘, 大坪毅人. 横隔膜上縦隔リンパ節転移と合併した S 状結腸癌肝転移術後、肝再発症例の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 76) 石井将光, 中野浩, 諏訪敏之, 住吉賢, 三原良孝, 神尾浩司, 朝野隆之, 田中圭一, 西川徹, 花井彰, 大坪毅人. 右肝門索に合併した肝細胞癌の切除例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 77) 神尾浩司, 須田直史, 三原良孝, 諏訪敏之, 石井将光, 住吉賢, 朝野隆之, 西川徹, 花井彰, 中野浩, 宮島伸宜, 大坪毅人. 後腹膜剥離先行外側アプローチによる腹腔鏡下回盲部切除術. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 78) 三原良孝, 中野浩, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 干川昌弘, 関山和彦, 大坪毅人. C 型慢性肝炎治療中に発見された興味ある肝腫瘍の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 79) 諏訪敏之, 田中圭一, 石井将光, 住吉賢, 三原良孝, 神尾浩司, 朝野隆之, 西川徹, 花井彰, 月川賢, 中野浩, 大坪毅人. 虫垂粘液嚢腫の 2 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 80) 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 相田芳夫, 山田恭司, 大坪毅人. 成人腸重積症を呈した小腸 inflammatory fibroid polyp の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会 2010.
- 81) 宮崎賢澄, 亀井奈津子, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 山田恭司, 大坪毅人. 腹膜再発と鑑別を要した直腸癌術後虚血性大腸炎の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 82) 堀越邦康, 上原悠也, 佐々木貴浩, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における腹腔鏡下虫垂切除術の現状. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 83) 四万村司, 宮島伸宜, 天神和美, 瀬上航平, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 牧角良二, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. 直腸癌に対する腹腔鏡下直腸切除術を安全に行うための当科での工夫. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 84) 牧角良二, 四万村司, 天神和美, 瀬上航平, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 須田直史, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における大腸癌標準手術一特に右側大腸癌に対して. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 85) 民上真也, 上原悠也, 佐々木貴浩, 堀越邦康, 宮島伸宜, 福永哲, 大坪毅人. 腹腔鏡下胃全摘術における再建法の工夫. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 86) 小林慎二郎, 四万村司, 櫻井丈, 瀬上航平, 大島隆一, 小泉哲, 牧角良二, 朝倉武士, 月川賢, 大坪毅人. 膿瘍形成性虫垂炎に対する Laparoscopic interval appendectomy (LIA). 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 87) 小林慎二郎, 小泉哲, 櫻井丈, 朝倉武士, 福永哲, 月川賢, 大坪毅人. 当院の腹部救急疾患に対する診療の実際. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 88) 小林慎二郎, 佐々木大祐, 松森智子, 星野博之, 大島隆一, 小野田恵一郎, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. 胆嚢摘出術における術中胆道造影では総胆管結石は指摘できないか?. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 89) 大島隆一, 小林慎二郎, 佐々木大祐, 松森智子, 星野博之, 小野田恵一郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. 巨大な瘻孔を形成していた Bilio-biliary fistula の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 90) 京井玲奈, 櫻井丈, 岸龍一, 嶋田仁, 片山真史, 榎本武治, 福永哲, 大坪毅人. 卵巣嚢腫が嵌頓した左鼠径ヘルニアの 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 91) 松森智子, 小林慎二郎, 佐々木大祐, 上原悠也, 亀井奈津子, 星野博之, 大島隆一, 片桐秀元, 小野田恵一郎, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人, 船津美恵子, 小池淳樹. 膵腺

- 房細胞癌術後に肝転移を発症し切除しえた1例. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 92) 星野博之, 小林慎二郎, 櫻井丈, 佐々木大祐, 松森智子, 大島隆一, 三浦和裕, 嶋田仁, 片桐秀元, 小野田恵一郎, 小泉哲, 四万村司, 朝倉武士, 大坪毅人. 食餌性イレウス5例の検討. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 93) 岸龍一, 櫻井丈, 瀬上航平, 宮崎賢澄, 畑地慶三, 諏訪敏之, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. イレウスチューブ挿入時に、内腔部品が先端部から逸脱した1例. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 94) 佐々木大祐, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 小野田恵一郎, 大島隆一, 星野博之, 松森智子, 中村祐太, 土居正知, 小泉宏隆, 大坪毅人. 胆管細胞癌と鑑別を要した胃癌肝転移の1例. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 95) 水上平祐, 三浦和裕, 瀬上航平, 小島啓夫, 畑地慶三, 諏訪敏之, 片桐秀元, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 大坪毅人. 閉鎖孔ヘルニアの1例. 第817回外科集談会 2010.
- 96) 大塚慶, 片桐秀元, 亀井奈津子, 上原悠也, 小林慎二郎, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. 昆布が原因による食餌性イレウスの1例. 第817回外科集談会 2010.
- 97) 末谷敬吾, 小林慎二郎, 大塚慶, 立石文子, 亀井奈津子, 小池彩華, 上原悠也, 片桐秀元, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人. 腹腔鏡下胆嚢摘出術後、肝膿瘍をきたした1例. 第817回外科集談会 2010.
- 98) 中村紗里香, 瀬上航平, 牧角良二, 天神和美, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 四万村司, 月川賢, 大坪毅人. 若年者に発症した異時性多発大腸癌の1例. 第817回外科集談会 2010.
- 99) 勝岡由一, 櫻井丈, 浜辺太郎, 小島啓夫, 三浦和裕, 榎本武治, 福永哲, 大坪毅人. Behcet病に合併した膿瘍形成虫垂炎の1例. 第817回外科集談会 2010.
- 100) 根岸宏行, 小泉哲, 瀬上航平, 佐々木貴浩, 小林慎二郎, 朝倉武士, 中野浩, 大坪毅人, 箕輪良行, 平泰彦. IIIb(Ph)型外傷性脾断裂に対しLetton&Wilson手術を施行し良好な術後経過を得られた1例. 第2回Acute Care Surgery研究会学術集会 2010.
- 101) 四万村司, 宮島伸宜, 天神和美, 瀬上航平, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 牧角良二, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の課題と展望(特に右側領域癌について). 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 102) 牧角良二, 宮島伸宜, 天神和美, 瀬上航平, 福岡麻子, 三浦和裕, 片桐秀元, 櫻井丈, 四万村司, 須田直史, 月川賢, 大坪毅人. 直腸癌に対する腹腔鏡下手術を極めるには. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 103) 佐々木貴浩, 上原悠也, 堀越邦康, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 単孔式腹腔鏡下大腸切除術の5例の経験. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 104) 佐々木貴浩, 上原悠也, 堀越邦康, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 急速に進行、再発した小腸悪性繊維性組織球症の1例. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 105) 山田恭司, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 大坪毅人. Babe吊り上げ鉤を用いた腹腔鏡下虫垂切除術. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 106) 花井彰, 三原良孝, 諏訪敏之, 西川徹, 中野浩, 大坪毅人. ラパロポインター直腸鏡とTape Twist Methodによる腹腔鏡下TSME. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 107) 片桐秀元, 四万村司, 天神和美, 福岡麻子, 瀬上航平, 三浦和裕, 北島和樹, 小池淳樹, 牧角良二, 須田直史, 月川賢, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌術後、異時性孤立性副腎転移の1例. 第65回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 108) 西尾乾司, 月川賢, 天神和美, 伊藤弘昭, 根岸宏行, 吉田有徳, 大坪毅人, 小泉宏隆, 高木正之. 大腸癌細胞における高気圧酸素による抗癌剤増強効果の検討. 第45回日本高気圧環境・潜水医学会学術集会 2010.
- 109) 石井将光, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 朝野隆之, 住吉賢, 田中圭一, 西川徹, 花井彰, 中野浩, 大坪毅人. 当院における鼠径ヘルニア修復術・ボリソフトを用いた前方アプローチによる腹膜前腔修復術. 第2回ヘルニア研究会 2010.
- 110) 榎本武治, 福永哲, 民上真也, 櫻井丈, 岸龍一, 天神和美, 根岸宏行, 京井玲奈, 星野博之, 福岡麻子, 嶋田仁, 片山真史, 大坪毅人. 腹腔鏡下胃切除術における腹腔内吻合の工夫. 第39回神奈川胃癌治療研究会 2010.
- 111) 民上真也, 福永哲, 天神和美, 根岸宏行, 福岡麻子, 星野博之, 片山真史, 榎本武治, 櫻井丈, 大坪毅人. 経胃的アンビュル挿入による腹腔鏡下残胃一空腸吻合の工夫. 第39回神奈川胃癌治療研究会 2010.
- 112) 諏訪敏之, 田中圭一, 神尾浩司, 三原良孝, 石井将光, 朝野隆之, 西川徹, 花井彰, 中野浩, 大坪毅人. 十二指腸穿孔の1手術例. 第129回神奈川臨床外科医学会集談会 2010.
- 113) 福永哲, 櫻井丈, 榎本武治, 片山真史, 嶋田仁, 宮島伸宜, 大坪毅人. 胃癌に対する鏡視下手術の問題点と工夫. 第7回日本消化管学会総会学術集会 2011.
- 114) 根岸宏行. 肝内胆管癌と類似した画像を示した早期胃癌術後の肝転移の1例. リーバクト 学術講演会 2011.
- 115) 佐々木貴浩, 民上真也, 嶋田仁, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当科の胆嚢におけるSLIS(Single Incision Laparoscopic Surgery)の手法. 第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2011.
- 116) 小泉哲. 診療報酬改定に伴う、がん連携バス. 第3回川崎北部地域連携緩和ケアの会 2010.
- 117) 大島隆一, 朝倉武士, 土橋篤仁, 松森智子, 星野博之, 小野田恵一郎, 小林慎二郎, 小泉哲, 大坪毅人. 膵頭十二指腸切除術(PD)における手術部位感染(SSD)危険因子の検討. 第39回神奈川消化器外科研究会 2010.
- 118) 民上真也. 腹腔鏡下低位前方切除術におけるDouble TA法の手法. 第16回神奈川大腸肛門手術手技研究会 2010.
- 119) 民上真也. 膵上縁リンパ節郭清の手法と工夫. 第7回神奈川腹腔鏡下胃切除術研究会 2010.
- 120) 神尾浩司, 京井玲奈, 片山真史, 石井将光, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 中野浩, 大坪毅人. 術後難治性直腸膿瘍に対し内視鏡下フィブリン糊と酸化セルロー充填術により瘻孔閉鎖をきたした一例. 第80回日本消化器内視鏡学会総会 2010.
- 121) 片山真史, 櫻井丈, 岸龍一, 京井玲奈, 嶋田仁, 榎本武治, 福永哲, 大坪毅人. 胃癌壁深達度診断における発泡剤内服造影CT検査の有用性. 第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 122) 嶋田仁, 榎本武治, 櫻井丈, 岸龍一, 京井玲奈, 片山真史, 福永哲, 大坪毅人. 待機的胃癌手術症例における周術期感染対策と手術部位感染サーベイランスについて. 第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 123) 京井玲奈, 櫻井丈, 岸龍一, 瀬上航平, 嶋田仁, 片山真史, 小林慎二郎, 榎本武治, 福永哲, 大坪毅人. 血清中急性期蛋

外科学（消化器・一般外科）

- 白による胃癌鏡視下手術の侵襲度評価. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 124) 民上真也, 上原悠也, 佐々木貴浩, 堀越邦康, 宮島伸宜, 大坪毅人. 単孔式腹腔鏡下大腸癌手術の適応と手技の工夫. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 125) 堀越邦康, 上原悠也, 佐々木貴浩, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 胆管走行異常を伴う胆のう結石症に対し単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 126) 佐々木貴浩, 上原悠也, 嶋田仁, 堀越邦康, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当科における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の手技. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 127) 花井彰, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 朝野隆之, 住吉賢, 西川徹, 田中圭一, 中野浩, 大坪毅人. ラパロポインター直腸鏡と Tape Twist Method による TSME の短期成績. 第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010.
- 128) 亀井奈津子, 小泉哲, 朝野隆之, 榎本武治, 大坪毅人. 鼠径部ヘルニアにおける鼠径部除圧下腹臥位 CT 撮影法(ヘルニアスタディ)の有用性に関する検討. 聖マリアンナ医科大学医学会第 60 回学術集会ならびに平成 22 年度評議員会・総会 2010.
- 129) 瀬上航平, 小林慎二郎, 大坪毅人. MRCP を用いた胆管の合流形態の検討(特に肝門部における左胆管の合流位置について). 聖マリアンナ医科大学医学会第 60 回学術集会ならびに平成 22 年度評議員会・総会 2010.
- 130) 根岸宏行, 櫻井丈, 天神和美, 京井玲奈, 瀬上航平, 福岡麻子, 星野博之, 嶋田仁, 三浦和裕, 片山真史, 小林慎二郎, 榎本武治, 民上真也, 福永哲, 大坪毅人. 虫垂切除検体より日本住血吸虫の虫卵が発見された 1 例. 第 819 外科集談会 2010.
- 131) 佐々木大祐, 三浦和裕, 松森智子, 片桐秀元, 小林慎二郎, 牧角良二, 四万村司, 月川賢, 朝倉武士, 福永哲, 公文大輔, 前田一郎, 小池淳樹, 高木正之, 大坪毅人. 膿瘍形成虫垂炎と鑑別を要した虫垂粘液腫の 1 例. 第 819 回外科集談会 2010.
- 132) 久恒靖人, 小林慎二郎, 岸龍一, 京井玲奈, 嶋田仁, 大島隆一, 小野田恵一郎, 櫻井丈, 小泉哲, 朝倉武士, 福永哲, 月川賢, 大坪毅人. 虫垂炎で発症した虫垂カルチノイド(神経内分泌腫瘍)の 1 例. 第 819 回外科集談会 2010.
- 133) 福永哲. Orvil を用いた hemi-double stapling technique. 第 18 回関東腹腔鏡下胃切除研究会 2010.
- 134) 瀬上航平, 堀越邦康, 上原悠也, 佐々木貴浩, 民上真也, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における腹腔鏡下虫垂切除術の現状. 第 130 回神奈川臨床外科医学会集談会 2011.
- 135) 根岸宏行, 小林慎二郎, 森修三, 天神和美, 京井玲奈, 嶋田仁, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小泉哲, 朝倉武士, 大坪毅人. プロテイン C および S 欠乏症による上腸間膜静脈血栓症の 1 例. 第 130 回神奈川臨床外科医学会集談会 2011.
- 136) 三原良孝, 中野浩, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 西川徹, 住吉賢, 朝野隆之, 田中圭一, 花井彰, 大坪毅人. 胆嚢癌との鑑別が困難であった、皮膚筋炎に合併した肝内胆管癌の 1 例. 第 130 回神奈川臨床外科医学会集談会 2011.
- 137) 天神和美, 小林慎二郎, 根岸宏行, 京井玲奈, 嶋田仁, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小泉哲, 朝倉武士, 有泉泰, 小池淳樹, 大坪毅人. 膵臓, 肝臓, 直腸, 乳房に多発した神経内分泌腫瘍の 1 例. 第 130 回神奈川臨床外科医学会集談会 2011.
- 138) 小島啓夫, 松下恒久, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 戸部直孝, 金子英彰, 山田恭司, 相田芳夫, 大坪毅人. 血清 CA19-9 高値を示した後腹膜 dermoid cyst の一例. 第 130 回神奈川臨床外科医学会集談会 2011.
- 139) 田中圭一, 三原良孝, 諏訪敏之, 神尾浩司, 石井将光, 朝野隆之, 住吉賢, 西川徹, 花井彰, 中野浩, 福永哲, 大坪毅人. 超高齢者(85 歳以上)胃癌手術症例の検討. 第 83 回日本胃癌学会総会 2011.
- 140) 岸龍一, 三浦和裕, 松森智子, 星野博之, 片桐秀元, 四万村司, 牧角良二, 月川賢, 有泉泰, 大坪毅人. 腹部超音波検査で指摘された盲腸神経内分泌癌の 1 例. 第 820 回外科集談会 2011.
- 141) 森修三, 小林慎二郎, 天神和美, 根岸宏行, 京井玲奈, 嶋田仁, 大島隆一, 小野田恵一郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. 術後病理組織所見で carcinoma in situ と診断された石灰乳胆汁の 1 例. 第 820 回外科集談会 2011.
- 142) 佐々木貴浩, 上原悠也, 堀越邦康, 民上真也, 宮島伸宜. 当院における単孔式腹腔鏡下大腸切除の現状. 第 7 回日本消化管学会総会学術集会 2011.
- 143) 尹琬暎, 三浦和裕, 浜辺太郎, 瀬上航平, 小島啓夫, 宮崎賢澄, 小林慎二郎, 小泉哲, 榎本武治, 田中一郎, 戸澤晃子, 小泉宏隆, 大坪毅人. 鼠径部に生じた皮膚子宮内膜症の 1 例. 聖マリアンナ医科大学第 59 回学術集会ならびに平成 22 年度評議員会・総会 2010.

② 国際学会

- 1) Shinjiro Kobayashi, Masaki Oohashi, Yuya Uehara, Hiroshi Nakano, Takehito Otsubo. A Case of Undifferentiated Carcinoma with Osteoclast-like Giant Cell of the Pancreas in Whom a Ductal Adenocarcinoma was Detected in Theremnant Pancreas as a Recurrence. 第 14 回国際膵臓学会・第 41 回日本膵臓学会合同会議 2010.
- 2) Taro Hamabe, Shinjiro Kobayashi, Toshiyuki Suwa, Kazumi Tennjinn, Asako Fukuoka, Akiyoshi Noda, Satoshi Koizumi, Takeshi Asakura, Hiroshi Nakako, Ichiro Maeda, Takehito Otsubo. A case of Adenosquamous Cancer Originating from Liver and Complicated with Gastric cancer. The International College of Surgeons The 56th Annual Congress of the Japan Section 2010.
- 3) Kenji Nishio, Shinjiro Kobayashi, Joe Sakurai, Rouji Makizumi, Satoshi Tsukikawa, Takehito Ohtsubo. A Case of intussusception Caused by the Placement of an ileus tube. The International College Of Surgenos The 56th Aonval Congress of Japan Section 2010.
- 4) Yutoku Yoshida, Joe Sakurai, Hiroyuki Negishi, Ryouji Makizumi, Kouhei Segami, Akiyoshi Noda, Toshiyuki Suwa, Takeharu Enomoto, Satoshi Tsukikawa, Takehito Otsubo. A Case of Strangulated Transomental Hemia with Intestinal Malrotation. The International Of College Of Surgeons The 56th Annual Congress of the Japan Section 2010.
- 5) Asako Fukuoka, Shinjiro Kobayashi, Takehito Ohtsubo, Ichiro Kishimoto, Hodeki Kanazawa, Hayato Inoue, Toru Kimura, Goro Kaneda, Noriyoshi Akiyama. A Case of Cecum Perforation due to Cecal Volvulus. The International College of Surgeone The 56th Annual Congress Of Japan Section 2010.
- 6) Nobuyoshi Miyajima. Results of Laparoscopic TME for Rectal Cancer: Experience of Japan Society of Laparoscopic Colorectal Surgery. 2010 Tumor Specific Mesorectal Excision For Rectal

外科学（消化器・一般外科）

- Cancer Workshop 2010.
- 7) Nobuyoshi Miyajima. Animal Lab Orientation. AEFT 13th Workshop Laparoscopic Colorectal Surgery 2011.
 - 8) Nobuyoshi Miyajima. Lap.Low Anterior Resection. AETF 13th Workshop Laparoscopic Colorectal Surgery 2011.
 - 9) K.Ashikawa, H.Komoriyama, R.Kumano, E.Yamanouchi. Magnetic compression anastomosis for rectal anastomotic stenosis:report of case. European Society for Surgical Research(ESSR)2010 45h ANNUAL CONGRESS 2010.
 - 10) Tetsu Fukunaga. Lap. Total Gastrectomy with D2 Lymphnode Dissection. AETF 12th Workshop Laparoscopic Upper GI Surgery 2010.
 - 11) Tetsu Fukunaga. Animal Lab Orientation(LADG). AEFT 12th workshop Laparoscopic Upper GI Surgery 2010.
 - 12) Tetsu Fukunaga. Laparoscopic Gastrectomy-Japanese Experience. Nanjig International MIS Forum 2010.

③ その他

- 1) 大坪毅人. Acute Care Surgery について. 第 15 回東京女子医科大学消化器病センター多摩同門会学術講演会 2010.
- 2) 中野浩. 大腸癌肝転移の化学療法関連肝障害:Chemotherapy-naive 患者の肝切除. 第 224 回茨城外科学会 2010.
- 3) 三原良孝. 切除不能 Vp4 肝細胞癌に対して、肝動注化学療法が奏功し、肝肺切除を施行し長期生存中の 1 例. 第 16 回「肝不全と栄養」研究会 2010.
- 4) 中野浩. パネルディスカッション:大腸癌補助化学療法(パネリスト). 第 3 回 Colorectal Cancer Symposium in Kanagawa 2010(神奈川県) 2010.
- 5) 福永哲. 胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘. 第 14 回よこはま外科癌フォーラム(神奈川県) 2010.
- 6) 小島啓夫. 使用経験に基づくフォンダパリススクの評価 ～大腸癌/胃癌～. VTE interseption Meeting in Kanagawa 2010.
- 7) 宮島伸宜. お腹を切ってがんを治す. 市民公開講座 かながわ健康セミナー 2010 「大腸がんを治す」 2010.
- 8) 中野浩. 同時性大腸癌肝転移の外科治療. GI Cancer Academy 2010 2010.
- 9) 本庄広大, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 松下恒久, 戸部直孝, 金子英彰, 山田恭司, 相田芳夫, 大坪毅人. 大腸及び尿管狭窄を呈した後腹膜線維腫の一例. 第 32 回神奈川大腸肛門疾患懇話会 2010.
- 10) 福永哲. ～このセミナーで全てわかる！腹腔鏡下胃切除術のアドバンステクニック. Covidien 内視鏡外科セミナー 2010.
- 11) 福永哲. 胃癌に対する腹腔鏡下胃切除の現況. 第 13 回静岡内視鏡外科研究会 2010.
- 12) 福永哲. 上部消化管手術(胃癌,腹腔鏡手術). 第 9 回金沢南消化器研究会 2010.
- 13) 福永哲. 腹腔鏡下胃切—最近の話題—(化学療法も含む). 第 6 回備後上部消化管疾患研究会 2010.
- 14) 福永哲. チーム医療で取り組む最新の腹腔鏡胃がん手術～医師の立場から～. ハイテクセミナー in 金沢 ～ステップアップへ 3 つのヒント～ 2010.
- 15) 福永哲. 上部消化管疾患に対する最新の外科治療—胃癌・食道癌を中心に—. 地域医療のための学術研修会 2010.
- 16) 福永哲. 進行胃がんに対する腹腔鏡下胃切除術. 第 3 回北陸胃がん鏡視下手術勉強会 2010.
- 17) 福永哲. 胃癌に対する腹腔鏡手術と術後合併症対策. 第 2

- 回周術期管理フォーラム 2011.
- 18) 福永哲. エキスパートに学ぶ剥離・郭清手技のこつ. 第 2 回腹腔鏡下手術勉強会 2011.
- 19) 福永哲. 進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除. 第 8 回最新外科手術手技 Meet The Expert 2011.
- 20) 福永哲. 豚の解剖と LAG 手技について. 第 17 回関東腹腔鏡下胃切除研究会実技講習会 2011.
- 21) 福永哲. 腹腔鏡下胃癌手術—基本から応用まで—. 徳島腹腔鏡下胃癌手術研究会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|-----|----|
| 著書 | | 14 | |
| 論文 | 原著 | 11 | 3 |
| | 総説または解説 | 5 | |
| | 症例報告 | 16 | 2 |
| | その他 | 1 | |
| 学会発表 | 国内学会 | 143 | |
| | 国際学会 | 12 | |
| | その他 | 21 | |

外科学（心臓血管外科）

著書

- 1) 鈴木敬麿, 幕内晴朗, 小林俊也, 小野裕國, 永田徳一郎, 安藤敬, 村上浩, 近田正英, 永淵裕子, 尾崎承一. 感染性心内膜炎との鑑別に苦慮した大動脈 2 尖弁を伴う巨細胞性動脈炎の 1 例. 心臓 2011;43(1):75-80.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 北中陽介, 幕内晴朗, 村上浩, 大野真, 安藤敬, 田中佳世子, 大沼繁子. Edaravone による弓部大動脈手術時の脳保護効果. 日本心臓血管外科学会雑誌 2011;40(2):48-53.

② 総説又は症例解説

- 1) 幕内晴朗. 臨床医学の展望 2010 心臓血管外科. 日本医事新報 2010;4486:44-45.
- 2) 近田正英. 1. 先天性心疾患. 日本医事新報 2010;4486:45-47.
- 3) 小林俊也. 2. 虚血性心疾患. 日本医事新報 2010;4486:47-49.
- 4) 阿部裕之. 4. 大血管の外科. 日本医事新報 2010;4486:50-52.
- 5) 幕内晴朗. 5. 心筋症、その他. 日本医事新報 2010;4486:52-53.
- 6) 幕内晴朗. 心臓血管外科専門医制度の現状と問題点. 脈管学 2010;50(3):257-263.

③ 症例報告

- 1) 遠藤慎一, 高木正之, 幕内晴朗, 小林俊也, 丹原圭一, 小林博雄. 大動脈狭窄部の病理診断で発見された左房粘液腫の 1 治験例. 心臓 2010;42(9):1207-1211.
- 2) 鈴木敬麿, 幕内晴朗, 小林俊也, 小野裕國, 永田徳一郎, 安藤敬, 村上浩, 近田正英, 永淵裕子, 尾崎承一. 感染性心内膜炎との鑑別に苦慮した大動脈 2 尖弁を伴う巨細胞性動脈炎の 1 例. 心臓 2011;43(1):75-80.

学会発表

① 国内学会

- 1) 千葉清, 阿部裕之, 北中陽介. 当院における外傷性大動脈破裂の治療成績. 第 38 回日本血管外科学会総会 2010.
- 2) 安藤敬, 幕内晴朗, 小林俊也, 近田正英, 村上浩, 鈴木敬麿, 永田徳一郎, 遠藤仁. 感染性動脈瘤に対する 9 手術例の早期成績の検討. 第 38 回日本血管外科学会総会 2010.
- 3) 鈴木敬麿, 小林俊也, 村上浩, 安藤敬, 千葉清, 小野裕國, 永田徳一郎, 遠藤仁, 近田正英, 幕内晴朗. 孤立性腹部内臓動脈解離 7 例の検討. 第 38 回日本血管外科学会総会 2010.
- 4) 遠藤仁, 鈴木敬麿, 小林俊也, 安藤敬, 小野裕國, 永田徳一郎, 村上浩, 近田正英, 幕内晴朗. 感染性心内膜炎に合併した感染性上腸間膜動脈瘤に対し二期的手術を施行した 2 例. 第 38 回日本血管外科学会総会 2010.
- 5) 遠藤仁, 近田正英, 小林俊也, 北中陽介, 村上浩, 鈴木敬麿, 大野真, 永田徳一郎, 幕内晴朗. multiple VSD に対し、sandwich 法を用いた 1 例. 第 153 回日本胸部外科学会関東甲

信越地方会 2010.

- 6) Masahide Chikada, Haruo Makuuchi, Toshiya Kobayashi, Yousuke Kitanaka, Hiroshi Murakami, Takamaro Suzuki, Makoto Ohno, Tokuchiro Nagata, Hitoshi Endo. Mid-term Result of Right Atrial Isolation for Atrial fibrillation or Flutter in ACHD. 第 46 回日本小児循環器学会総会 2010.
- 7) 大野真, 幕内晴朗, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 村上浩, 鈴木敬麿, 千葉清, 永田徳一郎, 遠藤仁. Pas-port を用いた大伏在静脈グラフトにおける中期開存率の検討. 第 24 回日本冠疾患学会 2010.
- 8) 村上浩, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 鈴木敬麿, 大野真, 永田徳一郎, 遠藤仁, 幕内晴朗. 開心術中に急性硬膜下血腫を発症した一例. 第 14 回神奈川周術期管理研究会 2010.
- 9) 安藤敬, 盧大潤, 阿部裕之. 術後管理に難渋した超高齢者の VSP の一例. 第 14 回神奈川周術期管理研究会 2010.
- 10) 幕内晴朗. 心臓血管外科術後リハの現状と問題点. 第 1 回高知心臓血管疾患リハビリテーション研究会 2010.
- 11) 大野真, 鈴木敬麿, 幕内晴朗, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 村上浩, 千葉清, 盧大潤, 遠藤仁. 孤立性上腸間膜動脈解離に対する右胃大網動脈を用いたバイパス手術の経験. 第 51 回日本脈管学会総会 2010.
- 12) 近田正英, 小林俊也, 北中陽介, 村上浩, 鈴木敬麿, 大野真, 千葉清, 盧大潤, 遠藤仁, 幕内晴朗. 成人大動脈縮窄症に対するパッチ拡大術の中期遠隔成績. 第 51 回日本脈管学会総会 2010.
- 13) 鈴木敬麿, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 村上浩, 大野真, 小野裕國, 千葉清, 盧大潤, 遠藤仁, 幕内晴朗. Aorto-bifemoral bypass 術を施行した Leriche 症候群の 4 例. 第 51 回日本脈管学会総会 2010.
- 14) 千葉清, 北中陽介, 阿部裕之. 治療に難渋した小児期の外傷性膝窩動脈損傷の一治験例. 第 51 回日本脈管学会総会 2010.
- 15) 鈴木敬麿, 小林俊也, 千葉清, 近田正英, 幕内晴朗. 双極高周波焼灼システム(AtriCure)を用いた肺静脈隔離術の中期成績. 第 58 回日本心臓病学会学術集会 2010.
- 16) 鈴木敬麿, 村上浩, 北中陽介, 千葉清, 大野真, 永田徳一郎, 遠藤仁, 向後美沙, 近田正英, 小林俊也, 幕内晴朗. 巨大な膝上部膝窩動脈瘤の仮性動脈瘤の一治験例. 第 18 回日本血管外科学会関東甲信越地方会 2010.
- 17) 遠藤仁, 村上浩, 永田徳一郎, 千葉清, 大野真, 鈴木敬麿, 北中陽介, 小林俊也, 近田正英, 幕内晴朗. 意識障害のある弓部大動脈瘤破裂に対し保存的治療を先行し、準緊急手術を行った 1 例. 第 154 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.
- 18) 盧大潤, 安藤敬, 阿部裕之. 心膜剥皮術を同時施行した感染性上行大動脈瘤破裂の 1 治験例. 第 155 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2011.
- 19) 鈴木敬麿, 小林俊也, 幕内晴朗, 近田正英, 北中陽介, 村上浩, 大野真, 千葉清, 永田徳一郎, 向後美沙, 遠藤仁. 大動脈弁狭窄症の術後拡張能変化(機械弁と生体弁との比較). 第 41 回日本心臓血管外科学会 2011.
- 20) 小野裕國, 麻生俊英, 武田裕子, 岡徳彦. 右室依存性冠灌流が危惧される純型肺動脈閉鎖症における右心バイパス手術の補助手段. 第 41 回日本心臓血管外科学会 2011.
- 21) 小川普久, 八木橋国博, 加藤洋, 藤川あつ子, 濱口真吾, 池田裕隆, 滝澤謙治, 中島康雄, 石山めぐみ, 田村みどり, 永田徳一郎, 近田正英. 一時的埋め込み型 IVC フィルターにより

外科学（心臓血管外科）

心タンポナーデとなった1症例. 第20回東京血管外科画像診断治療研究会 2011.

22) 清川博史, 木田圭亮, 高橋英二, 明石嘉浩, 遠藤仁, 千葉清, 大野真, 北中陽介, 幕内晴郎, 三宅良彦. 消化器症状で来院したStanford A型急性大動脈解離の1例. 第577回日本内科学会関東地方会 2010.

23) 古田繁行, 脇坂宗親, 島秀樹, 青葉剛史, 北中陽介, 千葉清, 小川普久, 中島康雄, 北川博昭. 腕頭動脈縫縮+コイル塞栓で救命できた気管支腕頭動脈瘻の1例—予防、止血、手術法の検討—. 第21回日本小児呼吸器外科研究会 2010.

③ その他

1) 村上浩, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 鈴木敬磨, 大野真, 千葉清, 盧大潤, 遠藤仁, 幕内晴朗. スtentグラフトで再破裂を予防しえなかったB型急性解離の1例. 第19回神奈川心臓血管外科フォーラム 2010.

2) 村上浩, 小林俊也, 近田正英, 北中陽介, 鈴木敬磨, 大野真, 千葉清, 盧大潤, 遠藤仁, 幕内晴朗. スtentグラフトで再破裂を予防しえなかったB型急性解離の1例. 第30回東京胸部外科懇話会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 1 | |
| 論文 | 原著 | 1 | |
| | 総説または解説 | 6 | |
| | 症例報告 | 2 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 23 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | 2 | |

著書

- 1) 中村治彦. 肺がん. 免疫細胞治療 II 2011;:98-103.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 中村治彦, 安藤幸二, 新明卓夫. 気管支嚢胞・心膜嚢胞. 日本胸部臨床 2010;69(増刊):S209-S214.
2) 山田恭司, 濱谷昌弘, 岩端秀之, 松森智子, 本田朱麗, 本庄広大, 川嶋八也, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 大坪毅人. 当院における右側結腸癌に対する小切開手術と腹腔鏡手術の比較. 小切開・鏡視外科学会雑誌 2010;1(1):117-120.
3) 北川博昭, 脇坂宗親, 島秀樹, 古田繁行, 青葉剛史, 川瀬弘一, 佐藤英章, 望月篤. 嚢胞性肺炎患. 周産期医学 2010;40(8):1203-1208.

② 総説又は症例解説

- 1) 栗本典昭, 中村治彦, 宮澤輝臣. 気管支腔内超音波断層法 (endobronchial ultrasonography:EBUS)の流儀. 呼吸 2010;29(7):708-714.

③ 症例報告

- 1) 山田恭司, 奈良橋喜芳, 小野田恵一郎, 本田朱麗, 本庄広大, 川嶋八也, 岡本紀彦, 野田真一郎, 金子英彰, 横手薫美夫. UFT+LV療法により組織学的CRを得た腹腔内膿瘍合併直腸癌の1例. 癌と化学療法 2010;37(8):1587-1590.

④ その他

- 1) 中村治彦. 臨床医学教育の現状と課題:外科学(呼吸器外科). 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38:37-41.
2) 中村治彦. 書評 当直医実践くすりマニュアル. 胸部外科 2010;63(4):308.
3) 中村治彦. 長びく咳. 平成22年度 第30回聖マリアンナ医科大学公開講座「日ごろ気になるあの症状」テキスト 2010;63(4):21-24.
4) 中村治彦. 巻頭言 保健委員活動に携って. 気管支学 2010;32(6):489-490.
5) 中村治彦. 視点:外科先達の意気に感ず. 聖マリアンナ医大新聞 2011;85.
6) 吉田知之, 中村治彦. 編集後記. 日食会報 2011;61(4):412.
7) 中村治彦, 加藤治文. がん手術療法の進歩-肺癌を中心に. Medico 2011;42(3):119-123.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) HARUHIKO NAKAMURA, ATSUSHI MOCHIZUKI, TAKUO SHINMYO, KOJI ANDO, NORIAKI KURIMOTO, KUMIO YOKOTE, MASAYUKI TAKAGI. Immunohistochemical Detection of Mutated Epidermal Growth Factor Receptors in Pulmonary Adenocarcinoma. ANTICANCER RESEARCH 2010;30(12):5233-5238.
2) Nakamura H, Morita K, Kurimoto N, Mochizuki A, Shinmyou T, Ando K, Tagaya R. A proposed classification of hemothorax

based on etiologic and radiographic factors. J St Marianna Univ 2010;1:75-78.

- 3) Akira Okada, Takuo Shinmyo, Takehisa Hashimoto, Yasuhito Kobayashi, Yohei Miyagi, Yuichi Ishikawa, Ken Nakagawa, Junichi Hayashi, Eiju Tsuchiya. Predictive advantage of a cell type classification for pulmonary adenocarcinoma coupled with data for p53,K-ras and EGFR alterations. Cancer Science 2010;101(7):1745-1753.

③ 症例報告

- 1) Takuo Shinmyo, Katsuhiko Morita, Masamichi MIneshita, Rie Tagaya, Koji Ando, Atsushi Mochizuki, Noriaki KURimoto, Teruomi Miyazawa, Hiroaki Osada, Haruhiko Nakamura. Pleuroperitoneal Shunt for Chylothorax and Chylopericardium in Lung Cancer:A Case Report. Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2011;17(1):63-66.

学会発表

① 国内学会

- 1) 安藤幸二, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 微熱で発症したアスベスト暴露歴のない悪性胸膜中皮腫の1切除例. 第153回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.
2) 望月篤, 新明卓夫, 安藤幸二, 多賀谷理恵, 栗本典昭, 横手薫美夫, 長田博昭, 中村治彦. 若年層における原発性自然気胸手術例の検討. 第27回日本呼吸器外科学会総会 2010.
3) 新明卓夫, 岩重玲子, 大井涼子, 井上哲兵, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 延山誠一, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. 肺門・縦隔リンパ節腫大を呈した Castleman 病の1例. 第133回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
4) 岩重玲子, 新明卓夫, 大井涼子, 井上哲兵, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. 左主気管支に発生し喘息症状を呈したカルチノイドの1切除例. 第133回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
5) 安藤幸二, 新明卓夫, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 良性腫瘍と鑑別を要した胸腺腫の1切除例. 第154回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.
6) 栗本典昭, 中村治彦. 呼吸器内視鏡による気管・気管支病変の深達度、範囲、質的診断の進歩-よりよいレーザー治療を目指して-. 第31回日本レーザー医学会総会 2010.
7) 中村治彦, 望月篤, 新明卓夫, 安藤幸二, 栗本典昭. 免疫組織化学による肺癌 EGFR 遺伝子異常の検出-DNA 解析結果との比較. 第63回日本胸部外科学会定期学術集会 2010.
8) 望月篤, 栗本典昭, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 安藤幸二, 横手薫美夫, 中村治彦, 宮澤輝臣. 肺末梢病変における超・拡大気管支鏡(Endocytoscopy)による virtual histology の有用性. 第51回日本肺癌学会総会 2010.
9) 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 乳癌患者に発生した縦隔奇形腫の1切除例. 第155回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2011.
10) 栗本典昭, 森田克彦, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 新明卓夫, 望月篤, 中村治彦. 気管・気管支における内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic submucosal dissection:EDS)の実験的検討. 第110回日本外科学会定期学術集会 2010.
11) 中村治彦, 栗本典昭, 新明卓夫, 中西聡, 望月篤, 安藤幸二, 多賀谷理恵. 気管原発腺様嚢胞癌に対する右開胸・気管

外科学（呼吸器外科）

- 環状切除術(要望ビデオ). 第 27 回日本呼吸器外科学会総会 2010.
- 12) 中村治彦, 森田克彦, 新明卓夫, 中西聡, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 横手薫美夫. 動脈塞栓術後に摘出した胸壁原発悪性線維性組織球腫の 1 例(ビデオ). 第 27 回日本呼吸器外科学会総会 2010.
- 13) 安藤幸二, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 森田克彦, 望月篤, 栗本典昭, 横手薫美夫, 中村治彦. 転移性肺腫瘍の術後予後因子からみた手術適応. 第 27 回日本呼吸器外科学会総会 2010.
- 14) 栗本典昭, 新明卓夫, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 望月篤, 中村治彦. EBUS-TBNAによる合併症を認めた 2 例(リンパ節周囲血腫、リンパ節炎). 第 33 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2010.
- 15) 栗本典昭, 石川文月, 森田克彦, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 中村治彦, 宮澤輝臣. 肺抹消病変に対する超・拡大気管支鏡(Endoscopy)による virtual histology の検討. 第 33 回呼吸器内視鏡学会学術集会 2010.
- 16) 栗本典昭, 石川文月, 森田克彦, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 望月篤, 中村治彦, 宮澤輝臣. 気管・気管支における内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic submucosal dissection:ESD)の実験的検討. 第 33 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2010.
- 17) 新明卓夫, 安藤幸二, 多賀谷理恵, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 気管前リンパ節に対しEBUS-TBNA後に縦隔炎を併発した 1 例. 第 33 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2010.
- 18) 望月篤, 栗本典昭, 多賀谷理恵, 新明卓夫, 安藤幸二, 中村治彦. EBUS-GS法が有用であった気管支腔内進展を呈した転移性肺癌の 2 例. 第 33 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2010.
- 19) 岩重玲子, 新明卓夫, 多賀谷理恵, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 高木正之, 中村治彦. 肺癌と鑑別を要した nodular lymphoid hyperplasia の 1 例. 第 158 回日本肺癌学会関東支部会 2010.
- 20) 中村治彦. 肺癌治療最近の話題. 岩国市医師会・呼吸器疾患検討会合同学術講習会 2010.
- 21) 中村治彦. 肺癌治療一最近の話題. 専門薬剤師セミナー・神奈川県病院薬剤師会主催 2010.
- 22) 清川博史, 半田寛, 古屋直樹, 木田博隆, 西根広樹, 中村美保, 石田明, 延山誠一, 井上健男, 白川妙子, 峯下昌道, 栗本典昭, 中村治彦, 宮澤輝臣. チタンメッシュ気管形成部位の胸腔外軟化症/胸腔内腫瘍狭窄を発症した食道癌による気管狭窄の 1 例. 第 134 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 23) 安藤幸二, 新明卓夫, 望月篤, 栗本典昭, 横手薫美夫, 中村治彦. 悪性胸膜中皮腫を疑う症例に対する診断・手術の問題点. 第 51 回日本肺癌学会総会 2010.
- 24) 中村治彦. 日ごろ気になるあの症状 長びく咳. 第 30 回聖マリアンナ医科大学公開講座 2010.
- 25) 新明卓夫, 橋本瑛理子, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 肺癌に対する bevacizumab の使用経験. 第 15 回呼吸器腫瘍懇話会 2010.
- 26) 中村治彦. 最新の肺癌診断と治療. 東京医科大学同窓会横浜支部特別講演 2010.
- 27) 新明卓夫, 橋本瑛理子, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. 右肺上葉に発生した定型カルチノイドの 1 切除例. 第 135 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 28) 橋本瑛理子, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 中村治彦. 胃癌・子宮頸癌切除後に慢性リンパ性白血病と肺腺癌を併発した 1 例. 第 159 回日本肺癌学会関東支部会 2010.
- 29) 中村治彦. 最近の肺癌診断・治療の進歩. 聖マリアンナ医科大学医学会 第 60 回学術集会特別講演 2010.
- 30) 浜辺太郎, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 白川妙子, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. 硬化性血管腫と併存した肺癌の 1 切除例. 第 160 回日本肺癌学会関東支部会 2011.
- 31) 河野友里, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 白川妙子, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. 腫瘍性病変と鑑別を要した器質化肺炎の 1 切除例. 第 136 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2011.
- 32) 須藤暁子, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 小林慎吾, 及川武史, 古川欣也, 斉藤誠, 中村治彦. 肺癌術後に気管内ポリープ状腫瘍で再発した 1 例. 第 134 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 33) 中村治彦, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 横手薫美夫, 立浪忍. 非小細胞肺癌患者の生命予後における性別の役割. 第 51 回日本肺癌学会総会 2010.
- 34) 田中克之, 箕輪良行, 月川賢, 岡田智幸, 望月篤, 伊野美幸. 本学におけるポートフォリオ評価の課題. 第 42 回日本医学教育学会大会 2010.
- 35) 斎藤裕貴, 半田寛, 古屋直樹, 木田博隆, 西根広樹, 中村美保, 石田明, 井上健男, 延山誠一, 白川妙子, 峯下昌道, 栗本典昭, 有泉泰, 前田一郎, 宮澤輝臣. 乳房外パジェット病による Endobronchial metastasis の 1 例. 第 135 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 36) 渡邊真威, 石田明, 中村美保, 古屋直樹, 半田寛, 木田博隆, 西根広樹, 延山誠一, 井上健男, 白川妙子, 峯下昌道, 栗本典昭, 宮澤輝臣. 脂肪肉腫による両側胸水貯留でタルクによる胸膜癒着が有効であった 1 例. 第 135 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 37) 山田恭司, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 大坪毅人. Babe 吊り上げ鉤を用いた腹腔鏡下虫垂切除術. 第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会 2010.
- 38) 宮崎賢澄, 亀井奈津子, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 山田恭司, 大坪毅人. 腹膜再発と鑑別を要した直腸癌手術後虚血性大腸炎の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.
- 39) 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 相田芳夫, 山田恭司, 大坪毅人. 成人腸重積症を呈した小腸 inflammatory fibroid polyp の 1 例. 第 72 回日本臨床外科学会 2010.
- 40) 山田恭司, 亀井奈津子, 宮崎賢澄, 本庄広大, 松下恒久, 濱谷昌弘, 戸部直孝, 金子英彰, 横手薫美夫, 大坪毅人. 吊り上げ鉤を用いた単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の手術手技. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.
- 41) 中村美保, 栗本典昭, 古屋直樹, 半田寛, 木田博隆, 西根広樹, 延山誠一, 井上健男, 白川妙子, 峯下昌道, 宮澤輝臣, 中村治彦. C-4 超・拡大内視鏡にて観察した気管病変の 1 例. 第 133 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2010.
- 42) 吉田良仁, 半田寛, 西根広樹, 古屋直樹, 木田博隆, 中村美保, 石田敦子, 延山誠一, 井上健男, 白川妙子, 峯下昌道, 栗本典昭, 宮澤輝臣. ステレオ気管支鏡気道計測が

外科学（呼吸器外科）

Montgomery T-tube のサイズ決定に有用であった post-intubation tracheal stenosis. 第 133 回日本内視鏡学会 2010.

② 国際学会

- 1) Nakamura H, Shinmyo T, Ando K, Mochizuki A, Kurimoto N. Female gender as a prognostic factor in non-small cell lung cancer. 9th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society 2010.
- 2) Kurimoto N, Nakamura H, Miyazawa T. Endobronchial ultrasonography using the guide sheath for peripheral lung cancer. 9th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society 2010.
- 3) Hiroki Nishine, Takehiko Hiramoto, Takeo Inoue, Hirotaka kida, Hiroshi Handa, Naoki Furuya, Fuzuki Ishikawa, Miho Makamura, Masahiro Ohshige, Atsuko Ishida, Seiichi Nobuyama, Takeo Shirakawa, Masamichi Mineshita, Noriaki Kurimoto. Assessment of tracheobronchial stenosis using lateral airway pressure by airway catheter during interventional bronchoscopy. 第 16 回世界気管支学会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 1 | |
| 論文 | 原著 | 3 | 3 |
| | 総説または解説 | 1 | |
| | 症例報告 | 1 | 1 |
| | その他 | 7 | |
| 学会発表 | 国内学会 | 42 | |
| | 国際学会 | 3 | |
| | その他 | | |

著書

- 1) 北川博昭. 3 章 知っておきたい救急疾患と処置 腸捻転—胃軸捻転・S 状結腸捻転. 小児科臨床ピクシス 小児外来で役立つ外科的処置 2010;:186-187.
- 2) 川瀬弘一. 1 章 診療に必要な外科的処置・対処法 食道・胃内異物. 小児科臨床ピクシス 小児外来で役立つ外科的処置 2010;:18-21.
- 3) 北川博昭. II 各論 3. 手術同意とインフォームドコンセント. 小児医療とインフォームドコンセント 2010;:101-109.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 古田繁行, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 島秀樹, 浜野志穂, 青葉剛史, 川瀬弘一, 佐藤英章. 小児の腫瘍形成性虫垂炎に対する Interval Appendectomy. 神奈川医学会雑誌 2010; 37(2):139-143.
- 2) 青葉剛史, 小池淳樹, 古田繁行, 島秀樹, 脇坂宗親, 大山亮, 近藤健介, 木下明俊, 高木正之, 北川博昭. 小児腎腫瘍改訂分類に基づく腎芽腫の組織学的再検討—後腎芽細胞優位型腎芽腫は予後良好か?—. 小児がん 2010;47(3):434-440.
- 3) 北川博昭, 脇坂宗親, 島秀樹, 古田繁行, 青葉剛史, 川瀬弘一, 佐藤英章, 望月篤. 嚢胞性肺疾患. 周産期医学 2010;40(8):1203-1208.
- 4) 北川博昭, 島秀樹, 脇坂宗親, 川瀬弘一. 重症心身障害児における気管切開術と喉頭気管分離術. 日本気管食道科学学会会報 2010;61(5):427-433.
- 5) 川瀬弘一, 北川博昭, 脇坂宗親, 島秀樹, 佐藤英章, 古田繁行, 浜野志穂, 長江秀樹, 青葉剛史. 膈 sliding window 法と右上腹部横切開による肥厚性幽門狭窄症手術の比較. 小児外科 2010;42(5):473-477.

② 総説又は症例解説

- 1) 北川博昭, 脇坂宗親, 川瀬弘一. 手術用の切開器具・装置(器械)—電気メス、バイポーラーの使い方—. 小児外科 2010;42(10):1043-1047.
- 2) 脇坂宗親, 北川博昭, 島秀樹, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史. 長期中心静脈栄養を必要としている患児の QOL. 小児外科 2010;42(4):414-419.
- 3) 島秀樹, 北川博昭, 嶋このみ, 山崎桂, 坂本三樹, 熊木孝代, 渡邊久美子, 脇坂宗親. 年長児の術前プレパレーション—手術室見学ツアーの導入とその効果—. 小児外科 2010;42(4):339-344.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Shima Hideki, Kitagawa Hiroaki, Wakisaka Munechika, Furuta Shigeyuki, Hamano Shiho, Aoba Takeshi. The usefulness of laryngotracheal separation in the treatment of severe motor and intellectual disabilities. Pediatric Surgery International 2010;26(10):1041-1044.
- 2) Kitajima Kazuki, Aoba Takeshi, Pringle KC, Seki Yasuji, Zuccollo J, Koike Junki, Chikaraishi Tatsuya, Kitagawa Hiroaki.

Bladder development following bladder outlet obstruction in fetal lambs: optimal timing of fetal therapy. Journal of Pediatric Surgery 2010;45(12):2423-2430.

学会発表

① 国内学会

- 1) 脇坂宗親, 北川博昭, 島秀樹, 古田繁行. 当院における 13-,18-trisomy 症例に対する小児外科の関わり. 第 46 回日本周産期・新生児医学会総会 2010.
- 2) 古田繁行, 小島宏司, 小玉正太, 北川博昭, Charles A. Vacanti. Tissue engineered adrenal gland—浮遊細胞培養(3 次元培養)と副腎幹細胞移植—. 第 46 回日本周産期・新生児医学会総会 2010.
- 3) 島秀樹, 北川博昭, 脇坂宗親, 古田繁行, 青葉剛史. 先天性腸閉鎖症における Micro-Colon とは?—. 第 46 回日本小児放射線学会 2010.
- 4) 伊藤泰雄, 上野滋, 浮山越史, 長村敏生, 鎌形正一郎, 川瀬弘一, 草川功, 村田祐二, 吉田雅博. 「エビデンスに基づいた小児腸重積症の診療ガイドライン」の目的と作成方法. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 5) 草川功, 伊藤泰雄, 上野滋, 浮山越史, 長村敏生, 鎌形正一郎, 川瀬弘一, 久保実, 吉田雅博. 小児腸重積症の疫学. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 6) 村田祐二, 伊藤泰雄, 上野滋, 浮山越史, 長村敏生, 鎌形正一郎, 川瀬弘一, 草川功, 久保実, 吉田雅博. 小児腸重積症の診断. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 7) 浮山越史, 伊藤泰雄, 上野滋, 長村敏生, 鎌形正一郎, 川瀬弘一, 草川功, 久保実, 村田祐二, 吉田雅博. 小児腸重積症の重症度診断. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 8) 川瀬弘一, 伊藤泰雄, 上野滋, 浮山越史, 長村敏生, 鎌形正一郎, 草川功, 久保実, 村田祐二, 吉田雅博. 小児腸重積症の治療(1)—非観血的整復—. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 9) 鎌形正一郎, 伊藤泰雄, 上野滋, 浮山越史, 長村敏生, 川瀬弘一, 草川功, 久保実, 村田祐二, 吉田雅博. 小児腸重積症の治療(2)—治療に関連する諸問題—. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 10) 武藤絢子, 近藤睦子, 中島康雄, 松本純一, 平泰彦, 脇坂宗親, 島秀樹, 北川博昭. 小児鈍的脾損傷における TAE の適応について. 第 46 回日本小児放射線学会 2010.
- 11) 島秀樹, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史. 旧臓器移植法のため心臓提供が不能であった重症心身障害児の一例. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 12) 北川博昭, 脇坂宗親, 島秀樹, 浜野志穂, 川瀬弘一, 佐藤英章, 平泰彦, 川口文夫. 小児における不慮の事故による死亡の救命率は改善可能か?—. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 13) 浜野志穂, 北川博昭, 島秀樹. 敗血症・腹部コンパートメント症候群に陥った急性穿孔性虫垂炎の一例. 第 24 回日本小児救急医学会 2010.
- 14) 脇坂宗親, 北川博昭, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史, 木下明俊, 近藤健介. 小児がん治療における小児外科の役割—集学的治療の一員として—. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.

外科学（小児外科）

- 15) 川瀬弘一, 北川博昭, 脇坂宗親, 佐藤英章, 古田繁行, 長江秀樹, 青葉剛史. 余剰皮膚の大きな臍ヘルニア、臍突出症に対する臍形成術の検討. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 16) 島秀樹, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史. 重症心身障害児の胃食道逆流防止術における体外式リバー・リトラクターの使用経験. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 17) 新開統子, 島秀樹, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史, 脇坂宗親, 北川博昭. 外科的治療が考慮された腸管出血性大腸菌 O-157 感染症例の検討. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 18) 長江秀樹, 漆原直人, 福本弘二, 福澤宏明, 杉山彰英, 渡邊健太郎, 光永眞紀, 三宅啓, 長谷川史郎. 当院で経験した外傷性膝損傷の検討. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 19) 青葉剛史, 北川博昭, Pringle KC, 小池淳樹, 北島和樹, Jane Zuccollo, 関保二, 長江秀樹, 力石辰也. ヒツジ胎仔尿路閉塞モデルにおける胎児手術の至適時期～閉塞早期の腎・膀胱の組織学的変化から～. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 20) 古田繁行, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 島秀樹, 浜野志穂, 青葉剛史, 山本仁, 宮本雄策, 吉岡奈月, 江川文誠, 金義孝, 土井啓司, 中田幸之介. 重症心身障害児における小児外科医の役割一川崎市における 3 施設による治療・介護の展開一. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 21) 佐藤英章, 川瀬弘一, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 島秀樹, 古田繁行, 浜野志穂, 青葉剛史. 小児腹腔鏡下尿管管切除術の 2 例. 第 47 回日本小児外科学会学術集会 2010.
 - 22) 佐藤英章, 川瀬弘一, 脇坂宗親, 島秀樹, 古田繁行, 青葉剛史, 北川博昭. 手術を回避できた喉頭気管分離術後気管腕頭動脈瘻の一例. 第 37 回日本小児内視鏡研究会 2010.
 - 23) 島秀樹. 当院 ER を受診した小児外傷性疾患の重症度評価の検討. 第 24 回日本外傷学会 2010.
 - 24) 島秀樹, 崎山武士. 重症心身障害児における半夏厚朴湯の有用性. 第 61 回日本東洋医学会学術総会 2010.
 - 25) 北川博昭. 座長 ポスター 胚細胞腫瘍2. 第 26 回日本小児がん学会学術集会 2010.
 - 26) 青葉剛史, 小池淳樹, 古田繁行, 島秀樹, 慶野大, 近藤健介, 脇坂宗親, 木下明俊, 高木正之, 北川博昭. 遠隔転移を来した腎芽腫 Favorable histology の 3 例. 第 26 回日本小児がん学会学術集会 2010.
 - 27) 古田繁行, 脇坂宗親, 島秀樹, 青葉剛史, 木下明俊, 近藤健介, 高木正之, 小池淳樹, 北川博昭. 尿閉で発症した限局性骨盤内神経芽腫の 2 例. 第 26 回日本小児がん学会学術集会 2010.
 - 28) 島秀樹, 五十嵐岳, 北川博昭, 脇坂宗親, 古田繁行, 青葉剛史. 胆道閉鎖症術後における Acoustic Radiation Force Impulse(ARFI)を用いた非侵襲的肝繊維化測定法の検討. 第 37 回日本胆道閉鎖症研究会 2010.
 - 29) 古田繁行, 脇坂宗親, 島秀樹, 青葉剛史, 北中陽介, 千葉清, 小川普久, 中島康雄, 北川博昭. 腕頭動脈縫縮+コイル塞栓で救命できた気管支腕頭動脈瘻の 1 例一予防、止血、手術法の検討一. 第 21 回日本小児呼吸器外科研究会 2010.
 - 30) 島秀樹, 脇坂宗親, 古田繁行, 青葉剛史, 崎山武士, 北川博昭. 在宅中心静脈栄養カテーテル使用患者における補中益気湯の使用経験. 第 15 回日本小児漢方研究会 2010.
 - 31) 遠藤麻澄, 島秀樹, 古田繁行, 脇坂宗親, 青葉剛史, 小川普久, 中島康雄, 北川博昭. 喉頭気管分離術後気管腕頭動脈瘻の 2 救命例. 第 60 回聖マリアンナ医科大学医学会学術集会 2010.
 - 32) 佐藤英章, 北川博昭, 川瀬弘一, 脇坂宗親, 島秀樹, 古田繁行, 青葉剛史. 当院における喉頭気管分離術後気管腕頭動脈瘻への治療戦略. 第 26 回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2010.
 - 33) 島秀樹, 北川博昭, 脇坂宗親, 古田繁行, 青葉剛史. 重症心身障害児における、逆流防止術+胃造設術後の胃周囲炎の発生要因とその対応に関する検討. 第 26 回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2010.
 - 34) 青葉剛史, 北川博昭, Pringle KC, 小池淳樹, 北島和樹, Jane Zuccollo, 関保二. ヒツジ胎仔尿路閉塞モデルにおける胎児手術の至適時期～閉塞早期の腎・膀胱の組織学的変化から～. 第 8 回日本胎児治療学会学術集会 2010.
 - 35) 古田繁行, 北川博昭, 脇坂宗親, 島秀樹, 浜野志穂, 青葉剛史. 小児虫垂切除術の術式選択～開腹 or 腹腔鏡～. 第 30 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 2010.
 - 36) 北川博昭. 大学病院における医療安全について. 第 6 回 TAMA カンファレンス 2010.
 - 37) 島秀樹. 難治性の胃造設術; 周囲炎に対して、胃・小腸バイパス術と腸瘻造設術を施行した重症心身障害児の 1 例. 第 24 回日本小児スーマ・排泄管理研究会 2010.
 - 38) 古田繁行, 北川博昭, 脇坂宗親, 新開統子, 島秀樹, 浜野志穂, 青葉剛史. バキュームベルを試用した漏斗胸の治療経験. 第 4 回漏斗胸手術ワークショップ 2010.
 - 39) 青葉剛史, 脇坂宗親, 古田繁行, 島秀樹, 慶野大, 近藤健介, 小池淳樹, 木下明俊, 北川博昭. 遠隔転移をきたした腎芽腫 Favorable histology の一例. 第 53 回神奈川小児腫瘍研究会 2010.
 - 40) 北川博昭. 特別講演司会「小児腫瘍の病理診断」. 第 53 回神奈川小児腫瘍研究会 2010.
- ### ② 国際学会
- 1) Kitagawa Hiroaki. 座長 SESSION IX. XXIII International Symposium on Paediatric Surgical Research 2010.
 - 2) Sato Hideaki, Kawase Hirokazu, Wakisaka Munechika, Kitagawa Hiroaki. THE LONG TERM PROGNOSIS OF TWO-FLAP ANOPLASTY FOR MUCOSAL PROLAPSE FOLLOWING ANORECTOPLASTY FOR ANAL ATRESIA. XXIII International Symposium on Paediatric Surgical Research 2010.
 - 3) Kitagawa Hiroaki, Pringle KC, Aoba Takeshi, Nagae Hideki, Koike Junki, Zuccollo J, Kawase Hirokazu, Seki Yasuji. DOES A URINOMA OR URINE ASCITES PROTECT RENAL DEVELOPMENT? . XXIII International Symposium on Paediatric Surgical Research 2010.
 - 4) Kitagawa Hiroaki, Pringle KC, Aoba Takeshi, Nagae Hideki, Koike Junki, Zuccollo J, Wakisaka Munechika, Seki Yasuji. HEALING OF INCISIONAL WOUNDS IN THE FETAL LAMBS(6min). XXIII International Symposium on Paediatric Surgical Research 2010.
 - 5) Aoba Takeshi, Kitagawa Hiroaki, Pringle KC, Koike Junki, Kitajima Kazuki, Zuccollo J, Seki Yasuji, Chikaraishi Tatsuya. Optimal timing of fetal therapy for lower urinary tract obstruction in fetal lambs, from the aspect of renal development.

外科学（小児外科）

43rd Pacific Association of Pediatric Surgeons 2010.

- 6) Kitajima Kazuki, Kitagawa Hiroaki, Pringle KC, Koike Junki, Aoba Takeshi, Zuccollo J, Seki Yasuji, Chikaraishi Tatsuya. Optimal timing of fetal therapy for lower urinary tract obstruction in fetal lambs, from the aspect of bladder development. 43rd Pacific Association of Pediatric Surgeons 2010.
- 7) Kitagawa Hiroaki, Taira Yasuhiko, Wakisaka Munechika, Shima Hideki, Kawase Hirokazu, Sato Hideaki. Thirty years of trauma deaths in a single institution:-Are there any surgical options for salvage?. 3rd World Congress of Pediatric Surgery 2010.
- 8) Kitagawa Hiroaki. Moderators Asian Session. The 29th Annual Interntional Fetal Medicine and Surgery Society Conference 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 3 | |
| 論文 | 原著 | 5 | 2 |
| | 総説または解説 | 3 | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 40 | |
| | 国際学会 | 8 | |
| | その他 | | |

著書

- 1) 太田智彦. 遺伝子診療学(第2版)ー遺伝子診断の進歩とゲノム治療の展望ー I. 遺伝子診断(Genetic Diagnosis) B. 各論がんのゲノム解析と診療への応用 乳がん. 日本臨床 2010;68(増刊):438-443.
- 2) 太田智彦. DNA 修復とがん治療の分子標的 BRCA 遺伝子異常と標的治療. がん分子標的治療 2010;8(2):122-127.
- 3) 津川浩一郎. 2.化学療法,放射線療法 b.転移乳癌 Q13. 乳癌診療 こんなときどうする Q&A 2010;:96-97.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 小野田敏尚, 角田博子, 津川浩一郎, 菊池真理, 本田聡, 山内英子, 矢形寛, 鈴木高祐, 齋田幸久, 中村清吾. 石灰化病変主体の乳癌に対する超音波とマンモグラフィを併用したマッピング法の考案とその有効性についての単施設研究. 乳癌の臨床 2010;25(5):563-575.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Koike A, Nishikawa H, Wu W, Okada Y, Venkitaraman AR, Ohta T. Recruitment of phosphorylated NPM1 to sites of DNA damage through RNF8-dependent ubiquitin conjugates. Cancer Res 2010;70(17):6746-56.

学会発表

① 国内学会

- 1) 西川徹, 片山真史, 神尾浩司, 住吉賢, 田中圭一, 中野浩, 速水亮介, 緒方晴樹. 乳癌術後に肝障害のみ出現し診断に難渋したパセドウ病の1例. 第22回日本内分泌外科学会総会 2010.
- 2) 西川徹, 速水亮介, 住吉賢, 花井彰, 小森山広幸, 緒方晴樹. Bisphosphonate 製剤投与に伴う顎骨壊死を発症した乳癌骨転移症例. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 3) 白英, 川本久紀, 永澤慧, 岩重玲子, 上島知子, 土屋恭子, 速水亮介, 志茂新, 浅川英輝, 本田朱麗, 河原太, 矢吹由香里, 太田智彦, 緒方晴樹, 福田護. 骨髄転移が疑われる急速に症状が進行した劇症型乳癌の1例. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 4) 緒方晴樹, 永澤慧, 岩重玲子, 小池彩華, 上島知子, 土屋恭子, 都築麻紀子, 志茂新, 速水亮介, 川本久紀, 前田一郎, 福田護. 内分泌感受性HER2陽性乳癌症例に対する術前化学療法の有効性と今後の展望. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 5) 太田智彦, 浅川英輝, 呉文文. DNA 損傷応答と乳癌の薬剤感受性. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 6) 永澤慧, 小池彩華, 岩重玲子, 上島知子, 土屋恭子, 都築麻紀子, 川本久紀, 中島康雄, 前田一郎, 緒方晴樹. MRI で対側乳房に異常を認めた DCIS in Sclerosing adenosis の2例. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.

- 7) 志茂新, 永澤慧, 岩重玲子, 小池彩華, 上島知子, 白英, 速水亮介, 浅川英輝, 都築麻紀子, 前田一郎, 緒方晴樹, 福田護. 当院における葉状腫瘍での縮小手術の検討. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 8) 川本久紀, 都築麻紀子, 永澤慧, 岩重玲子, 小池彩華, 上島知子, 土屋恭子, 浅川英輝, 志茂新, 速水亮介, 白英, 河原太, 矢吹由香里, 緒方晴樹, 福田護. 当院における高齢者乳癌での局所再発の検討. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 9) 小池彩華, 永澤慧, 岩重玲子, 上島知子, 土屋恭子, 志茂新, 川本久紀, 中島康雄, 前田一郎, 福田護, 緒方晴樹. 当院における HER2 陽性転移性乳癌に対するラパチニブ使用の検討. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 10) 都築麻紀子, 都築信太郎, 川本久紀, 土屋恭子, 印牧義英, 白英, 長谷川雅子, 今井陽子, 上島知子, 志茂新, 河原太, 矢吹由香里, 緒方晴樹, 福田護. 当院におけるチーム医療と患者アンケート結果. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 11) 松宮彰彦, 高用茂, 渡辺紘, 北村隆司, 吉田耕三, 白英, 日比健志, 真田裕. 閉経後高度内分泌反応性乳癌への術後療法に関する検討ー術後化学療法追加の閾値はどこか?. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 12) 長谷川雅子, 今井陽子, 川本久紀, 白英, 福田護. 乳がん手術後ケア用紙を用いた外来での患者指導の実施. 第18回日本乳癌学会 2010.
- 13) 川本久紀. プレスト&イメージングセンター開院後の近況と病診連携について. 第3回川崎乳腺研究会 2010.
- 14) 津川浩一郎. 乳がんセンチネルリンパ節生検に関する最近の話題. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 15) 土屋恭子. 術前化学療法前検体と手術検体における ER・HER2 発現と組織学的治療効果判定の比較. 第48回日本癌治療学会学術総会 2010.
- 16) 小川優理, 大橋冬美, 前里美和子, 佐藤光也, 印牧義英, 嶋本裕, 岡崎寛子. MRI による乳がん検診(乳腺 MRI ドック)の経験. 第20回日本乳癌検診学会総会 2010.
- 17) 前里美和子, 大橋冬美, 小川優理, 岡崎寛子, 嶋本裕, 印牧義英, 白英, 川本久紀, 福田護. 乳腺専門施設における対策型乳癌検診の評価. 第20回日本乳癌検診学会総会 2010.
- 18) 国武志帆, 市瀬雅寿, 嶋本裕, 印牧義英, 川本久紀, 福田護. 当院乳房 MRI で異常を指摘された 2nd look US 症例の検討. 第20回日本乳癌学会総会 2010.
- 19) 島田菜穂子, 野末悦子, 高木富美子, 木場律子, 霞富士雄, 福田護. 今, 何が出来るか, これから, 何をすべきか(指定演題). 第20回日本乳癌検診学会総会 2010.
- 20) 津川浩一郎. ランチョンセミナー12 乳がんセンチネルリンパ節生検に関する最近の話題. 第72回日本臨床外科学会総会 2010.
- 21) 土屋恭子, 緒方晴樹, 上島知子, 志茂新, 速水亮介, 矢吹由香里, 太田智彦, 川本久紀, 福田護, 前田一郎. 術前化学療法前検体と手術検体における ER・HER2 発現と組織学的治療効果判定の比較. 第48回日本癌治療学会学術総会 2010.
- 22) 上島知子, 永澤慧, 岩重玲子, 小池彩華, 土屋恭子, 志茂新, 速水亮介, 河原太, 川本久紀, 矢吹由香里, 緒方晴樹, 福田護, 前田一郎. 当院での術前化学療法後のセンチネルリンパ節生検の検討. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 23) 速水亮介, 永澤慧, 岩重玲子, 小池彩華, 都築麻紀子, 上島知子, 土屋恭子, 浅川英輝, 白英, 志茂新, 河原太, 川本久紀, 矢吹由香里, 緒方晴樹, 太田智彦, 福田護, 前田一郎, 岡崎寛子, 印牧義英. 広がり診断を過小・過剰評価した症例の検

外科学（乳腺・内分泌外科）

- 討. 第 18 回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 24) 嶋本裕, 印牧義英, 岡崎寛子, 白英, 都築麻紀子, 矢吹由香里, 緒方晴樹, 福田護, 中島康雄, 前田一郎. MR 検出病変に対するの病理的検討. 第 18 回日本乳癌学会学術集会 2010.
- 25) 岡崎寛子, 印牧義英, 奥田逸子, 嶋本裕, 矢吹由香里, 前田一郎, 緒方晴樹, 太田智彦, 福田護. マンモトーム(MMT)適応石灰化症例における MRI の有用性の検討. 第 18 回日本乳癌学会学術集会 2010.
- 26) 前田一郎, 土屋恭子, 田島信哉, 緒方晴樹, 太田智彦, 福田護, 印牧義英, 岡崎寛子, 中島康雄. 術前化学療法における乳癌 intrinsic subtype の検討. 第 18 回日本乳癌学会学術総会 2010.
- 27) 土屋恭子, 緒方晴樹, 上島知子, 浅川英輝, 志茂新, 速水亮介, 河原太, 川本久紀, 矢吹由香里, 太田智彦, 印牧義英, 前田一郎, 福田護. 臨床が悪性と鑑別が困難である良性乳腺疾患への、病理学的診断に最適な組織採取法についての検討. 第 18 回日本乳癌学会学術総会 2010.

② 国際学会

- 1) 津川浩一郎, Seigo Nakamura, Hiroji Iwata, Shinji Ohno, Futoshi Akiyama, Kazuyoshi Motomura, Yasuharu Tokuda, Shunsuke Haga. A Nationwide Multicenter Study of the Sentinel Lymph Node Biopsy for the Breast Cancer Patients in Japan. The 7th International Sentinel Node Society Meeting 2010.

③ その他

- 1) 津川浩一郎. 課題症例の紹介とグループワークの進め方について. 横浜チームオンコロジーワークショップ 2010.
- 2) 津川浩一郎. わかりやすい乳がん治療薬のお話. ピンクリボンウーマンヘルスセミナー2010 -乳がん検診と最近の治療薬について- 2010.
- 3) 津川浩一郎. 講演. ピンクビューティーチャリティーガラパーティー 2010.
- 4) 津川浩一郎. セミナー講師. 乳房超音波検査を学ぼう! 2010 2010.
- 5) 津川浩一郎. 最近の乳がん診療の進歩と乳がん検診. 平成 22 年度 中央区医師会 管外保険講習会 2010.
- 6) 津川浩一郎. 乳癌センチネルリンパ節生検の実際と諸問題. 第 7 回 中国地区 Breast Cancer 研究会 2010.
- 7) 津川浩一郎. 乳がん診療におけるがんチーム医療の実際. 学術講演会 Cancerboard への関わり 2010.
- 8) 津川浩一郎. 特別講演 1「乳がん診療における HER2 診断の重要性」. 神奈川 HER2 セミナー 2010.
- 9) 津川浩一郎. セミナー講師. 乳房超音波検査を学ぼう! -応用編- 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 3 | |
| 論文 | 原著 | 1 | 1 |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 27 | |
| | 国際学会 | 1 | |
| | その他 | 9 | |

脳神経外科学（脳神経外科一般）

著書

- 1) 平本準, 田中雄一郎. 新生児の脊椎 3D-CT は、二分脊椎と誤認しやすい. 脳神経検査のグノーティ・セアウトン Part 2 2010; :38-39.
- 2) 田中雄一郎. C-VI 各種脳腫瘍の手術 3. 神経鞘腫 ②前庭神経鞘腫. イラストレイテッド 脳腫瘍外科学 2011; 1: 172-175.
- 3) 田中克之. 神経・精神・運動器疾患: 脳腫瘍. イヤーノート内科・外科編第 20 版 2010; :J188-J203.
- 4) 田中克之. 神経・筋の異常: 脳腫瘍. 病気がみえる Vol.7 脳・神経 2011; :412-439.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 小野元, 田中雄一郎, 橋本卓雄, 力石辰也, 箕輪良行, 平泰彦. 提供施設における移植医療関連費用について. Neurosurgical Emergency 2010; 15(1): 9-14.
- 2) 田中雄一郎, 神野崇生, 内田将司, 小菅康史, 小野寺英孝, 遠藤秀, 吉田泰之, 伊藤英道, 平本準, 森嶋啓之, 榊原陽太郎, 橋本卓雄. Pterional approach (蝶形骨縁到達法) ービットフォール回避の知識ー. 脳神経外科ジャーナル 2010; 19(10): 727-732.
- 3) 小野元, 吉野茂, 秋山政人, 高橋公太. 特集: 臓器移植 臓器提供のための医療機関のあり方. 日本臨床 2010; 68(12): 2210-2214.
- 4) 橋本卓雄. 世阿弥の「稽古哲学」に学ぶ脳神経外科学の訓練. Neurological Surgery 2011; 39(3): 227-228.
- 5) 中山博文, 石川達哉, 山下真吾, 福井一生, 武藤達士, 引地堅太郎, 吉岡正太郎, 河合秀哉, 玉川紀之, 師井淳太, 鈴木明文, 安井信之. Basal interhemispheric approach による交通動脈瘤クリッピング術での髄液漏および臭覚障害. Neurological Surgery 2011; 39(3): 263-268.
- 6) 和久井大輔, 長島梧郎. 特集 意識障害(緊急を要する症状・病態)の初期診療と意識障害への初期対応)各論2 脳血管障害(出血性疾患). 月刊 レジデント 2010; 3(9): 45-52.
- 7) 合志清隆, 別府高明, 田中克之, 小川和彦, 井上治. 悪性グリオーマに対する高気圧酸素療法の放射線増感作用及びその他の悪性腫瘍への応用. 日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2010; 46(1): 1-7.

② 総説又は症例解説

- 1) 田中雄一郎, 神野崇生, 内田将司, 小菅康史, 小野寺英孝. pituitary carcinoma. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010; 38(2・3 合併): 75-79.
- 2) 田中雄一郎, 神野崇生, 内田将司, 小菅康史, 小野寺英孝. 内分泌腺腫瘍 ー基礎・臨床研究のアップデートー III. 間脳・下垂体腫瘍 間脳・下垂体腫瘍の治療 外科的治療 開頭手術. 日本臨床 2011; 69(増刊 2): 187-191.

③ 症例報告

- 1) 伊藤英道, 長島梧郎, 高田達郎, 植田敏浩, 田中雄一郎, 橋本卓雄, 関一平. 脳動脈瘤手術1ヶ月後に生じた肺塞栓に心肺停止例. 日本救急医学会雑誌 2011; 22(1): 29-35.

- 2) 榊原陽太郎, 松森隆史, 田口芳雄, 小泉宏隆. Supratentorial High Convexity Intradural Extramedullary Cavernous Angioma -Case Report-. Neurologia medico-chirurgica 2010; 50(4): 328-329.

学会発表

① 国内学会

- 1) 中村歩希, 水庭宜隆, 鈴木由布, 小野寺英孝, 古屋優, 田口芳雄. Spontaneous cerebrospinal fluid otorrhea の一例. 第 111 回日本脳神経外科学会関東地方会 2010.
- 2) 小菅康史, 平本準, 森嶋啓之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 血栓による脳室心房シャント機能不全の一例. 第 111 回日本脳神経外科学会関東地方会 2010.
- 3) 大塩恒太郎, 内田一好, 松森隆史, 橋本卓雄. 抗凝固療法下 2 年間の画像経過観察にて血管狭窄の改善を観察した Trousseau 症候群の 1 例. 第 35 回日本脳卒中学会総会 2010.
- 4) 小野元, 長谷川泰弘, 干川芳弘, 田中克之, 山田明生, 田中雄一郎, 橋本卓雄. tPA 静注療法非施行病院へ救急搬送される脳卒中症例の検証 ～これからの搬送、診断、治療実施はどうあるべきか～. 第 35 回日本脳卒中学会総会 2010.
- 5) 榊原陽太郎, 吉田泰之, 御影秀徳, 遠藤秀, 田中雄一郎, 橋本卓雄. Anaplastic oligoastrocytoma より生じた症候性脳出血の 1 例. 第 39 回日本脳卒中の外科学会 2010.
- 6) 森嶋啓之, 和久井大輔, 伊藤英道, 大島幸亮, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 潰瘍性病変を伴う頸動脈狭窄症に対するステント留置術の 1 例. 第 9 回日本頸部脳血管治療学会 2010.
- 7) 中村歩希, 工藤忠, 大久保信治, 小林博雄. 腰椎疾患に対する片側進入と棘突起縦割進入による術後疼痛の検討. 第 25 回日本脊髄外科学会 2010.
- 8) 橋本卓雄, 平本準. Spinal cavernous angioma? 出血の一例. 第 24 回多摩脊椎・脊髄カンファレンス 2010.
- 9) 内田将司, 田中雄一郎, 榊原陽太郎, 橋本卓雄. 鞍結節切除を必要とした前交通動脈瘤クリッピング術の一例. 第 1 回脳神経外科手術ビデオセミナー ー脳動脈瘤ー 2010.
- 10) 吉田泰之, 田中雄一郎, 榊原陽太郎, 平本準, 内田将司, 森英輝, 藤井暁, 橋本卓雄. 後頭葉近傍髄内腫瘍摘出術における術中 VEP モニタリングの有用性. 第 16 回日本脳神経モニタリング学会 2010.
- 11) 小野元, 力石辰也, 中村晴美, 竹内みゆき, 上野聰樹, 秋山政人, 高橋公太. 当院における臓器提供・移植の在り方について. 第 26 回腎移植・血管外科研究会 2010.
- 12) 田中雄一郎, 御影秀徳, 小菅康史. 鞍結節部への癒着が強かった ACoA 動脈瘤の 1 例. 第 19 回長野脳神経外科手術手技カンファレンス 2010.
- 13) 平本準, 小菅康史, 伊藤英道, 森嶋啓之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 側副血行を欠く大型内頸動脈瘤の一例. 第 13 回神奈川脳神経外科手術手技研究会 2010.
- 14) 和久井大輔, 長島梧郎, 高田達郎, 植田敏浩, 関一平, 伊藤英道, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 破裂脳動脈瘤へのネッククリッピング術後肺塞栓症から心肺停止を来した 1 例. 第 112 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 15) 鈴木由布, 古屋優, 中山博文, 中村歩希, 水庭宜隆, 田口芳雄, 平本準. 長期経過フォローをおこなった Hemangiopericytoma の一例. 第 20 回神奈川脳腫瘍フォーラム 2010.

脳神経外科学（脳神経外科一般）

- 16) 吉田泰之, 田中雄一郎, 鈴木由布, 伊藤英道, 橋本卓雄. のう胞を伴った小脳腫瘍の一例 ～その後の経過～. 第 20 回 神奈川県腫瘍フォーラム 2010.
- 17) 神野崇生, 吉田泰之, 榊原陽太郎, 内田将司, 遠藤秀, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 肺原発の神経内分泌癌の脳転移に対し開頭手術とガンマナイフ治療が奏功した 1 例. 第 112 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 18) 鈴木由布, 古屋優, 中山博文, 水庭宜隆, 中村歩希, 滝本円, 田口芳雄. 脳浸潤で再発した急性骨髄性白血病の 1 例. 第 112 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 19) 田中雄一郎. 硬膜内頭蓋底局所ドリリングの工夫. 第 15 回日本脳腫瘍の外科学会 2010.
- 20) 小野元, 藤谷茂樹, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦, 田中雄一郎. 救急現場における脳死下臓器提供体制の新しい在り方. 第 38 回日本救急医学会総会・学術集会 2010.
- 21) 和久井大輔, 長島悟郎. 急性硬膜下血腫術 12 年後に硬膜下膿瘍を来した 1 例. 第 59 回日本感染症学会 2010.
- 22) 内田一好, 大塩恒太郎, 松森隆史, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 頭部外傷後水頭症の臨床的検討 ～GCS 9pts 以上の軽症・中等症頭部外傷において～. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 23) 田中克之, 吉田泰之, 田中雄一郎, 内田将司, 小野元, 干川芳弘, 橋本卓雄. 悪性神経膠腫の化学療法において高気圧酸素療法は有用か. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 24) 吉田泰之, 田中克之, 田中雄一郎, 内田将司, 橋本卓雄. テモゾロミド長期投与の検討. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 25) 小野寺英孝, 田中雄一郎, 田口芳雄, 大塩恒太郎, 田中克之, 長島悟郎, 橋本卓雄. 術者教育における世代間相違. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 26) 中村歩希, 水庭宜隆, 鈴木由布, 中山博文, 古屋優, 田口芳雄. 頭痛のみで発症した非出血性椎骨動脈解離の検討. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 27) 田中雄一郎, 吉田泰之, 伊藤英道, 平本準, 森嶋啓之, 榊原陽太郎, 橋本卓雄. トルコ鞍部腫瘍摘出術における上下垂体動脈温存の工夫. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 28) 小野元, 内田将司, 田中克之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 改正臓器移植法における提供施設と脳神経外科医の役割. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 29) 伊藤英道, 和久井大輔, 小野寺英孝, 森嶋啓之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 傍突起部内頸動脈瘤に対する血管内治療の有効性. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 30) 鈴木由布, 古屋優, 中山博文, 水庭宜隆, 中村歩希, 吉田泰之, 田口芳雄. 後期高齢者悪性神経膠腫に対する治療戦略. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 31) 吉田泰之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. マルチモダリティとマルチテクニックを用いた標準的神経膠腫の手術. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 32) 和久井大輔, 長島悟郎, 高田達郎, 植田敏浩, 伊藤英道, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 脳神経外科領域の手術部位感染予防のための AST(Active surveillance testing)の意義. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 33) 中山博文, 内田将司, 水庭宜隆, 鈴木由布, 小野寺英孝, 中村歩希, 古屋優, 田口芳雄. くも膜下出血急性期における栄養管理の検討. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 34) 榊原陽太郎, 田中雄一郎, 吉田泰之, 遠藤秀, 神野崇生, 橋本卓雄. 未破裂中大脳動脈 short M1 上向き動脈瘤の開頭クリッピング術. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 35) 内田将司, 田中克之, 吉田泰之, 鈴木由布, 田中雄一郎, 橋本卓雄. Temozolomide (TMZ) 不応性悪性神経膠腫に対する高気圧酸素下カルボプラチン療法の効果. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 36) 森嶋啓之, 伊藤英道, 和久井大輔, 田中雄一郎, 橋本卓雄, 倉田彰, 鈴木祥生. 破裂解離性椎骨動脈瘤の臨床像およびコイル塞栓術の長期成績. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 37) 古屋優, 水庭宜隆, 鈴木由布, 中村歩希, 田口芳雄. 慢性硬膜下血腫穿頭-洗浄術後再発における burr hole button の影響についての検討. 日本脳神経外科学会第 69 回学術総会 2010.
- 38) 森嶋啓之, 伊藤英道, 平本準, 榊原陽太郎, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 高齢者の破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術とクリッピング術. 第 26 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2010.
- 39) 伊藤英道, 森嶋啓之, 和久井大輔, 小野寺英孝, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 発育方向別にみた傍突起部内頸動脈瘤に対するコイル塞栓術の治療結果. 第 26 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2010.
- 40) 小菅康史, 平本準, 森嶋啓之, 田中克之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. Pituicytoma の 1 例. 第 15 回かながわ間脳下垂体疾患カンファレンス 2010.
- 41) 小菅康史, 平本準, 森嶋啓之, 田中克之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 再発下垂体腫瘍 思いのほか止血に手間取った 1 例. 第 11 回間脳下垂体疾患症例検討会 2010.
- 42) 和久井大輔, 長島悟郎, 高田達郎, 植田敏浩, 伊藤英道, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 人工骨による頭蓋形成術後感染予防における AST の意義. 第 23 回日本外科感染症学会 総会学術集会 2010.
- 43) 吉田泰之, 田中雄一郎, 榊原陽太郎, 神野崇生, 平本準, 伊藤英道, 高砂浩史, 森嶋啓之, 内田将司, 小野寺英孝, 橋本卓雄. 特発性急性硬膜外血腫を来したプロジェリア症候群の一例. 第 113 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 44) 中山博文, 水庭宜隆, 鈴木由布, 中村歩希, 古屋優, 田口芳雄. CT scan で著明な高吸収域を呈した Dermoid cyst の一例. 第 113 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 45) 和久井大輔, 長島悟郎, 高田達郎, 植田敏浩, 伊藤英道, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 円蓋部クモ膜嚢胞に合併した慢性硬膜下血腫の 2 例. 第 113 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 46) 小野寺英孝, 田中雄一郎, 内田将司, 橋本卓雄. 術者教育と世代間相違. 聖マリアンナ医科大学医学会第 60 回学術集会 2010.
- 47) 伊藤英道, 森嶋啓之, 和久井大輔. Lesion cross 出来なかった頸部内頸動脈高度狭窄症の 1 例. 第 41 回近畿脳神経血管内手術法ワークショップ 2011.
- 48) 水庭宜隆, 古屋優, 中村歩希, 中山博文, 神野崇生, 田口芳雄. 頭蓋内出血で発症した髄膜腫の一例. 第 21 回神奈川県腫瘍フォーラム 2011.
- 49) 神野崇生, 古屋優, 水庭宜隆, 中山博文, 中村歩希, 田口芳雄. 両側 EDAS 施行後 17 年経過したもやもや病合併妊婦の

脳神経外科学（脳神経外科一般）

- 周産期脳出血の1例. 第27回神奈川脳卒中フォーラム 2011.
- 50) 小野元. 日本における臓器提供のための医療機関の在り方. 第16回日本脳神経外科救急学会 2011.
- 51) 内田一好. 神経原性肺水腫をともなった急性期脳梗塞に対しrt-PA 静注療法を施行した一例について. 第16回日本脳神経外科救急学会 2011.
- 52) 内田一好, 松森隆史, 大塩恒太郎. 子宮筋腫術後に雷鳴頭痛とともにけいれん重積状態となった Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome (RPLS)の1例. 第38回日本頭痛学会総会 2010.
- 53) 和久井大輔, 長島悟郎, 大塚快信, 高田達郎, 植田敏浩, 田中雄一郎, 橋本卓雄. Neisseria subflava による脳神経外科術後髄膜炎の1例. 第69回神奈川県感染症医学会例会 2011.
- 54) 田中雄一郎. 傍鞍部腫瘍及び動脈瘤の手術 ～上下垂体動脈に関する私のこだわり～. 第54回千葉脳外科学会 2011.
- 55) 小菅康史, 平本準, 森嶋啓之, 田中克之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. Pituicytoma の1例. 第21回日本間脳下垂体腫瘍学会 2011.
- 56) 平本準. 乳児の血友病に合併した髄膜硬膜外血腫の1例. 第25回多摩脊椎・脊髄カンファレンス 2010.
- 57) 内田将司, 田中克之, 吉田泰之, 田中雄一郎, 橋本卓雄. グリオーマの抗癌剤感受性に対する高気圧酸素療法の増強効果 ―ヒトグリオーマ株スフェロイドを用いた検討―. 第45回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 2010.
- 58) 田中克之. 本学における元気のでるFD (Faculty Development). 聖マリアンナ医科大学医学会第59回学術集会 2010.
- 59) 田中克之, 箕輪良行, 月川賢, 岡田智幸, 望月篤, 伊野美幸. 本学におけるポートフォリオ評価の課題. 第42回日本医学教育学会大会 2010.
- 60) 内田将司, 田中克之, 吉田泰之, 鈴木由布, 田中雄一郎, 橋本卓雄. グリオーマの抗癌剤感受性に対する高気圧酸素療法の増強効果. 第28回日本脳腫瘍学会学術集会 2010.
- 61) 吉田泰之, 田中雄一郎, 田中克之, 内田将司, 鈴木由布, 橋本卓雄. テモゾロミド投与におけるプロトンMRSの有用性. 第28回日本脳腫瘍学会学術集会 2010.
- 62) 松森隆史, 大塩恒太郎, 内田一好, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 浅側頭動脈―中大脳動脈吻合術後に脳内出血を伴う仮性動脈瘤を形成した一例. 第113回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.
- 63) 和久井大輔, 長島悟郎, 高田達郎, 植田敏浩, 関一平, 伊藤英道, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 破裂脳動脈瘤へのネッククリッピング術後肺塞栓症から心肺停止を期した1例. 第112回日本脳神経外科学会関東支部学術集会 2010.

② 国際学会

- 1) 橋本卓雄. Chemotherapy combined with hyperbaric oxygenation for malignant gliomas. 第8回日中友好脳神経外科会議 2010.

③ その他

- 1) 大塩恒太郎, 小野寺英孝, 内田将司, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 自然発症II型糖尿病ラットの脳細小動脈レベルにおける動脈硬化性変化の組織学的検討と髄液持続還流法を用いた頭蓋内圧波形解析によるコンプライアンス評価の試み. 平成22

年度構成労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究」班会議 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 4 | |
| 論文 | 原著 | 7 | |
| | 総説または解説 | 2 | |
| | 症例報告 | 2 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 63 | |
| | 国際学会 | 1 | |
| | その他 | 1 | |

脳神経外科学（脳卒中）

学会発表

① 国内学会

- 1) 田中雄一郎. Pterional approach. 第30回日本脳神経外科コンgres総会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 1 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | | |

著書

- 1) 松下和彦. Brodie 膿瘍. 今日の整形外科治療指針. 第 6 版. (国分正一、他編集). 医学書院. 東京 2010;:142.
- 2) 松下和彦. 硬化性骨髄炎(Garre). 今日の整形外科治療指針. 第 6 版. (国分正一、他編集). 医学書院. 東京 2010;:142-143.
- 3) 松下和彦. 開放骨折後の骨髄炎. 今日の整形外科治療指針. 第 6 版. (国分正一、他編集). 医学書院. 東京 2010;:144-145.
- 4) 松下和彦. 皮膚や骨欠損を伴う骨髄炎. 今日の整形外科治療指針. 第 6 版. (国分正一、他編集). 医学書院. 東京 2010;:145-146.
- 5) 松下和彦, 別府諸兄. 10. 整形外科領域の感染症 化膿性骨髄炎, 生体材料の感染, 感染症診療の基礎と臨床～耐性菌の制御に向けて～ 飯沼由嗣, 舘田一博編 2010;:275-282.
- 6) 松下和彦, 別府諸兄. 第 4 章一疾患「筋骨格系結核」. 図説◆臨床看護医学 デジタル版-13:整形外科, 濱田良機監修 2010.
- 7) 松下和彦, 別府諸兄. 第 4 章一疾患「化膿性骨髄炎」. 図説◆臨床看護医学 デジタル版-13:整形外科, 濱田良機監修 2010.
- 8) 松下和彦, 別府諸兄. 3 術後感染治療のための抗菌薬の使い方. 骨・関節術後感染対策ハンドブック 勝呂 徹、里見和彦編 2010;:32-36.
- 9) 松下和彦, 別府諸兄. 4 耐性菌に対する抗菌薬の選択. 骨・関節術後感染対策ハンドブック 勝呂 徹、里見和彦編 2010;:37-43.
- 10) 松下和彦, 別府諸兄. 第VI章 手術部位感染予防のための病棟における管理と対策. 骨・関節術後感染対策ハンドブック 勝呂 徹、里見和彦編 2010;:63-76.
- 11) 松下和彦, 別府諸兄. 第 14 章 手関節・手疾患 G 変形性関節症. 整形外科専門医テキスト 長野 昭ら編集 2010;:702-704.
- 12) 松下和彦, 別府諸兄. 第 14 章 手関節・手疾患 H 腱鞘炎. 整形外科専門医テキスト 長野 昭ら 編集 2010.
- 13) 新井猛. 手の疾患 高压注入損傷. 今日の整形外科治療指針. 第6版. (国分正一、他編集) 2010;:499.
- 14) 新井猛. 外(内)側上顆炎. 整形外科臨床パサージュ5 手・肘の痛みクリニカルプラクティス 2010;:62-67.
- 15) 清水弘之. 手袋状剥皮損傷. 今日の整形外科治療指針 6 版(編集国分正一、岩谷力) 2010;:498.
- 16) 清水弘之. 肩の超音波. 運動器の超音波診断訳(編集別府諸兄 中島浩志) 2010;:39-63.
- 17) 清水弘之. 手関節痛に関する補助診断法. 整形外科臨床パサージュ;手・肘の痛みクリニカルプラクティス 2010;:148-155.
- 18) 石井庄次, 別府諸兄. 第10章 運動器疾患の新しいリハビリテーション-術後の在院期間短縮への工夫 3. 大腿骨頸部骨折. 先端医療シリーズ 40 リハ医とコメディカルのための 最新リハビリテーション医学 2010;:198-202.
- 19) 泉山公. 橈骨遠位端背側プレートの利点と適応. OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準 高齢者の橈骨遠位端骨折の治療 早期 ADL 回復を目指して 2010;:101-110.
- 20) 泉山公, 別府諸兄, 中島浩志. 筋と腱の異常、末梢神経の異常、靭帯と骨の異常. 運動器の超音波診断(第 5 章)訳 2010;:153-170.

- 21) 中島浩志, 谷口信行, 瀬本喜啓, 平林伸治. 整形外科. 超音波専門医認定試験問題集(超音波専門医制度委員会編). 日本超音波医学会東京 2010;:273-281.
- 22) 別府諸兄. 腱鞘炎. NHK きょうの健康大百科 2010;:410-411.
- 23) 別府諸兄. 変形性指関節症. NHK きょうの健康大百科 2010;:412-413.
- 24) 別府諸兄, 中島浩志監訳. -. 運動器の超音波診断(Fundamentals of Musculoskeletal Ultrasound(Jon A. Jacobson) 2010.
- 25) 別府諸兄, 太藻ゆみこ. 変形性股関節症の診断と治療. 医学のあゆみ「ロコモティブシンドローム」 2011;236(5):501-506.
- 26) 新井猛, 別府諸兄. カシワドール ノイトロロビン. メディクイックブック 患者さんにわかる薬の説明 2011;14:2011.
- 27) 笹益雄, 別府諸兄. 上腕、肘、前腕:Galeazzi 骨折. アトラス骨・関節画像診断 3. 外傷(中外医学会) 2011;:56-58.
- 28) 笹益雄, 別府諸兄. 上 Chapter5 手の問題:指の変形. アトラス骨・関節画像診断 6. 小児(中外医学会) 2011;:68-69.
- 29) 笹益雄. Chapter5 手の問題:母指多指症. アトラス骨・関節画像診断 6. 小児(中外医学社) 2011;:70-71.
- 30) 笹益雄. Chapter5 手の問題:その他の手指先天異常. アトラス骨・関節画像診断 6. 小児(中外医学会) 2011;:72-74.
- 31) 仁木久照. 鏡視下手術;足関節内病変に対する鏡視下手術. 第3回日本足の外科学会教育研修会テキスト 2010;:50-59.
- 32) 青木治人. 下腿の痛みのとらえ方/診断手順. 今日の整形外科治療指針. 第6版. (国分正一、他編集) 2010;:782-783.
- 33) 仁木久照. リウマチ足. 「足」を治す<日常診療でよくみる足関節・足部の障害>. 絵でみる最新足診療エッセンシャルガイド. 高尾昌人編集, 東京 2010;2010:177-185.
- 34) 仁木久照. 成人の扁平足障害. 「足」を治す<日常診療でよくみる足関節・足部の障害>. 絵でみる最新足診療エッセンシャルガイド. 高尾昌人編集, 東京 2010;2010:143-150.
- 35) 平野貴章, 仁木久照. リスフラン関節・ショパール関節の外傷. 「足」を治す<日常診療でよくみる足関節・足部の外傷>. 絵でみる最新足診療エッセンシャルガイド. 高尾昌人編集, 東京 2010;2010:120-126.
- 36) 仁木久照. 解剖:血管と神経. 第 1 回機能解剖セミナーテキスト. 日本足の外科学会教育研修会編 2010;1:25-28.
- 37) 仁木久照. 第 8 章. 足関節, 足, 下腿の超音波. 足関節と足の解剖. 運動器の超音波診断(訳) 2010;:259-265.
- 38) 笹益雄. 第 5 章. 手関節と手の超音波. NAP Limited. 運動器の超音波診断(訳) 2010;:133-138.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 松下和彦. 整形外科領域の術後感染予防対策. Medicament News 2010;2016:4-5.
- 2) 松下和彦, 別府諸兄. 抗菌薬の予防投与法. 整形・災害外科 2010;53:463-468.
- 3) 増田敏光, 石井庄次, 増澤通永, 阿部恒介, 蒲地宏昌, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 人工股関節置換術症例における冠状面骨盤傾斜の検討～第 2 報～. Hip Joint 2010;36:93-96.
- 4) 仁木久照. 特集:外反母趾の治療. Lapidus 変法. MB Orthop

整形外科学

- 2010;23(7):47-55.
- 5) 仁木久照. 企画:特集, リスフラン関節損傷. 整形・災害外科 2010;53:676.
 - 6) 仁木久照. リウマチ趾変形の診断と治療(1):中足骨近位短縮骨切りによる関節温存手術の概念とその成績. 特集:足趾の痛みの診断と治療. MB Orthop 2010;23(13):45-52.
 - 7) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 足部・足関節治療成績判定基準(日本語版). 日足外会誌 2010;31(2):1.
 - 8) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 足関節・後足部判定基準(JSSF ankle/hindfoot scale). 日足外会誌 2010;31(2):2.
 - 9) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 中足部判定基準(JSSF midfoot scale). 日足外会誌 2010;31(2):3.
 - 10) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 母趾判定基準(JSSF hallux scale). 日足外会誌 2010;31(2):4.
 - 11) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 2~5 趾判定基準(JSSF lesser scale). 日足外会誌 2010;31(2):5.
 - 12) 仁木久照, 青木治人, 井口傑, 大関覚, 木下光雄, 倉秀治, 田中康仁, 野口昌彦, 野村茂治, 羽鳥正仁. 日本足の外科学会 RA 足部・足関節判定基準(JSSF RA foot ankle scale). 日足外会誌 2010;31(2):6.
 - 13) 仁木久照. 強剛母趾の診断と治療 特集:足趾の痛みの診断と治療. MB Orthop 2010;23(13):7-14.
- #### ④ その他
- 1) 中島浩志. 肘関節,手関節. Medical Technology 関節超音波検査の実際 2011;39(3):247-255.
 - 2) 新井猛. リウマチ肘に対する鏡視下滑膜切除術. 整形外科最小侵襲手術ジャーナル 肘関節鏡視下クリーニングの適応 2010;56:71-75.
 - 3) 清水弘之. 手関節周辺骨折の診断と治療・診断法. 第 16 回日本手の外科学会秋期教育研修会テキスト, 日本手外科学会 2010;:47-62.
 - 4) 清水弘之. 変形性膝関節症. 気になる病気 Q&A 2010;:68-69.
 - 5) 清水弘之, 新井猛, 吉田典之, 重松辰祐, 松下和彦, 別府諸兄. 安定性に評価からみたリウマチ手関節の術式選択. 日本手外科学会雑誌 2010;27(2):303-306.
 - 6) 清水弘之, 新井猛, 倉持大輔, 安藤亮, 重松辰祐, 別府諸兄. 月状骨脱臼および周囲脱臼の治療経験. 日本手外科学会雑誌 2010;26(4):305-308.
 - 7) 清水弘之, 米山励子, 川口直之, 別府諸兄. 中学・高校生と母親に対する骨量検診の有用性と限界について. Osteoporosis Japan 2010;18(2):172-176.
 - 8) 清水弘之, 別府諸兄, 松下和彦. 高齢者・超高齢者 RA 患者に対する手術適応と手術の実際(手疾患患者への手術適応と手術の実際). 関節外科 2010;29(10):100-107.
 - 9) 石井庄次, 増田敏光, 増澤通永, 蒲地宏昌, 阿部恒介, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 人工股関節全置換術における静脈血栓塞栓症の予防. Hip Joint 2010;36:509-511.
 - 10) 赤池敦, 別府諸兄. テニスメディカルセミナーについて. 聖マリアンナ医科大学病院院内報 2010;138:14.
 - 11) 中島浩志, 松下和彦, 別府諸兄. RA 以外の手・指疾患に対するエコーの有用性. 関節外科 2010;28(8):37-43.
 - 12) 中島浩志, 別府諸兄. 超音波検査の作業管理. 超音波医学 2010;37:219.
 - 13) 別府諸兄. 第 36 回日本整形外科スポーツ医学会, 第 10 回日韓整形外科スポーツ医学会学術集会を開催するにあたって. 学会長に聞く 2010;84:.
 - 14) 別府諸兄. 特集編集:スポーツ障害予防と治療のための運動療法. 臨床スポーツ医学 2010;27(9):.
 - 15) 別府諸兄, 太藻ゆみこ. 変形性股関節症. Modern Physician 特集ロコモティブシンドローム 2010;30(4):547-553.
 - 16) 別府諸兄, 太藻ゆみこ, 川口直之. 大腿骨近位部骨折の予防—運動療法 健康中高年への積極的運動療法の展開(ロコモ対応の体操). 骨粗鬆症治療 2010;9(1):36-42.
 - 17) 別府諸兄, 帖佐悦男. 認定スポーツ医養成カリキュラムの改定について. 日整会広報室ニュース 2010;82:4.
 - 18) 別府諸兄, 立入克敏. 第 36 回日本整形外科スポーツ医学会シンポジウム「Locomotive Syndromeを予防するためのスポーツ医学的アプローチ」はじめに. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2010;30(3):7-8.
 - 19) 仁木久照. これもセレンディピティ?. 整形外科 2011;62(3):228.
 - 20) 泉山公, 清水弘之, 新井猛, 吉田典之, 倉持大輔, 別府諸兄. AOC3 型橈骨遠位端骨折におけるロッキングプレート固定の問題点. 日本手外科学会誌 2011;27(3):157-160.
 - 21) 新井猛. 上腕骨外側上顆炎に対する鏡視下手術. 整形・災害外科 2011;54:1.
 - 22) 松下和彦, 阿部哲士, 石井朝夫, 梶山史郎, 小谷明弘, 斉藤政克, 正岡利紀, 勝呂徹. Minds: CPG レビュー骨・関節術後感染予防ガイドライン・レビュー. Minds 医療情報サービス(web)http://minds.jcqh.or.jp/stc/0045/4/0045_G0000142_T0005732.html 2011.
 - 23) 松本浩, 坂下裕子, 増原慶壮, 宮本豊一, 桜井庸晴, 中谷佳子, 井上ふみ子, 田所浩, 山田恭司, 松下和彦. 当院におけるカルバペネム系薬, 抗 MRSA 薬届け出制の有用性の検討. 日本骨・関節感染症学会雑誌 2011;24:27-34.
 - 24) 萩原洋子, 石井庄次, 増田敏光, 清水弘之, 別府諸兄. 膝伸展筋力を用いた杖歩行自立の判別精度—転倒による大腿骨頸部骨折症例の検討—. 総合リハビリテーション 2011;39(2):171-173.
 - 25) 新井猛. 上腕骨外側上顆炎の病態と治療法. 関節外科 基礎と臨床 2011;30(3):114-119.
 - 26) 別府諸兄. 特集:スポーツによる手関節・肘関節障害に対する最新の治療 introduction. 関節外科 2011;30(3):271-272.
 - 27) 別府諸兄. くらし健康「からだの質問箱」 「テニス肘」ストレッチしても痛む. 読売新聞 2011.
 - 27) 宮本哲, 杉原俊弘, 内藤隆廣, 川名裕, 佐藤琢哉, 三井寛之, 別府諸兄, 藤谷博人. 小児の恒久性膝蓋骨脱臼に対し Langenskiöld 変法と内側膝蓋大腿靭帯再建を併用した一例. 神奈川整形災害外科医会雑誌 2011;23(4):97-101.
 - 28) 仲西知憲, 清水弘之, 新井猛, 倉持大輔, 赤池敦, 別府諸兄. 人工骨移植を施行した手指内軟骨腫における X 線の経時的変化. 日本手外科学会雑誌 2011;27(5):550-554.

整形外科学

- 29) 岩崎さやか, 田中彩乃, 石阪姿子, 山川留美子, 松永優子, 清水弘之, 柴田朋彦. 関節リウマチ患者における身体的特性～人工関節全置換術施行予定者を対象として～. 理学療法一技術と研究 2011;39:85-89.
- 30) 平野貴章, 仁木久照, 新井賢一郎, 山脇州裕, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄. 軽微な離開を呈したリスフラン関節損傷治療後の再転位についての検討. 日足外会誌 2010;31(2):156-159.
- 31) 宮本哲, 杉原俊弘, 川名裕, 石郷岡秀哉, 小林哲士, 別府諸兄, 藤谷博人, 立石圭祐, 清水邦明. 骨付き膝蓋腱を使用した ACL 再建術の脚伸展筋力及び膝伸展・屈曲筋力の推移について. JOSKAS 2010;35(3):517-522.
- 32) 平野貴章, 仁木久照. 特集:リスフラン関節損傷リスフラン関節の解剖ーリスフラン靭帯を中心にー. 整形・災害外科 2010;53:685-690.
- 33) 岡田洋和, 仁木久照. 特集:足関節インピンジメントの病態と治療. 足関節インピンジメントの画像診断. 関節外科 2010;29(7):27-38.
- 34) 蒲地宏昌, 石井庄次, 増田敏光, 増澤通永, 阿部恒介, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 人工股関節置換術における脱水が深部静脈血栓症に与える影響について. Hip Joint vol.36 2010;36:654-656.
- 35) 仁木久照. 足の指の付け根に激痛, ハイヒールも一因に. 釧路新聞 2010;:10.
- 36) 仁木久照. 足のスポーツ障害に対する治療成績. メディカルトリビューン 2010;43(33):30.
- 37) 仁木久照. 女性に多い「モートン病」. 十勝毎日新聞 2010;:18.
- 38) 仁木久照. 中年女性に多い「モートン病」. 陸奥新報 2010;:8.
- 39) 仁木久照. 足指の付け根に激痛, モートン病 太い神経を圧迫. 茨城新聞 2010;:12.
- 40) 仁木久照. 足の指の付け根に激痛, 40 歳以上に多いモートン病. 琉球新聞 2010;:10.
- 41) 宮本哲, 植原健二, 内藤隆廣, 佐藤琢哉, 別府諸兄, 川名裕, 杉原俊弘. 当科における TKA 術後出血の予防について. 日本人工関節学会誌 2010;40:604-605.
- 42) 帖佐悦男, 新井賢一郎, 木下光雄, 古府照男, 森淳, 山本恵太郎. 一般向けガイドライン解説 アキレス腱断裂(WEB). 医療情報サービス Minds(マインズ)(WEB) 2010.
- 43) 松下和彦. 整形外科領域の術後感染予防対策. Medicament News 2010;2016:4-5.
- 44) 笹益雄. M-net 委員会. 西部の風 2010;52:11.
- 45) 仁木久照. 中年女性に多いモートン病. 苫小牧民報 2010;:9.
- 46) 倉持大輔, 松下和彦, 清水弘之, 平野貴章, 竹村弘, 別府諸兄. 予防投与における抗菌薬選択の検討. 日本骨・関節感染症学会雑誌 2011;24:135-139.
- 47) 秋山唯, 石井庄次, 増田敏光, 阿部恒介, 蒲地宏昌, 安原和之, 別府諸兄, 中野弘雅. 大腿骨頸部に巨大骨嚢腫 geodes を合併した関節リウマチの 1 例. 神奈川整形災害外科研究会雑誌 2011;23(4):89-92.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Hideo Doya, Naoki Haraguchi, Hisateru Niki, Masato Takao, Haruyasu Yamamoto. Proposed novel unified nomenclature for range of joint motion: method for measuring and recording for the ankles feet and toes. J Orthop Sci 2010;15:531-539.
- 2) H.Aoki, Y.Nagao, S.Ishii, T.Masuda, M.Beppu. Acetabular and proximal femoral alignment in patients with osteoarthritis of the dysplastic hip and its influence on the progression of disease. THE JOURNAL OF BONE & JOINT SURGERY 2010;92-B(12):1703-1709.

② 総説又は症例解説

- 1) Hisateru Niki. X-ray parameters helpful in selecting adults with acquired flatfoot deformity for MDCO. Orthopaedic Today 2010.

④ その他

- 1) Tomoo Sato, Koji Konomi, Ryoji Fuji, Hiroyuki Aono, Satoko Aratani, Naoko Yagishita, Natsumi Araya, Kazuo Yudoh, Moroe Beppu, Yoshihisa Yamano, Kusuki Nishioka, Toshihiro Nakajima. Prostaglandin EP2 receptor signalling inhibits the expression of matrix metalloproteinase 13 in human osteoarthritic chondrocytes. Annals of the Rheumatic Diseases 2011;70:221-226.
- 2) Matthew B.A. McCullough, Stacie I. Ringleb, Kenichiro Arai, Harold B. Kitaoka, Kenton R. Kaufman. Moment arms of the ankle throughout the range of motion in three planes. Foot Ankle Int 2011;32(3)0:300-306.

学会発表

① 国内学会

- 1) 岡田洋和, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之. 超音波検査による足根中足関節(第1中足骨-第1楔状骨関節)の動きの評価. 第35回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 2) 岡田洋和, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 別府諸兄. 先天性二分舟状骨に手術的加療を施行した2例. 第35回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 3) 佐藤琢哉, 大沼弘幸, 植原健二, 藤井厚司, 平野貴章, 岡田洋和, 秋山唯, 安原和之. 片側下肢多発骨折を生じた交通外傷の1例. 平成22年10月外傷を語る会 2010.
- 4) 笹生豊, 鳥居良昭, 小島敦, 森岡成太, 藤井厚司, 金子天哉, 滝澤謙治, 別府諸兄. 経皮的椎体形成術(PVP)の臨床成績と後彎矯正. 第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.
- 5) 笹生豊, 鳥居良昭, 小島敦, 森岡成太, 藤井厚司, 正木大賀, 朝熊弘年, 別府諸兄. 関節リウマチ頸椎病変の脊椎・脊髄アライメント. 第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.
- 6) 小島敦, 笹生豊, 正木大賀, 鳥居良昭, 森岡成太, 藤井厚司, 金子天哉, 安原和之, 三井寛之, 別府諸兄. MR myelography による L5 神経根の評価とその有用性. 第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.
- 7) 小島敦, 笹生豊, 鳥居良昭, 森岡成太, 藤井厚司, 別府諸兄. 腰椎分離症に対する分離部修復術(Hook-rod法). 第36回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 パネルディスカッション

整形外科学

- 11【腰椎分離症の病態と治療】2010.
- 8) 小島敦, 笹生豊, 鳥居良昭, 森岡成太, 藤井厚司, 金子天哉, 安原和之, 上野純, 別府諸兄. 成人側弯症の手術治療経験手術時年齢での検討. 第44回日本側弯症学会 2010.
- 9) 松下和彦, 石森光一, 田中雅尋, 安藤亮, 倉持大輔, 吉田典之, 泉山公, 清水弘之, 別府諸兄. 舟状骨偽関節に対する有茎血管柄付き骨移植術の小経験. 第37回日本マイクロサージャリー学会 2010.
- 10) 松下和彦, 別府諸兄. パネルディスカッション 開放骨折と感染性偽関節のアップデート MRSA による化膿性骨髄炎の治療. 第83回日本整形外科学会 2010.
- 11) 松下和彦, 内藤利仁, 田中雅尋, 安藤亮, 倉持大輔, 吉田典之, 泉山公, 清水弘之, 別府諸兄. 舟状骨偽関節に対する有茎血管柄付き骨移植術. 第16回神奈川上肢の外科研究会 2010.
- 12) 新井猛. 上腕骨外側上顆炎に対する鏡視下手術のコツとpitfall. 第16回神奈川上肢の外科研究会 2010.
- 13) 新井猛, 清水弘之, 倉持大輔, 赤池敦, 安藤亮, 別府諸兄. 上腕骨外側上顆炎(テニス肘)難治例の病態と関節鏡視下手術成績の検討. 第36回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会シンポジウム 2010.
- 14) 増田敏光, 石井庄次, 増澤通永, 阿部恒介, 蒲地宏昌, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 人工股関節置換術症例における冠状面骨盤傾斜の検討(第3報)～骨盤傾斜とcoronal balance～. 第37回日本股関節学会 2010.
- 15) 新井猛. 肘離断性骨軟骨炎(OCD)の診断・治療指針 症例提示. 第6回 川崎・多摩整形外科セミナー 2010.
- 16) 新井猛. 手根管開放術の実際 一手根管症候群に対する鏡視下手根管開放術. 第26回神奈川整形外科手術手技研究会 2010.
- 17) 新井猛, 清水弘之, 倉持大輔, 別府諸兄, 木原仁. 母指CM関節症に対する関節鏡視下手術による治療. 第53回日本手の外科学会 2010.
- 18) 新井猛, 清水弘之, 笹益雄, 倉持大輔, 別府諸兄. 鏡視下手根管開放術の術後再発例についての検討. 第53回日本手の外科学会 2010.
- 19) 森岡成太, 笹生豊, 正木大賀, 鳥居良昭, 小島敦, 藤井厚司. 腰椎椎間板ヘルニア再発に対するヘルニア摘出量の影響. 第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.
- 20) 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄. 外反母趾併用手術:中足部,後足部に障害を有する外反母趾に対する手術的治療(パネルディスカッション). 第35回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 21) 仁木久照, 平野貴章, 山脇州裕, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄. 外反母趾手術のこつと落とし穴:Lapidus 変法(パネルディスカッション). 第83回日本整形外科学会学術集会 2010.
- 22) 清水弘之. 手の外科領域の注意すべき外傷・疾患と末梢神経障害. 第113回神奈川臨床整形外科学会学術集会 2010.
- 23) 清水弘之. 手関節周辺骨折の診断と診断. 第16回日本手外科学会秋期教育研修会講演講師 2010.
- 24) 清水弘之, 新井猛, 重松辰祐, 松下和彦, 別府諸兄. 安定性に評価からみたリウマチ手関節の術式選択. 第53回日本手の外科学会学術集会 2010.
- 25) 清水弘之, 米山励子, 川口直之, 別府諸兄. 中学・高校生と母親の運動習慣が踵骨骨量に与える影響について. 第16回神奈川統廃性骨粗鬆症研究会 2010.
- 26) 清水弘之, 米山励子, 川口直之, 別府諸兄. 中学・高校生と母親の運動習慣が踵骨骨量に与える影響について. 第12回日本骨粗鬆症学会 2010.
- 27) 石井庄次, 増田敏光, 増澤通永, 阿部恒介, 蒲地宏昌, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 急速破壊型股関節症に進展しなかつた大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折の検討. 第37回日本股関節学会 2010.
- 28) 泉山公, 清水弘之, 新井猛, 倉持大輔. 橈骨遠位端骨折(AO分類C3型)におけるプレート固定の問題点. 第53回日本手の外科学会 2010.
- 29) 泉山公, 清水弘之, 新井猛, 倉持大輔, 別府諸兄. ロッキングスクリューの刺入角度と固定強度の検討. 第36回日本骨折治療学会 2010.
- 30) 倉持大輔, 松下和彦, 清水弘之, 平野貴章, 竹村弘, 別府諸兄. 抗菌薬の使用法について 予防投与における抗菌薬選択の検討. 第33回日本骨・関節感染症学会 2010.
- 31) 倉持大輔, 松下和彦, 清水弘之, 新井猛, 別府諸兄. 舟状骨偽関節に対する腸骨移植術によるDISI変形と臨床成績の検討. 第53回日本手の外科学会 2010.
- 32) 中島浩志. 上肢(肩関節を除く)疾患の超音波診断法. 第33回整形外科エコーセミナー 2010.
- 33) 中島浩志, 別府諸兄. 超音波検査の作業管理. 日本超音波医学学会第83回学術集会 2010.
- 34) 鳥居良昭, 笹生豊, 小島敦, 森岡成太, 金子天哉, 藤井厚司, 三井寛之, 別府諸兄. 骨粗鬆症性椎体圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術の合併症 -骨折型と椎体外セメント漏出の検討-. 第39回日本脊椎脊髄外科学会 2010.
- 35) 内藤利仁, 新井賢一郎, 石郷岡秀哉, 山下勝史, 梅原亮, 古屋智之, 松下和彦, 宮本哲, 大沼弘幸, 別府諸兄. ロッキングプレートを用いた脛骨近位端骨折の治療成績. 第11回神奈川骨折治療研究会 2010.
- 36) 平野貴章, 仁木久照, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄, 橘川薫. Freiberg 病におけるMRI所見の検討. 第35回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 37) 平野貴章, 仁木久照, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄, 橘川薫. リスフラン関節 subtle injury のMRI所見. 第35回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 38) 別府諸兄. パネルディスカッション・イヤーレビュー「小児骨折の治療と最近の話題」当該領域のこの一年の進歩と解決すべき問題. 第83回日本整形外科学会学術集会 2010.
- 39) 別府諸兄. 教育研修講演「上肢の紋扼性神経障害の診断と治療」. 第83回日本整形外科学会学術集会 2010.
- 40) 別府諸兄. 前腕回旋障害の病態と治療. 第23回日本臨床整形外科学会学術集会 2010.
- 41) 別府諸兄. スポーツによる手関節痛とテニス肘の診断と治療. 第59回東日本整形災害外科学会ランチョンセミナー 2010.
- 42) 仁木久照. 関節リウマチ前足部変形に対する関節温存手術. 第5回新宿関節外科フォーラム 2010.
- 43) 新井猛, 笹益雄, 清水弘之, 泉山公, 吉田典之, 倉持大輔, 安藤亮, 別府諸兄, 松下和彦. 鏡視下手根管開放術(2-portal法)の手術手技. 第25回東日本手外科研究会 2011.
- 44) 吉田典之, 清水弘之, 泉山公, 倉持大輔, 安藤亮, 田中雅尋, 別府諸兄. 小児 Galeazzi 類似骨折治療の小経験. 第25回東日本手外科研究会 2011.
- 45) 田中雅尋, 清水弘之, 吉田典之, 倉持大輔, 安藤亮, 別府諸兄. 橈骨頭離断性骨軟骨炎と考えられた1例. 第23回日本肘関節学会 2011.

整形外科学

- 46) 新井猛, 笹益雄, 清水弘之, 倉持大輔, 安藤亮, 別府諸兄. 変形性肘関節症に対する鏡視下関節形成術. 第 23 回日本肘関節学会 2011.
- 47) 遠藤渉, 新井賢一郎, 伊藤龍登, 山下勝史, 内藤利仁, 石郷岡秀哉, 松下和彦, 加藤篤史, 別府諸兄. 上腕骨外顆骨折を伴った小児肘関節脱臼の 2 例. 第 141 回神奈川整形災害外科学会 2011.
- 48) 小島敦, 笹生豊, 鳥居良昭, 森岡成太, 藤井厚司, 金子天哉, 安原和之, 梅原亮, 皆川直毅. 当科における側弯症の治療. 第 28 回武蔵南部整形外科研究会 2011.
- 49) 小島敦, 笹生豊, 鳥居良昭, 森岡成太, 上野純, 梅原亮. 特発性硬膜外血腫の 1 例. 第 4 回川崎脊椎骨髄連携の会 2011.
- 50) 梅原亮, 新井賢一郎, 伊藤龍登, 遠藤渉, 山下勝史, 内藤利仁, 石郷岡秀哉, 松下和彦, 清水弘之, 別府諸兄. 上肢における内固定材抜去困難例の検討. 第 25 回東日本手外科学研究会 2011.
- 51) 大沼弘幸, 植原健二, 内藤隆廣, 佐藤琢哉, 遠藤渉, 小山亮太, 別府諸兄, 川名裕, 杉原俊弘. 片側人工膝関節置換術後の患者に対し対側 TKA を施行した症例の DVT 発生率の検討. 第 41 回日本人工関節学会 2011.
- 52) 古屋智之, 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 秋山唯, 上野純. スポーツ選手における足関節内果三角靭帯性裂離骨折の治療経験. 第 6 回関東足の外科学研究会 2011.
- 53) 清水弘之. 手の外科領域の注意すべき外傷・疾患について. 第 69 回秋田県北整形医学会 2011.
- 54) 清水弘之, 米山励子, 川口直之, 別府諸兄. 中学・高校生と母親に対する骨量検診の有用性と限界について. 第 83 回日本整形外科学会学術集会 2010.
- 55) 仲西知憲, 清水弘之, 新井猛, 赤池敦, 別府諸兄. 一般口演; 腫瘍 人工骨移植を施行した手指内軟骨腫における X 線の経時的変化. 第 53 回日本手の外科学会 2010.
- 56) 田中雅尋. 右下腿開放骨折および膝窩動脈損傷を伴った左膝関節前方脱臼の 1 例. 平成 22 年 4 月 外傷を語る会 2010.
- 57) 高岩亜紀子, 大森みかこ, 新井猛, 清水弘之, 別府諸兄. 上腕骨外側上顆炎難治例に対する関節鏡視下手術後のリハビリテーション. 第 22 回日本ハンドセラピー学会学術集会 2010.
- 58) 伊藤龍登, 清水弘之, 泉山公, 吉田典之, 倉持大輔, 安藤亮, 田中雅尋. 両側同時発生した Galeazzi equivalent lesion 1 例. 第 139 回神奈川整形災害外科学研究会 2010.
- 59) 田中雅尋, 清水弘之, 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 木城智, 別府諸兄. 右下腿開放骨折および膝窩動脈損傷を伴った左膝関節前方脱臼の 1 例. 第 11 回神奈川骨折治療研究会 2010.
- 60) 中島久弥. 足部痛を来した骨系統疾患の 1 例. 第 5 回足を知る会 2010.
- 61) 吉田典之, 清水弘之, 泉山公, 倉持大輔, 安藤亮, 伊藤龍登. 小児 Galeazzi 類似骨折治療の小経験. 第 59 回東日本整形外科学会 2010.
- 62) Miyamoto S, Sugihara T, Naito T, Kawana Y, Uehara K, Sato T, Mitsui H, Beppu M. Total knee arthroplasty without tourniquet -- Postoperative complications in comparison to with-tourniquet group. 2nd JOSKAS 2010.
- 63) 宮本哲, 杉原俊弘, 藤谷博人, 川名裕, 植原健二, 田中綾乃, 別府諸兄. 高齢者の変形性膝関節症に対する運動療法の有効性とその限界 “調査の解析と限界”. 第 2 回 JOSKAS 2010.
- 64) 蒲地宏昌, 石井庄次, 増田敏光, 増澤通永, 阿部恒介, 川口直之, 松葉祐介, 別府諸兄. 人工股関節置換術における脱水が深部静脈血栓症に与える影響について. 第 37 回日本股関節学会 2010.
- 65) 梅原亮, 新井賢一郎, 石郷岡秀哉, 内藤利仁, 山下勝史, 古屋智之, 石森光一, 松下和彦, 別府諸兄. ロッキングプレート抜去困難例の検討. 第 140 回 神奈川整形災害外科学研究会 2010.
- 66) 三井寛之, 仁木久照, 平野貴章, 山脇州裕, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄. 症例検討 2 「クラシックバレエダンサーに生じた両側第 2 中足骨基底部分骨骨折の一例». 第 35 回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 67) 秋山唯, 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 別府諸兄. スポーツによる陳旧性腓骨筋腱脱臼に対する Das De 法の治療成績. 第 35 回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 68) 岡田洋和, 仁木久照, 別府諸兄. 整形外科医育成システムの現状と今後. 第 140 回神奈川整形災害外科学研究会 (パネルディスカッション) 2010.
- 69) 秋山唯, 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 別府諸兄, 橘川薫. 腓骨筋腱脱臼に対する高分解能 MRI の有用性. 第 35 回日本足の外科学会学術集会 2010.
- 70) 中島久弥. 腋窩に発生した軟部腫瘍. 第 1 回神奈川骨・軟部腫瘍研究会 2010.
- 71) 古屋智之, 新井賢一郎, 梅原亮, 山下勝史, 内藤利仁, 石郷岡秀哉, 松下和彦, 相田芳夫, 中島浩志, 別府諸兄. 上腕に生じたグロムス腫瘍の 1 例. 第 139 回 神奈川整形災害外科学研究会 2010.
- 72) 鳥居良昭, 笹生豊, 小島敦, 森岡成太, 別府諸兄. 当科における転移性脊椎腫瘍の治療方針. 第 139 回神奈川整形災害外科学会 2010.
- 73) 仁木久照. 血管と神経. 日本足の外科学会教育研修会. 第 1 回機能解剖セミナー 2010.
- 74) 鳥居良昭, 笹生豊, 小島敦, 森岡成太, 上野純, 別府諸兄. 特発性側弯症の術前後におけるスパイナルマウスの HUMP 角と Thoracic Torsion Thoracic Trunk Shift の関係. 第 44 回日本側弯症学会 2010.
- 75) 三澤寛子, 仁木久照, 岡田洋和, 別府諸兄. 足関節捻挫におけるアンケート調査: 医師の施す治療, 患者の受けた治療 (パネルディスカッション). 第 36 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会 2010.
- 76) 仁木久照. 知っておきたい足の痛み (教育研修講演). 東京都北区医師会学術講演会 2010.
- 77) 岡田洋和, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 別府諸兄, 加藤篤史. 私が勧める難治性足部疲労骨折の手術とそのタイミング. 第 36 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会 2010.
- 78) 岡田洋和, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 別府諸兄. 超音波検査による足根中足関節 (第 1 中足骨安・楔状骨関節) の動きの評価. 第 22 回日本整形外科学超音波研究会 2010.
- 79) Hideya Ishigooka, Michelle H McGarry, Yu Jen Chen, Akash Gupta, Ryan Quigley, Christopher NH Bui, Thay Q Lee, Moroe Beppu. 後外側支持機構再建術のためのキネマティクス-Cadaveric Study-. 第 36 回日本整形外科学スポーツ医学会 2010.
- 80) 三井寛之, 仁木久照, 平野貴章, 山脇州裕, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄. 足のスポーツ障害症例検討: スポーツ能力を低下させずに治せるか. 第 35 回日本足の外科学会学術集会

整形外科学

2010.

- 81) 松本浩, 坂下裕子, 増原慶壮, 宮本豊一, 桜井庸晴, 中谷佳子, 井上ふみ, 子田所浩, 山田恭司, 松下和彦. 当院におけるカルバペネム系薬、抗 MRSA 薬届け出制の有用性の検討. 第 33 回日本骨・関節感染症学会 2010.
- 82) 安藤亮, 田中雅尋, 別府諸兄, 高木正之, 井上肇. 上腕骨外側上顆部の 3 次元組織学的検討～上腕骨外側上顆炎の病態との関係. 第 53 回日本手の外科学会学術集会 2010.
- 83) 今村恵一郎, 菱沢利行, 伊藤隆夫, 村田郁, 今村智, 今村恵. 埼玉県バレーボール協会における顧問医の活動. 第 23 回臨床整形外科学会 2010.
- 84) 森岡成太, 小島敦, 笹生豊, 鳥居良昭, 藤井厚司, 安原和之, 上野純, 別府諸兄. 特発性側彎症における脊柱周囲筋の面積比較. 第 44 回日本側彎症学会 2010.
- 85) 黒屋進吾, 新井猛, 木ノ内秀和, 川名裕, 田中達朗, 伴孝介, 西澤苑, 笹益雄. 尺骨鈎状突起 anteromedial facet 骨折を合併した terrible triad 損傷の 1 例. 第 16 回神奈川上肢の外科研究会 2010.
- 86) 三井寛之, 岡本一起, 末松直也, 黒川真奈絵, 有戸光美, 永井宏平, 佐藤利行, 遊道和雄, 別府諸兄, 加藤智啓. 新規の核内レセプター・コアクティベーター (MTI-II) タンパク質の細胞内への導入 Delivery of MTI-II (a new type coactivator of nuclear receptor) into living cells. 第 33 回日本分子生物学会年会、第 83 回日本生化学会大会 2010.

② 国際学会

- 1) Atsushi Kojima, Yutaka Sasao, Yoshiaki Torii, Shigeta Morioka, Atsushi Fujii, Kazuyuki Yasuhara, Moroe Beppu. Evaluation of L5 nerve root by MR myelography. 17th IMAST 2010.
- 2) Atsushi Kojima, Yutaka Sasao, Yoshiaki Torii, Shigeta Morioka, Atsushi Fujii, Masaya Kaneko, Moroe Beppu, Kenji Takizawa. Mid-Term Results Of Percutaneous Vertebroplasty By the isocenter puncture method For Painful Osteoporotic Vertebral Compression Fracture. 17th IMAST 2010.
- 3) Hiroyuki Shimizu, Beppu Moroe, Kazuhiko Matsushita, Kou Izumiya, Arai Takeshi. Clinical results of radial osteotomy for Kienböck disease : influence of type I lunate and type II lunate . 10th.International Federation fot Societies for Surgery of the Hand 2010.
- 4) Tetsuo Kobayashi, Kenji Uehara, Shusuke Ota, Satoshi Terada , James Cummins , Freddie Fu , Johnny Huard . Characterization of Losartan's Mechanism of Action for Muscle Healing . 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.
- 5) Haruhito Aoki. Fifteen years of prospective study of acute traumatic injuries at official matches in Japanese Professional Football League. 4th AFC Conference 2011 Science and Football Medicine 2011.
- 6) Haruhito Aoki. Measurement of acetabular inclination angles to predict risk factor of femoracetabular impingement syndrome in soccer players. 4th AFC Conference 2011 Science and Football Medicine 2011.
- 7) Haruhito Aoki. Is medical elastic stocking effective to prevent deep veous thrombosis for football players during long flight?. 4th AFC Conference 2011 Science and Football Medicine 2011.

- 8) Satoshi Terada, Tetsuo Kobayashi, Shusuke Ota, Burhan Gharaibeh, Freddie H Fu , Johnny Huard . Angiotensin II Receptor Blocker and Muscle Derived Stem Cells Transplantation Treatment for Contusion Skeletal Muscle Injury in Mice. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.
- 9) Burhan Gharaibeh, Nick Oyster, Aaron Boyer, Minakshi Poddar, Tetsuo Kobayashi, Satoshi Terada, Eloise Peet, Edda Thiels, Johnny Huard. Histological analysis of muscle and nerve injury in a new model of compartment syndrome. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.
- 10) Burhan Gharaibeh, Nick Oyster, Aaron Boyer, Minakshi Poddar, Tetsuo Kobayashi, Satoshi Terada, Eloise Peet, Edda Thiels, Johnny Huard. Gait dynamics and balance testing in a lower limb compartment syndrome model in rats. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.
- 11) Hideya Ishigooka, Michelle McGarry, Yu Jen Chen, Akash Gupta, Ryan Quigley, Christopher Bui, Thay Lee. Anatomical Posterolateral Corner Reconstruction of the Knee Using Cross Tunnel on the Fibula Head- Cadaveric Biomechanical Study. 57th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2011.
- 12) Haruhito Aoki. Comparison of injury incidences between natural grass and artificial turf in young soccer players. 4th AFC Conference 2011 Science and Football Medicine 2011.
- 13) Yoshiaki Torii, Yutaka Sasao, Atsushi Kojima, Shigeta Morioka , Moroe Beppu . Complication of Percutaneous Vertebroplasty for Osteoporotic Vertebral Compression Fracture . 17th International Meeting on Advanced Spine Techniques 2010.

③ その他

- 1) 別府諸兄. 教育研修講演特別講演「前腕回旋障害の病態・治療と最近の話題」. 第9回北海道整形外科教育フォーラム 2010.
- 2) 別府諸兄. プロスポーツ選手に対するスポーツ医学の役割. 第 10 回大学生・高校生のためのスポーツ医学セミナー 2010.
- 3) 別府諸兄. 橈骨遠位端骨折. 日本骨折治療学会第 5 回ベシックコース研修会 2010.
- 4) 別府諸兄. スポーツ外傷とスポーツ障害(2)ー上肢(肩・肘・手指). 日本体育協会公認スポーツドクター養成講習会 2010.
- 5) 清水弘之. 関節リウマチの手術の実際と関節破壊をいかに予防するか. . 市民公開講座 リウマチの治療 最近の話題 2011.
- 6) 清水弘之. 骨粗鬆症に対する薬物治療の流れ(整形外科の立場から). 中外製薬講演会 2011.
- 7) 仁木久照. 鏡視下手術:足関節内病変に対する鏡視下手術(足関節鏡による距骨骨軟骨損傷の鏡視下手術)(教育研修講演). 第 3 回日本足の外科学会教育研修会 2010.
- 8) 別府諸兄. 手の外傷と障害. 第 37 回日整会スポーツ医学研修会 2010.
- 9) 別府諸兄. 「中高年」. 日本整形外科学会認定スポーツ医資格継続研修会講演 2010.
- 10) 笹益雄. 新薬についての検討. 神奈川県整形外科セミナー 2011.
- 11) 笹益雄. 改定診療報酬について. 神奈川県整形外科セミナー 2010.

整形外科学

- 12) 笹益雄. 高齢者の転倒と骨折. 2010 旭区民救急フォーラム 2010.
- 13) 笹益雄. レセプトの検討について. 神奈川県整形外科セミナー 2010.
- 14) 笹益雄. レセプトの現状について. 職員セミナー(大正富山医薬品株) 2010.

| | | 和 文 | 英 文 |
|------|---------|-----|-----|
| 著 書 | | 38 | |
| 論 文 | 原著 | 13 | 2 |
| | 総説または解説 | | 1 |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | 47 | 2 |
| 学会発表 | 国内学会 | 86 | |
| | 国際学会 | 13 | |
| | その他 | 14 | |

形成外科学

著書

- 1) 井上肇, 熊谷憲夫, 大島秀男, 松崎恭一, 相原正記. 培養(再生)表皮による皮膚再生治療. PEPARS 2010;50:1-8.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 菅谷文人, 相原正記, 岩本承豪, 阿藤晃一, 小林秀行, 熊谷憲夫. 外傷性茎状突起骨折の経験. 日頭顎顔会誌 2010;26(3).

② 総説又は症例解説

- 1) 井上肇, 菅谷文人, 井上肇, 千代倉友博, 渡部雄一, 相原正記, 熊谷憲夫. 末梢組織細胞を用いた現実的再生医療とその治療戦略—幹細胞様細胞から多血小板血漿まで—. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(2):175-182.

学会発表

① 国内学会

- 1) 高橋則行, 樋山梢, 石塚文平. ゴナドトロピン投与によりラット卵巣での発現が上昇する遺伝子の網羅的解析. 第55回生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 2) 熊谷憲夫. 教育セミナー「創傷治癒と再生医療」. 第2回日本創傷外科学会総会・学術集会 2010.
- 3) 篠田令奈. 機械式駐車場で受傷した小児顔面骨骨折の一例. 第53回日本形成外科学会総会学術集会 2010.
- 4) 池山有子. 体動困難を伴った巨大軟部腫瘍の一例. 第53回日本形成外科学会総会学術集会 2010.
- 5) 菅谷文人. VHO法による陥入爪治療とその工夫. 第53回日本形成外科学会総会学術集会 2010.
- 6) 安藤和正. 手術目的の抗凝固薬変更時に2回の大量出血をした一例. 第53回日本形成外科学会総会学術集会 2010.

③ その他

- 1) 井上肇. 再生医療の実用化に向けた新規アプローチ—気管再生を中心に—. 六医科大学合同新技術説明会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|-------------|----|----|
| 著書 | | 1 | |
| 論文 | 原著 | 1 | |
| | 総説または解説 | 1 | |
| | 症例報告 その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 6 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | 1 | |

著書

- 1) 川上民裕. Henoch-Schönlein 紫斑病(アナフィラクトイド紫斑). 小児科臨床ピクシス 17 年代別子どもの皮膚疾患「五十嵐隆、馬場直子、平田直(株)中山書店 2010;5 章(学童・思春期): 110-113.
- 2) 木村聡子. 帯状疱疹. 小児科臨床ピクシス17年代別子どもの皮膚疾患「五十嵐隆、馬場直子、平田直(株)中山書店 2010;6 章(感染性皮膚疾患):152-153.
- 3) 川上民裕. Cutaneous PN(皮膚型結節性多発動脈炎)の新たなマーカー. WHAT'S NEW in 皮膚科学 2010-2011 宮地良樹、松岡光明、(株)メディカルレビュー社 2010;:194-195.

学術論文 [和文]

② 総説又は症例解説

- 1) 川上民裕. 総説 5 肉眼所見の見方、記載法 発疹の性状(色、形、分布など)の見方. Visual Dermatology 2010;9(4): 352-360.
- 2) 川上民裕. 深切り(deep cat)のすすめ. 皮膚病診療 2010;32(5):575.
- 3) 松岡晃弘, 芳賀恒夫, 木村聡子, 相馬良直. 聖マリアンナ医科大学皮膚科学教室における皮膚悪性腫瘍の診断と治療. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38:43-52.
- 4) 松永るり, 村上富美子, 溝口昌子, 相馬良直. 成人アトピー性皮膚炎の頸部網状色素沈着の臨床的特徴とQ-スイッチルビーレーザーによる治療経験. 日本皮膚科学会雑誌 2010;120: 1203-1208.
- 5) 川上民裕. 連載 Common disease から入る皮膚疾患 よくみる下腿の皮疹? 「下腿潰瘍」と思うが・・・?. Medical Practice 2010;27(9):1600-1608.
- 6) 相馬良直. ビオチン療法との総括. 皮膚科の臨床 2010;52(11)特:50:1537-1541.
- 7) 相馬良直. 静脈性潰瘍の保存的治療. 皮膚科の臨床 2010; 52(11)特:50:1654-1658.
- 8) 川上民裕. 皮膚病変を伴う膠原病. 炎症と免疫 2010;18(6):79-84.
- 9) 川上民裕. 抗好中球細胞質抗体、抗カルジオリピン抗体 IgA. 皮膚病診療 2010;32(増):54-57.
- 10) 川上民裕. 実地診療マニュアル イラスト&ビジュアル 45 血管炎,血管障害. Clinical Derma 2010;12(4):3-6.
- 11) 川上民裕. 紫斑. 皮膚疾患最新の治療 2011;:71-72.
- 12) 相馬良直. 壊疽性膿皮症. 皮膚疾患最新の治療 2011;: 103-104.
- 13) 川上民裕. アトピー性皮膚炎に対する抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬内服. Derma 2011;175(2):52-59.
- 14) 相馬良直, 川上民裕. 抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬. アトピー性皮膚炎～よりよい治療のための EBM データ集～ 2011;:35-38.
- 15) 川上民裕. 厚生労働省難治性血管炎に関する調査研究. 皮膚症状からみた血管炎診断の手引き 2011.
- 16) 川上民裕. 血管炎. Derma 2011;176(3):1-10.
- 17) 川上民裕. Behcet 病/Sweet 病/壊疽性膿皮症. Derma 2011;176(3):80-85.
- 18) 相馬良直. Sweet 病,Behcet 病の皮膚病変. 診断と治療 2011;99(増):97-103.

- 19) 相馬良直. サルコイドーシス. 今日の治療指針～私はこう治療している～ 2011;:1040.

③ 症例報告

- 1) 土井里沙子, 芳賀恒夫, 藤田歩, 齋藤千尋, 竹内そら, 松岡晃弘, 川上民裕, 相馬良直, 紅露剛史. 潰瘍性大腸炎を合併した若年者頭部の壊疽性膿皮症. 皮膚科の臨床 2010;52(4):585-587.
- 2) 山口奈央, 木村聡子, 松永るり, 齋藤千尋, 京谷樹子, 石川文穂, 川上民裕, 相馬良直. 骨髄異形成症候群に伴った Neutrophilic Eccrine Hidradenitis の 1 例. 皮膚科の臨床 2010;52:811-814.
- 3) 布施恵理, 川上民裕, 小池淳樹, 相馬良直. Reticular Erythematous Mucinosi s の 1 例. 皮膚科の臨床 2010;52(8): 1129-1131.
- 4) 山口奈央, 布施恵理, 小泉宏隆, 大場有希子, 村上富美子. 発疹性黄色腫の 1 例. 皮膚科の臨床 2010;52(4):523-526.
- 5) 島田恵子, 木村聡子, 川上民裕, 相馬良直. 爪囲線維腫の主訴より診断された結節性硬化症の 1 例. 皮膚科の臨床 2010;53(3):475-478.
- 6) 京谷樹子, 木村聡子, 松永るり, 齋藤千尋, 山口奈央, 川上民裕, 相馬良直. 乳癌術後に左腋窩近傍に生じた乳房外 Paget 病の 1 例. 臨床皮膚科 2010;65(3):253-256.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Tamihiko Kawakami, Ayumi Fujita, Yoshinao Soma. Brownish macules on the face and upper back. Clinical and Experimental Dermatology 2010;35(4):172-173.
- 2) Tamihiko Kawakami, Yoshinao Soma. Use of warfarin therapy at a target international normalized ratio of 3.0 for cutaneous polyarteritis nodosa. Journal of the American Academy of Dermatology 2010;63(4):602-606.
- 3) Sora Takeuchi, Yoshinao Soma, Tamihiko Kawakami. IgM in lesional skin of adults with Henoch-Schönlein purpura is an indication of renal involvement. Journal of the American Academy of Dermatology 2010;63(6):1026-1029.
- 4) Tamihiko Kawakami, Masahide Yamazaki, Yukiko Takakuwa, Hidehiro Yamada, Shoichi Ozaki, Yoshinao Soma. Microscopic Polyangiitis Associated with Antiphospholipid Antibodies and Immune Complex Mediated Cutaneous Vasculitis. Acta Dermatology Venereologica 2010;90(6):639-641.
- 5) Tamihiko Kawakami, Yoshinao Soma. Correlation of Livedo Racemosa, Cutaneous Inflammatory Plaques, and Antiphospholipid Antibodies in patients With Cutaneous Polyarteritis Nodosa. Medicine 2011;90(2):119-124.
- 6) Tamihiko Kawakami, Yoshinao Soma. Questionnaire survey of the efficacy of emollients for adult patients with atopic dermatitis. Journal of Dermatology 2010;37:1-5.
- 7) Tamihiko Kawakami, Kazuo Takahashi, Yoshinao Soma, Zenro Ikezawa. Attitudes of dermatologists toward the Chapel Hills Consensus Conference nomenclature and classification. Clinical and Experimental Dermatology 2010;35:746-745.

皮膚科学

② 総説又は症例解説

1) Tamihiro Kawakami. New algorithm (KAWAKAMI algorithm) to diagnose primary cutaneous vasculitis. Journal of Dermatology 2010.

学会発表

① 国内学会

1) 川上民裕. 皮膚血管炎の診療をどうすすめるか. 皮膚の血管炎の病因論: 新たな展開. 第 109 回日本皮膚科学会総会 2010.

2) 堤祐子, 布施恵理, 川上民裕, 相馬良直. IgA-λ 型M蛋白血症を伴った持久性隆起性紅斑の 1 例. 第 109 回日本皮膚科学会総会 2010.

3) 松岡摩耶, 芳賀恒夫, 川上民裕, 相馬良直. コロジオン児を呈した伴性遺伝性魚鱗癬の 1 例. 第 109 回日本皮膚科学会総会 2010.

4) 島田恵子, 芳賀恒夫, 布施恵理, 川上民裕, 相馬良直. 14trisomy がみいだされた Linear and whorled nevoid hypemelanosis の 1 例. 第 109 回日本皮膚科学会総会 2010.

5) 川上民裕, 山崎雅英, 溝口昌子, 相馬良直. 網状皮斑(リベド)における抗リン脂質抗体と臨床像、皮膚組織所見との関係. 第 22 回日本アレルギー学会春季臨床大会 2010.

6) 竹内そら, 川上民裕, 木村聡子, 芳賀恒夫, 相馬良直, 緒方晴樹, 池山有子, 岩本承豪. 陥凹性病変を呈した隆起性皮膚線維肉腫の 2 例. 第 26 回日本臨床皮膚科医会総会 2010.

7) 岩藤美佳, 島田恵子, 堤祐子, 芳賀恒夫, 川上民裕. 免疫グロブリン大量療法が奏効した非ホジキンリンパ腫を伴う壊疽性膿皮症の 1 例. 日本皮膚科学会第 830 回東京地方会 2010.

8) 島田恵子, 堤祐子, 芳賀恒夫, 山口奈央, 土井里沙子, 岩藤美佳, 川上民裕, 相馬良直. 顔面に片側性皮疹が生じ診断に苦慮した皮膚筋炎の 1 例. 日本皮膚科学会第 830 回東京地方会 2010.

9) 京谷樹子, 松岡晃弘, 木村聡子, 松岡摩耶, 川上民裕, 相馬良直, 渡部秀憲. 若年者に生じた広範囲に皮疹が見られた尋常性狼瘡の 1 例. 日本皮膚科学会第 830 回東京地方会 2010.

10) 布施恵理, 土井里沙子, 村上富美子. Budd-Chiari 症候群に片側性母斑性毛細血管拡張症を伴った 1 例. 日本皮膚科学会第 830 回東京地方会 2010.

11) 京谷樹子, 松岡摩耶, 木村聡子, 松岡晃弘, 川上民裕, 相馬良直. Nanta 骨性母斑の 1 例. 日本皮膚科学会第 832 回東京地方会 2010.

12) 竹内そら, 川上民裕, 相馬良直. 皮膚コレステリン肉芽腫の 1 例. 日本皮膚科学会第 832 回東京地方会 2010.

13) 川上民裕. 皮膚血管炎を正しく診断するには(皮膚血管炎の簡易版と改訂版アルゴリズム). 第 74 回日本皮膚科学会東部支部学術大会 2010.

14) 山口奈央, 堤祐子, 木村聡子, 芳賀恒夫, 中川恵子, 岩藤美佳, 宮路貴晶, 川上民裕, 相馬良直, 増澤幹雄. 頬部に生じたリンパ管肉腫の 1 例. 日本皮膚科学会第 833 回東京地方会 2010.

15) 中野敦子, 松岡摩耶, 京谷樹子, 土井里沙子, 竹内そら, 木村聡子, 川上民裕, 相馬良直, 増澤幹雄, 根本威志. 電子線照射とWeekly ドセタキセル療法が奏効した頭部血管肉腫の 1 例. 日本皮膚科学会第 833 回東京地方会 2010.

16) Tamihiro Kawakami. Vasculitis from the dermatological Point of view From The Clinic to The Laboratory Bench. The 35th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology 2010.

17) 川上民裕, 高橋一夫, 相馬良直, 池澤善郎. チャペルヒル国際会議で決定した血管炎分類に対する日本皮膚科医の意識調査. 第 60 回日本アレルギー学会秋季学術大会 2010.

18) 中川恵子, 木村聡子, 川上民裕, 相馬良直. 下腹部に生じた folliculosebaceous cystic hamartoma の 1 例. 日本皮膚科学会第 834 回東京地方会 2010.

19) 京谷樹子, 川上民裕, 相馬良直, 岡崎貴裕. 間質性肺炎が先行した持久性隆起性紅斑の 1 例. 日本皮膚科学会第 834 回東京地方会 2010.

20) 川上民裕, 竹内そら, 相馬良直. 皮膚型結節性多発動脈炎に対するワーファリン療法. 第 34 回皮膚脈管膠原病研究会 2011.

21) 岩藤美佳, 堤祐子, 宮路貴晶, 中川恵子, 芳賀恒夫, 川上民裕, 相馬良直. 耳介後部に生じた chondroid syringoma の 1 例. 日本皮膚科学会第 835 回東京地方会 2011.

22) 堤祐子, 川上民裕, 松岡摩耶, 中川恵子, 岩藤美佳, 木村聡子, 相馬良直. 免疫グロブリン大量静注療法が神経症状に奏効した Churg-Strauss 症候群の 1 例. 日本皮膚科学会第 835 回東京地方会 2011.

23) 川上民裕. 血管炎の分類と診断アルゴリズム. 第 74 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2011.

24) 山口奈央, 木村聡子, 川上民裕, 相馬良直. 爪囲紅斑を伴った multicentric reticulohistiocytosis の 1 例. 第 74 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2011.

25) 芳賀恒夫, 川上民裕, 相馬良直, 和田康菜, 木口一成. 5% イミキモドクリーム外用が奏効した外陰部悪性黒色腫の 1 例. 第 74 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2011.

26) 竹内そら. Henoch-Schonlein Purpura の病態解明への臨床からのアプローチ. 第 12 回東京皮膚フォーラム 2011.

② 国際学会

1) Kawakami Tamihiro. Churg-Strauss syndrome in childhood: A clinical review. 10th European Society for Pediatric Dermatology 2010.

2) Tamihiro Kawakami. High serum levels of IL6, IL8, and antiphospholipid antibodies in adult Henoch-Schonlein Purpura. The First Eastern Asia Dermatology Congress 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 3 | |
| 論文 | 原著 | | 7 |
| | 総説または解説 | 19 | 2 |
| | 症例報告 | 6 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 26 | |
| | 国際学会 | 2 | |
| | その他 | | |

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 佐々木秀郎, 宮野佐哲, 堤久, 吉岡まき, 中澤龍斗, 北島和樹, 宇田川剛, 江東邦夫, 佐藤雄一, 力石辰也. 前立腺体積と高血圧・高脂血症・糖尿病・高尿酸血症・肥満との関係. 泌尿器外科 2010;23(10):1459-1461.
- 2) 宮野佐哲, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 堤久, 佐藤雄一, 力石辰也. ミニマム創内視鏡下根治的腎摘除術の導入. 泌尿器外科 2010;25(5):667-670.
- 3) 宮野佐哲, 江東邦夫, 中澤龍斗, 吉岡まき, 佐々木秀郎, 堤久, 佐藤雄一, 力石辰也. 腹腔鏡下小切開腎摘除術導入 10例の経験. 日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 2010;2(1):85-88.

② 総説又は症例解説

- 1) 宮野佐哲, 力石辰也. がん診療の最前線. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(2):157-160.
- 2) 宮野佐哲, 力石辰也. 感染症一腎臓・膀胱. 総合臨床 2010;59(sup):856-857

③ 症例報告

- 1) 佐々木秀郎, 宮野佐哲, 堤久, 吉岡まき, 中澤龍斗, 北島和樹, 宇田川剛, 江東邦夫, 佐藤雄一, 力石辰也, 谷澤雅彦, 柴垣有吾, 木村健二郎. 廃用性萎縮膀胱症例に対する移植尿管一自己尿管端側吻合. 腎移植・血管外科 2010;22(1):63-67.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Sato Yuichi, Kimura Kenji, Chikaraishi Tatsuya. Internal filtration in dialyzers with different membrane permeabilities. J Artif Organs 2010;13(2):113-116.
- 2) Sato Yoichi, Miyamoto Masahito, Yazawa Masahiko, Nakazawa Ryuto, Sasaki Hideo, Miyano Satetsu, Tsutsumi Hisashi, Kimura Kenjiro, Chikaraishi Tatsuya. Brachial-brachial autogenous arteriovenous fistula in dialysis patient with Staphylococcus aureus bacteremia. J.Artif.Organs 2010;13(1):51-53.
- 3) Sato Yoko, Nozawa Shiari, Sato Yoko, Yoshiike Miki, Arai Michiko, Sasaki Chizuko, Iwamoto Teruaki. Xenografting of testicular tissue from an infant human donor results in accelerated testicular maturation. Hum Reprod 2010;25(5):1113-1122.
- 4) Terai Kazutaka, Yoshida Kaoru, Iwamoto Teruaki, Yoshiike Miki, Fujime Makoto, Iwamoto T. Association of seminal plasma motility inhibitor/semenogelins with sperm in asthenozoospermia-infertile men. Urologia Internationals 2010;85(2):209-215.
- 5) Matsui Katsuomi, Shibagaki Yugo, Matsui Katsuomi, Sasaki Hideo, Chikaraishi Tatsuya, Yasuda Takashi, Kimura Kenjiro. Mycophenolate mofetil-induced agranulocytosis in renal transplant recipient. Clin Exp Nephrol 2010;14(6):637-640.
- 6) Amano Toshiyasu, Imao Tetsuya, Amano Toshiyasu, Takemae Katsurou, Iwamoto Teruaki, Nakanome Mariko.

Testosterone replacement theraphy by testosterone ointment relieves lower urinary tract symptoms in late onset hypogonadism patients. The Aging Male 2010;13(4):242-246.

- 7) Kitajima K, Aoba T, Pringle KC, ZuccolloJ, Koike J, Chikaraishi T, Kitagawa H. Bladder development following bladder outlet obstruction in fetal lambs. Optimal timing of fetal therapy.J Pediatr.Surg 2010;45(12):2423-2430.

学会発表

① 国内学会

- 1) 佐々木秀郎, 江東邦夫, 北島和樹, 宇田川剛, 工藤浩也, 中野透, 中澤龍斗, 堤久, 宮野佐哲, 佐藤雄一, 力石辰也. 当院における経直腸的前立腺6か所生検と10か所生検の比較. 第98回日本泌尿器科学会総会 2010.
- 2) 宮野佐哲, 江東邦夫, 中澤龍斗, 吉岡まき, 佐々木秀郎, 堤久, 佐藤雄一, 力石辰也. 腹腔鏡下腎摘除術 vs.腹腔鏡下小切開腎摘除術の比較検討. 第98回日本泌尿器科学会総会 2010.
- 3) 力石辰也, 佐藤雄一, 宮野佐哲, 堤久, 佐々木秀郎, 吉岡まき, 中澤龍斗, 江東邦夫, 木村健二郎, 谷澤雅彦, 柴垣有吾, 松井勝臣. 当科における腎移植72例の検討. 第98回日本泌尿器科学会総会 2010.
- 4) 古畑壮一, 工藤浩也, 山川克典. 軟性腎盂尿管鏡を用いたTUL(f-TUL)の初期経験. 第98回日本泌尿器科学会総会 2010.
- 5) 岩本晃明, 三重野牧子, 野澤資亜利, 吉池美紀, 中目真理子, 松下知彦, 山川克典. 造精機能障害の指標に血中フリーテストステロンは有効か. 第98回日本泌尿器科学会総会 2010.
- 6) 佐々木秀郎, 小野元, 中村晴美, 竹内みき, 吉野茂, 上野聰樹, 佐藤雄一, 宮野佐哲, 堤久, 中澤龍斗, 江東邦夫, 力石辰也. 泌尿器科における角膜提供症例の検討. 第22回神奈川移植医学会 2010.
- 7) 中澤龍斗, 相田紘一郎, 江東邦夫, 工藤浩也, 谷澤雅彦, 中野透, 佐々木秀郎, 宮野佐哲, 佐藤雄一, 柴垣有吾, 木村健二郎, 力石辰也. 腎移植後におけるタクロリムス徐放性製剤(Gracepter)の使用経験. 第16回日本移植薬物療法研究会 2010.
- 8) 力石辰也. 臓器提供推進共同行動キャンペーンに参加して. 第26回腎移植・血管外科研究会 2010.
- 9) 古畑壮一, 中澤龍斗, 山川克典, 力石辰也. 100mL以上の前立腺肥大に対するTUEB(Transurethral Enuclation with Bipolar)の経験. 第75回日本泌尿器科学会東部総会 2010.
- 10) 力石辰也, 佐藤雄一, 宮野佐哲, 佐々木秀郎, 中野透, 工藤浩也, 江東邦夫, 相田紘一郎, 平田和明. Cadaverを用いた献腎摘出術トレーニングの経験. 第46回日本移植学会総会 2010.
- 11) 佐々木秀郎, 力石辰也, 佐藤雄一, 宮野佐哲, 中野透, 工藤浩也, 江東邦夫, 相田紘一郎, 谷澤雅彦, 木村健二郎. 術前に抗体除去療法を行わなかったABO不適合腎移植の2例. 第46回日本移植学会総会 2010.
- 12) 中目真理子, 佐々木秀郎, 力石辰也, 谷澤雅彦, 柴垣有吾, 木村健二郎, 塚本孝枝, 馬目利恵子, 東山恵, 星野真純, 角田由美子. 生体腎移植ドナーのQOL評価ー第1報 ドナード

腎泌尿器外科学

ック調査の中間報告一. 第 46 回日本移植学会総会 2010.

- 13) 池田成江, 野口文乃, 中目真理子, 上野和美, 小坂志保, 吉田一成, 石井大輔, 力石辰也, 佐々木秀郎, 丸井祐二. 神奈川腎移植レシピエント移植コーディネーター(RTC)の会を通じての移植地域医療の協力的体制づくり. 第 46 回日本移植学会総会 2010.
- 14) 宮野佐哲, 相田紘一郎, 江東邦夫, 工藤浩也, 中野透, 佐々木秀郎, 佐藤雄一, 力石辰也. 当院における副腎褐色細胞腫に対する体腔鏡下副腎摘除術の検討. 第 24 回日本 Endourology・ESWL 学会総会 2010.
- 15) 北島和樹, 小池淳樹, 野澤資亜利, 吉池美紀, 高木正之, 力石辰也. 移植腎尿管上皮における MMP-9 の免疫組織学的検討ー阻血再灌流障害. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 16) 佐々木秀郎, 相田紘一郎, 江東邦夫, 工藤浩也, 中野透, 宮野佐哲, 佐藤雄一, 谷澤雅彦, 柴垣有吾, 木村健二郎, 力石辰也. CT volumetry による腎移植ドナー分腎機能比の評価. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 17) 松井勝臣, 佐々木秀郎, 柴垣有吾, 力石辰也, 木村健二郎. 腎移植後患者における内科的合併症の検討. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 18) 白井小百合, 谷澤雅彦, 松井勝臣, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎, 小池淳樹, 力石辰也. 本施設における再発腎炎症例に関する検討. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 19) 斎藤由美子, 馬目理恵子, 東山恵, 塚本孝枝, 中目真理子, 力石辰也, 柴垣有吾, 佐々木秀郎, 谷澤雅彦. 腎移植外来における支援のあり方ー外来の体制作りについてー. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 20) 谷澤雅彦, 松井勝臣, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 佐藤雄一, 力石辰也. 遷延性副甲状腺機能亢進症へのシナカルゼットを用いた症例集積試験. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 21) 宮本雅仁, 谷澤雅彦, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 宮野佐哲, 佐藤雄一, 柴垣有吾, 安田隆, 力石辰也, 木村健二郎. 腎移植後に多発巨大異所性石灰化の著明な改善を認めた 1 例. 第 44 回日本臨床腎移植学会 2011.
- 22) 佐々木秀郎. 腎臓内科医のための基礎コースー術前における外科の役割と腎移植手術の実際. 関東腎移植セミナー 2011.
- 23) 宇田川剛. 腎癌に対する自家造血幹細胞移植とインターフェロン遺伝子導入複合療法の開発. 第 20 回泌尿器科分子細胞研究会 2011.
- 24) 佐々木秀郎. 前立腺肥大症と高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満の関係. BPH/OAB 薬物療法講演会 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | 3 | 7 |
| | 総説または解説 | 2 | |
| | 症例報告 | 1 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 24 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | | |

著書

- 1) 木口一成, 石川統, 黒岩常祥, 塩見正衛, 松本忠夫, 守隆夫, 八杉貞雄, 山本正幸. 胞状奇胎・肺細胞性腫瘍・胎芽性癌・他. 生物学事典 2011.
- 2) 宇田川康博, 八重樫伸生, 片瀨秀隆, 鈴木直, 藤原寛行, 鈴木光明, 竹内聡, 庄子忠宏, 杉山徹, 渡部洋, 寒河江悟, 木村英三, 片岡史夫, 津田浩史, 青木大輔, 寺井義人, 佐々木浩, 大道正瑛, 宮崎康二, 横山良仁, 深澤一雄, 紀川純. 胚細胞腫瘍. インフォームドコンセントのための図説シリーズ『卵巣がん』 2010:52-55.
- 3) 末岡浩, 池田正, 石井孝子, 鈴木直, 永澤規子, 藤原潔, 山田典子. 卵巣の疾患-卵巣の良性腫瘍- 卵巣の悪性腫瘍-. 系統看護学講座専門分野Ⅱ女性生殖器 2011: 129-135.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 齊藤寿一郎, 西ヶ谷順子, 森川香子, 名古屋崇史, 渡邊弓花, 吉岡伸人, 村山季美枝, 石塚文平. ジェノゲスト投与による子宮内腔の変化と子宮鏡下手術. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2010;31:177-179.
- 2) 小林陽一, 細沼信示, 矢作奈美子, 和田康菜, 大原樹, 戸澤晃子, 近藤春裕, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平, 五味弘道, 滝沢謙治. Neoadjuvant chemotherapyとして動注療法を併用した concurrent chemoradiotherapy(CCRT). 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2010;28(2):127-131.
- 3) 大原樹, 小林陽一, 鈴木直, 木口一成, 新井正秀, 角田新平, 上坊敏子, 平澤猛, 村松俊成, 三上幹夫. 子宮内膜間質肉腫 18 例の臨床病理学的検討 Clinicopathological study of 18 cases of endometrial stromal sarcoma. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2010;28(2):144-149.
- 4) 五十嵐豪, 田村みどり, 石山めぐみ, 近藤春裕, 鈴木直, 齊藤寿一郎, 木口一成, 石塚文平. 内視鏡下および開腹手術に至った卵巣腫瘍合併妊娠症例の検討. 日産婦内視鏡学会誌 2010;26(2):565-569.
- 5) 奥津由記, 春木篤, 森本義晴, 石塚文平. 多嚢胞性卵巣症候群の体外受精におけるリスク因子の検討. 日本受精着床学会雑誌 2011;28(1):118-122.
- 6) 矢作奈美子, 小林陽一, 細沼信示, 大原樹, 近藤春裕, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. Performance status 不良の進行婦人科癌に対する weekly paclitaxel + carboplatin 療法の有用性. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2011;29(1):112-117.
- 7) 長田まり絵, 栗林靖, 矢作奈美子, 大熊克彰, 和田康菜, 細沼信示, 石塚文平. TCR 中に高度の低ナトリウム血症を呈した一例. 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2010;26(1):239-244.
- 8) 桑原真理子, 小林陽一, 西ヶ谷順子, 吉岡範人, 大原樹, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. 術前に卵巣癌との鑑別が困難であった虫垂癌の2例. 日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 2010;47(4):437-441.

② 総説又は症例解説

- 1) 新橋成直子, 谷内麻子, 五十嵐豪, 代田琢彦, 石塚文平. アゼリア(更年期)外来における漢方治療の評価. 産婦人科漢方

研究のあゆみ 2010;31-34.

- 2) 渡部真梨, 杉下陽堂, 石塚文平. 卵巣機能と妊孕能 POF. 産婦人科の実際 2010;59(5):711-715.
- 3) 鈴木直, 杉下陽堂, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科がん化学療法の有害事象-卵巣機能不全. 産科と婦人科 2010;77(5):586-590.
- 4) 五十嵐豪, 井槌慎一郎, 石塚文平. 【産婦人科領域における新たな止血法・輸血法】NBCA(n-butyl cyanoacrylate)による動脈塞栓術の現状. 産科と婦人科 2010;77(6):645-649.
- 5) 石塚文平. 【最近話題の遺伝子異常による内分泌および類縁疾患】早発閉経. ホルモンと臨床 2010;58(7):559-563.
- 6) 鈴木直, 戸澤晃子, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科領域の術後 VTE 発症予防における新しい凝固線溶系阻害薬の有用性について. 産科と婦人科 2010;77(8):948-955.
- 7) 鈴木直, 橋本周, 五十嵐豪, 高江正道, 杉下陽堂, 奥津由記, 細井美彦, 森本義晴, 石塚文平. 若年女性患者に対する卵巣組織凍結・自家移植の現状とその実際~最新の情報. 産婦人科の実際 2010;59(8):1243-1249.
- 8) 杉下陽堂, 石塚文平. 目で見る生殖内分泌疾患の診断と治療 早発卵巣不全. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 2010;17(3):210-213.
- 9) 杉下陽堂, 石塚文平. 不妊・内分泌早発閉経. 最新の話. 産婦人科の実際 2010;59(11):1676-1681.
- 10) 稲野まどか, 杉下陽堂, 渡部真梨, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 早発卵巣不全における抗 Muller 管 ホルモンの測定意義. 産婦人科の実際 2010;59(12):2105-2109.

③ 症例報告

- 1) 大熊克彰, 梶ヶ谷真里, 吉田彩子, 吉岡範人, 房間茂由, 石塚文平. 外陰部に発生した Angiomyofibroblastoma の1例. 日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌 2010;47(1):19-21.
- 2) 桑原真理子, 小林陽一, 西ヶ谷順子, 吉岡範人, 大原樹, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. 術前に卵巣癌と鑑別が困難であった虫垂癌の2例. 日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 2010;47(4):437-441.
- 3) 横道憲幸, 大熊克彰, 渡部真梨, 石塚文平. 急性腹症の原因が卵管捻転であった一例. 日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 2010;47(3):354.

④ その他

- 1) 朝倉英策, 安部正敏, 荒瀬康司, 板垣英二, 糸井隆夫, 稲田英一, 岩崎泰正, 大泉弘幸, 大友康裕, 大西洋英, 岡住慎一, 岡田恭司, 岡田忠雄, 岡田充史, 尾島俊之, 春日井邦夫, 兼板佳孝, 鈴木直, その他著者多数. 産婦人科総論・婦人科各論. 「第104回医師国家試験問題解説」104th Medical Licensing Examination“Answers&Explanations”2010.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Igarashi S, Suzuki N, Osada M, Takae S, Tarumi W, Ishizuka B. Cryopreservation of ovarian tissue after pretreatment with a gonadotropin-releasing hormone agonist. Reproductive Medicine and Biology 2010;9:197-203
- 2) Suzuki N, Yoshioka N, Ohara T, Yokomichi N, Nako T,

- Yahagi N, Igarashi S, Kobayashi Y, Yoshimatsu M, Takizawa K, Nakajima Y, Kiguchi K, Ishizuka B. Risk factors for perioperative venous thromboembolism: A retrospective study in Japanese women with gynecologic diseases. *Thrombosis Journal* 2010;7(8):17
- 3) Hosonuma S, Kobayashi Y, Kojo S, Wada H, Seino K, Kiguchi K, Ishizuka B. Clinical significance of side population in ovarian cancer cells. *Hum Cell* 2011;Mar24(1):9-12
- 4) Wada H, Kojo S, Kusama C, Okamoto N, Sato Y, Ishizuka B, Seino K. Successful differentiation to T cells, but unsuccessful B-cell generation, from B-cell-derived induced pluripotent stem cells. *Int Immunol* 2010;Jan 23(1):65-74
- 5) Kobayashi Y, Tozawa A, Okuma Y, Kiguchi K, Ishizuka B. Complete remission with intraperitoneal cisplatin followed by prolonged oral etoposide in a stage IIIc primary leiomyosarcoma of the fallopian tube patient. *J Obstet Gynaecol Res* 2010;36(4):894-897
- 6) Hashimoto S, Suzuki N, Yamanaka M, Hosoi Y, Ishizuka B, Morimoto Y. Effects of vitrification solutions and equilibration times on the morphology of cynomolgus ovarian tissues. *Reprod Biomed Online Res* 2010;21(4):501-509
- 7) Yahagi N, Kobayashi Y, Ohara T, Suzuki N, Kiguchi K, Ishizuka B. Ovarian carcinoma complicated by sigmoid colon fistula formation: a case report and review of the literature. *Obstet Gynaecol* 2011;37(3):250-253
- 8) Kobayashi Y, Seino K, Hosonuma S, Ohara T, Itamochi H, Isonishi S, Kita T, Wada H, Kiguchi K. Side population is increased in paclitaxel-resistant ovarian cancer cell lines regardless of resistance to cisplatin. *Gynecol Oncol* 2011;121(2):390-4.
- ③ 症例報告
- 1) Igarashi S, Izuchi S, Ishizuka B, Yoshimatsu M, Takizawa K. A case of pregnancy and childbirth after uterine artery embolization with a permanent embolic agent. *Fertil Steril*. 2011 Jan;95(1):290.e9-11 2011;95(1):9-11.
- ④ その他
- 1) Ariizumi Y, Hoshikawa M, Tozawa A, Aida Y, Hukuda Y, Baba S, Koizumi H, Takagi M. A rare case of KIT positive primary malignant melanoma of the esophagus. *Journal of St.Marianna University* 2010;1(1):37-42.
- 学会発表
- ① 国内学会
- 1) 鈴木直, 細沼信示, 渡邊弓花, 矢作奈美子, 和田康菜, 大原樹, 近藤春裕, 戸澤晃子, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科癌疾患における癌告知後の患者の心理特性評価と QOL 向上の試み. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 2) 齊藤寿一郎, 森川香子, 西ヶ谷順子, 名古崇史, 吉岡伸人, 村山季美枝, 横道憲幸, 石塚文平. 合併症の軽減をめざした子宮鏡下手術. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 3) 田村みどり, 石山めぐみ, 五十嵐豪, 新橋成直子, 大原樹津田千春, 近藤春裕, 鈴木直, 齊藤寿一郎, 田中幹夫, 木口一成, 石塚文平. 良性卵巣腫瘍の腹腔鏡手術症例における臨床的検討. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 4) 戸澤晃子, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 子宮頸部扁平上皮癌のホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いたプロテオーム解析. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 5) 大原樹, 鈴木直, 吉岡伸人, 難波千絵, 細沼信示, 桑原真理子, 名古崇史, 矢作奈美子, 近藤春裕, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科疾患術後の静脈血栓塞栓症診断における D-dimer カットオフ値の測定. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 6) 五十嵐豪, 井樋慎一郎, 桑原真理子, 嶋田彩子, 杉下陽堂, 奥津由記, 渡部真梨, 石山めぐみ, 田中宏明, 中村真, 田村みどり, 石塚文平. NBCA (n-butyl cyanoacrylate) による子宮動脈塞栓術の有用性の検討. 液状塞栓物質は妊孕性を保持しうるか. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 7) 杉下陽堂, 石山めぐみ, 渡部真梨, 奥津由記, 五十嵐豪, 吉岡伸人, 難波千絵, 横道憲幸, 田村みどり, 石塚文平. Premature Ovarian Failure(POF)症例に対する新プロトコールで妊娠した一例. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 8) 名古崇史, 村山季美枝, 横道憲幸, 吉岡伸人, 渡邊弓花, 森川香子, 西ヶ谷順子, 飯田智博, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 子宮動脈塞栓術(UAE)施行後 1 年 8 カ月で発症した子宮筋腫小腸瘻の一症例. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 9) 嶋田彩子, 難波千絵, 桑原真理子, 奥津由記, 五十嵐豪, 渡部真梨, 石山めぐみ, 田中宏明, 中村真, 井樋慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 当院で経験した腎疾患合併妊娠 12 症例の検討. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 10) 矢作奈美子, 大原樹, 渡邊弓花, 和田康菜, 津田千春, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成. 再発子宮頸癌に対する塩酸イリノテカン+ネダプラチン併用療法の有用性. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 11) 村山季美枝, 齊藤寿一郎, 西ヶ谷順子, 森川香子, 名古崇史, 吉岡伸人, 横道憲幸, 飯田智博, 石塚文平. 当院における 5 年間の双胎妊娠の検討. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 12) 高橋則行, 伊藤正則, 石塚文平. 卵巣で発現する Nestin についてのさらなる研究. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 13) 杉山隆, 佐川典正, 前田洋一, 西山真人, 瀧本秀美, 上田康夫, 荻原弘光, 野平知良, 鈴木真, 山本樹生, 石塚文平, 平松祐司, 海野信也, 豊田長康. わが国における妊婦のエネルギーおよび栄養素摂取量と児発育に関する検討. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 14) 杉山太朗, 後藤優美子, 西島義博, 平澤猛, 村松俊成, 石本人士, 和泉俊一郎, 鈴木直, 木口一成, 三上幹男. レクチンアレイを用いた着床期子宮内膜に発現する糖蛋白糖鎖の検索. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 15) 西島義博, 後藤優美子, 杉山太朗, 平澤猛, 村松俊成, 石本人士, 和泉俊一郎, 鈴木直, 木口一成, 三上幹男. レクチンアレイを用いた子宮内膜・子宮体癌(高分化型・低分化型)に発現する糖蛋白糖鎖の検索. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 16) 間瀬有里, 石橋宰, 石川源, 木口一成, 片淵秀隆, 大場隆, 木下俊行, 瀧澤俊広. ヒト卵巣顆粒膜細胞に発現する miRNA の特徴: ~次世代シーケンサーを用いた大規模プロファイリング

- グ解析～. 第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.
- 17) 秦ひろか, 奥津由記, 西島千絵, 五十嵐豪, 渡部真梨, 石山めぐみ, 田中宏明, 中村真, 井槌慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 内腸骨動脈バルーンカテーテル塞栓症により術中出血をコントロールし得た前置胎盤の 3 例. 第 119 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会・学術集会 2010.
- 18) 横道憲幸, 大熊克彰, 吉田彩子, 高江正道, 渡部真梨, 房間茂由, 石塚文平. 妊娠 25 週に総胆管結石による急性膵炎を呈した一例. 第 119 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会・学術集会 2010.
- 19) 横道憲幸, 吉岡範人, 細沼信示, 矢作奈美子, 大原樹, 和田康菜, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 大網成熟嚢胞性奇形腫との鑑別を要した卵巣成熟嚢胞性奇形腫茎捻転の 1 例. 第 119 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会・学術集会 2010.
- 20) 名古屋崇史, 村山季美枝, 吉岡伸人, 渡邊弓花, 森川香子, 和田康菜, 西ヶ谷順子, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 当院で最近経験した 3 例の深部静脈血栓症合併妊娠と、当院における深部静脈血栓症合併妊娠の取扱いに関して. 第 119 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会・学術集会 2010.
- 21) 奥津由記. シンポジウム「神奈川県における周産期医療と生殖医療の調和」: 当院における、双胎妊娠管理の変遷と現状. 第 390 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 22) 吉田彩子, 五十嵐豪, 秦ひろか, 吉岡伸人, 嶋田彩子, 杉下陽堂, 奥津由記, 石山めぐみ, 中村真, 井槌慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 髄膜腫及びアルドステロン症合併妊娠の 1 例. 第 390 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 23) 山中弘之, 森川香子, 和田康菜, 名古屋崇史, 西島千絵, 西ヶ谷順子, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 癒着胎盤による帝王切開術後の子宮内腔所見. 第 390 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 24) 河野友里, 大熊克彰, 横道憲幸, 渡部真梨, 房間茂由, 石塚文平. 骨盤腹膜炎を繰り返した帝王切開痕跡部偽腔形成の 1 例. 第 390 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 25) 杉浦賢, 雨宮清, 小野瀬亮, 角田新平, 近藤春裕, 小山秀樹, 木挽貢慈, 茂田博行, 土居大祐, 林康子, 林玲子, 平澤猛, 宮城悦子, 横山和彦, 佐々木康, 中山昌樹, 中山裕樹, 東條龍太郎. 平成 21 年度神奈川県産科婦人科医会婦人科悪性腫瘍登録集計報告. 第 390 回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 26) 吉岡範人, 戸澤晃子, 鈴木直, 大原樹, 大川千絵, 船津美恵子, 小林陽一, 木口一成. 甲状腺乳頭癌根治術後約 40 年で子宮体部、両側卵巣及び腹腔内転移が認められた 1 例. 第 51 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 2010.
- 27) 細沼信示, 鈴木直, 横道憲幸, 吉岡範人, 矢作奈美子, 大原樹, 和田康菜, 戸澤晃子, 近藤春裕, 小林陽一, 木口一成. 婦人科がん患者における消化管閉塞に対するオクトレオチドの使用の開始時期の検討～早期介入 VS 後期介入～. 第 15 回日本緩和医療学会学術大会 2010.
- 28) 京森千里, 西木戸修, 今井実緒, 飯島麻希, 見延晴美, 有木宏宗, 新井達広, 四万村司, 鈴木直, 峯下昌道, 二宮正人. Z 病院における「緩和ケア研修会」参加者の意識調査. 第 15 回日本緩和医療学会学術大会 2010.
- 29) 鈴木直, 大原樹, 吉岡範人, 横道憲幸, 矢作奈美子, 戸澤晃子, 近藤春裕, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科領域の周術期における静脈血栓塞栓症発症予防の工夫-凝固線溶系阻害薬の有用性について. 第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.
- 30) 矢作奈美子, 戸澤晃子, 大原樹, 近藤春裕, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 卵巣境界悪性明細胞腫瘍の 1 例. 第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.
- 31) 深澤一雄, 小宮山慎一, 京哲, 鈴木直, 大竹秀幸, 坂本尚徳. 「卵巣がん治療ガイドライン 2010 年版について」腹膜癌・卵管癌, 胚細胞腫瘍, 性索間質性腫瘍. 第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.
- 32) 村山季美枝, 矢作奈美子, 大原樹, 渡邊弓花, 和田康菜, 津田千春, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成. 再発子宮頸癌に対するCPT-11+NDPの有用性. 第 12 回神奈川婦人科腫瘍研究会学術講演会 2010.
- 33) 五十嵐豪, 井槌慎一郎, 西島千絵, 杉下陽堂, 奥津由記, 石山めぐみ, 中村真, 石塚文平. 当院産科領域におけるNBCA(n-butyl cyanoacrylate)を用いた子宮動脈塞栓術に関する検討. 第 46 回日本周産期・新生児医学会 2010.
- 34) 西島千絵, 石山めぐみ, 杉下陽堂, 五十嵐豪, 奥津由記, 中村真, 井槌慎一郎, 石塚文平. 遺伝子組換え活性型VII因子製剤(商品名ノボセブ)を使用した臨床的羊水塞栓症の 1 例. 第 46 回日本周産期・新生児医学会総会 2010.
- 35) 名古屋崇史, 齊藤寿一郎, 村山季美枝, 石塚文平, 吉馴亮子, 大野秀子, 矢島智枝子, 笹本優佳. 診断に苦慮した父性片親性ダイゾミー14の一症例. 第 46 回 日本周産期・新生児医学会学術集会 2010.
- 36) 村山季美枝, 齊藤寿一郎, 名古屋崇史, 飯田智博, 石塚文平. 当院における多胎妊娠の検討と分析. 第 46 回 日本周産期・新生児医学会学術集会 2010.
- 37) 鈴木直, 横道憲幸, 吉岡伸人, 矢作奈美子, 大原樹, 戸澤晃子, 近藤春裕, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. 婦人科領域における周術期静脈血栓塞栓症発症の予防策:新しい凝固線溶系阻害薬の有用性について. 第 20 回日本産婦人科・新生児血液学会 2010.
- 38) 田村みどり, 石山めぐみ, 五十嵐豪, 新橋成直子, 大原樹, 近藤春裕, 鈴木直, 齊藤寿一郎, 木口一成, 石塚文平. 腹腔鏡手術時の気腹ガス量に関する検討. 第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2010.
- 39) 齊藤寿一郎, 森川香子, 西ヶ谷順子, 和田康菜, 田中宏明, 名古屋崇史, 西島千絵, 笹尾麻紀, 飯田智博, 石塚文平. ジェノゲスト投与による子宮腔内病変の変化. 第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2010.
- 40) 近藤春裕, 矢作奈美子, 大原樹, 石山めぐみ, 戸澤晃子, 鈴木直, 田村みどり, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 腹腔鏡手術を行った子宮内膜症性嚢胞破裂症例～術前画像診断は可能か. 第 50 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2010.
- 41) 西島義博, 豊田雅士, 杉山太朗, 宮澤昌樹, 平澤猛, 村松俊成, 鈴木直, 木口一成, 三上幹男. レクチンアレイを用いた子宮内膜・子宮体癌(高分化型・低分化型)に発現する糖蛋白糖鎖の検索. 第 69 回日本癌学会学術総会 2010.
- 42) 田中京子, 三上幹男, 青木大輔, 木口一成, 石渡勇, 岩森正男. 粘液性および漿液性卵巣癌組織における硫酸化およびα2,6 シリアル酸化糖脂質の発現. 第 69 回日本癌学会学術総会 2010.
- 43) Tozawa A, Yoshida A, Suzuki N, Kobayashi Y, Koizumi H, Kiguchi K, Ishizuka B. Identification of heat shock protein 27 expression in squamous neoplasia of the uterine cervix. 日本組織細胞化学会総会・学術集会 2010.
- 44) 戸澤晃子, 上里忠英, 村山季美枝, 吉岡範人, 矢作奈美子,

- 大原樹, 近藤春裕, 鈴木直, 大川千絵, 小池淳樹, 木口一成. 術前に Gastrointestinal Stromal Tumor(GIST)が疑われ,術後に卵巣漿液性表在乳頭状腺癌と診断された1例. 第24回日本臨床細胞学会関東連合学術集会 2010.
- 45) 草苺宏有, 郷田敦史, 星川咲子, 前田一郎, 戸澤晃子, 木口一成, 高木正之. ベセスダシステムにおけるASC-Hの再検討. 第24回日本臨床細胞学会関東連合学術集会 2010.
- 46) 大倉直樹, 吉松美佐子, 滝澤謙治, 小川普久, 中島康雄, 田村みどり, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成, 石塚文平. N-Butyl Cyanoacrylateを用いた産科出血に対する経費的動脈塞栓術. JSAWI 2010 2010.
- 47) 戸澤晃子, 上里忠英, 村山季美枝, 吉岡範人, 矢作奈美子, 大原樹, 近藤春裕, 鈴木直, 小池淳樹, 四万村司, 月川賢, 大坪毅人, 木口一成, 石塚文平. Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) が疑われた卵巣漿液性表在性乳頭状腺癌の1例. 第15回日本外科病理学会学術集会 2010.
- 48) 鈴木直. 若年女性に対する卵巣組織凍結の現状. 第13回日本IVF学会 2010.
- 49) 瀬尾晃平, 奥津由記, 吉田彩子, 秦ひろか, 吉岡伸人, 杉下陽堂, 五十嵐豪, 中村真, 井槌慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 診断に苦慮した胎便性腹膜炎の1例. 第391回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 50) 中山知沙香, 大熊克彰, 横道憲幸, 渡部真梨, 石塚文平. 子宮筋腫感染による急性腹痛で入院し, 肺血栓塞栓症を併発した抗リン脂質抗体症候群の1例. 第391回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 51) 石川浩史, 石山めぐみ, 井槌慎一郎, 石塚文平, 名古屋崇史, 齊藤寿一郎, 田野島美城, 奥田美加, 高橋恒男, 加藤良樹, 近藤朱音, 石本人士, 望月純子, 天野完, 海野信也, 平吹知雄. 2009年度産科救急報告. 第391回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 52) 石塚文平. 【教育講演】早発閉経;最新の知見. 第25回日本更年期医学会 2010.
- 53) 新橋成直子, 谷内麻子, 五十嵐豪, 本田由佳, 代田琢彦, 石塚文平. アゼリア外来における脂質代謝と体組成の検討. 第25回日本更年期医学会学術集会 2010.
- 54) 五十嵐豪, 新橋成直子, 谷内麻子, 代田琢彦, 石塚文平. 更年期女性に対する頸動脈エコーでの冠動脈疾患リスクの評価. 第25回日本更年期医学会学術集会 2010.
- 55) 須賀万智, 谷内麻子, 石塚文平. 地域在住60歳女性における更年期症状と更年期障害の自覚. 第25回日本更年期医学会 2010 学術集会 2010.
- 56) 本田由佳, 磯貝晶子, 谷内麻子, 新橋成直子, 岸本佳子, 石塚文平. レディースドック受診者における卵巣機能と体組成に関する検討. 第25回日本更年期医学会学術集会 2010.
- 57) 信田政子, 沼田彩, 新井正秀, 角田新平, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成, 小宮山真一, 長谷川清志, 宇田川康博, 村松俊成, 三上幹男. 頸癌術後傍大動脈リンパ節(PAN)再発例の解析. 第48回日本癌治療学会学術集会 2010.
- 58) 大原樹, 小林陽一, 吉岡範人, 矢作奈美子, 戸澤晃子, 近藤春裕, 鈴木直, 木口一成. 婦人科悪性腫瘍のDICに対する遺伝子組換えヒトロコモジュリン製剤の使用経験. 第48回日本癌治療学会学術集会 2010.
- 59) 鈴木直, 石塚文平. 【シンポジウム】卵子, 卵巣凍結保存の現状と展望: 若年婦人患者のQOL向上を目指した卵巣組織凍結・自家-基礎からの臨床へ. 第28回日本受精着床学会総会・学術講演会 2010.
- 60) 奥津由記. 【シンポジウム】アンドロゲンによる follicular cyst 形成メカニズム. 第28回日本受精着床学会総会 2010.
- 61) 高橋則行, 伊藤正則, 石塚文平. Nestin の発現は卵胞の状態により変動する. 第28回日本受精着床学会総会 2010.
- 62) 岡本直樹, 杉下陽堂, 吉岡伸人, 渡部真梨, 奥津由記, 高橋則行, 石塚文平. 胸腺除去後に POI を呈した患者血清中の自己抗体解析. 第143回日本生殖医学会関東地方部会 2011.
- 63) 井槌慎一郎. 安全なお産を求めて『総合周産期母子医療センターが, 担う役割は?(川崎地区の現状)』. 第24回神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会 2011.
- 64) 山下有美, 五十嵐豪, 上里忠英, 藪田直樹, 杉下陽堂, 奥津由記, 石山めぐみ, 中村真, 井槌慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 仙骨前方髄膜瘤及び前置胎盤合併症妊娠の一例. 第392回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 65) 栗原毅, 村山季美枝, 秦ひろか, 吉岡伸人, 大原樹, 西ヶ谷順子, 戸澤晃子, 鈴木直, 木口一成. BEP療法に抵抗性を示した胚細胞性腫瘍の一症例. 第392回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 66) 森田亮, 大熊克彰, 渡部真梨, 横道憲幸, 石塚文平. 炎症反応が高値を示した骨盤内腫瘍の一例. 第392回日本産科婦人科学会神奈川地方部会 2010.
- 67) 大原樹, 戸澤晃子, 矢作奈美子, 近藤春裕, 赤埴由紀子, 大川千絵, 小泉宏隆, 鈴木直, 小林陽一, 木口一成. 術前内臓細胞診または組織診で子宮体部漿液性腺癌が疑われた12例の検討. 第49回日本臨床細胞学会秋季大会 2010.
- 68) 杉山太朗, 後藤優美子, 西島義博, 平澤猛, 村松俊成, 鈴木直, 木口一成, 三上幹男. レクチンアレイを用いた子宮内膜・子宮体癌に発現する糖蛋白糖鎖の検索. 第49回日本臨床細胞学会秋季大会 2010.
- 69) 西島千絵, 和田康菜, 名古屋崇史, 森川香子, 西ヶ谷順子, 齊藤寿一郎, 石塚文平. 分娩を契機に後天性血友病を発症した1症例. 第120回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.
- 70) 横道憲幸, 大熊克彰, 渡部真梨, 石塚文平. 急性腹痛の原因が卵管捻転であった一例. 第120回日本産科婦人科関東連合地方部会総会・学術集会 2010.
- 71) 秦ひろか, 五十嵐豪, 吉田彩子, 吉岡伸人, 嶋田彩子, 杉下陽堂, 奥津由記, 石山めぐみ, 中村真, 井槌慎一郎, 田村みどり, 石塚文平. 早発閉経及び更年期女性に対する頸動脈エコーでの冠動脈疾患リスクの評価. 第120回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.
- 72) 中川侑子, 吉岡範人, 上里忠英, 村山季美枝, 矢作奈美子, 大原樹, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. 婦人科癌における動注化学療法の役割 進行癌に対する動注化学療法にて腫瘍の局所制御が可能であった1例. 第120回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.
- 73) 松澤文乃, 吉岡範人, 田村みどり, 上里忠英, 村山季美枝, 矢作奈美子, 大原樹, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. 卵管間質部妊娠の2症例. 第120回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.
- 74) 奥津由記. 【シンポジウム】卵巣機能に関する基礎研究の進歩: 最近の知見から卵胞発育と成熟に関する androgen の影響-単一卵胞培養を用いた解析. 第55回日本生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 75) 奥津由記, 吉岡伸人, 五十嵐豪, 稲野まどか, 鈴木直, 石塚

- 文平. 当院生殖医療センターにおける Oncofertility の試み. 第 55 回日本生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 76) 杉下陽堂, 吉岡伸人, 渡部真梨, 奥津由記, 高橋則行, 石塚文平. 胸腺腫摘出(TM)後 6 か月で発症した早発卵巣不全 (POF) の 1 例. 第 55 回日本生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 77) 高橋則行, 坂口健一郎, 樋山梢, 石塚文平. ゴナドトロピン投与によりラット卵巣での発現が上昇する遺伝子の網羅的解析. 第 55 回 日本生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 78) 岡本直樹, 杉下陽堂, 渡部真梨, 吉岡伸人, 西島千絵, 浜田直美, 高橋則行, 石塚文平. 日本人 POF 症例における FMR1 遺伝子上 CGG リピート数. 第 55 回 日本生殖医学会 2010.
- 79) 樽見航, 塚本早苗, 奥津由記, 石山めぐみ, 田村みどり, 堀内俊孝, 伊藤正則, 石塚文平. 卵胞の発育・成熟に対する androstenedione の影響-単一卵胞培養系での検討. 第 55 回日本生殖医学会総会・学術講演会 2010.
- 80) 綾部匡之, 吉田理恵, 和田友香, 浜田直美, 石塚文平, 内田浩, 丸山哲夫, 吉村泰典, 緒方勤. 早発性卵巣機能不全における HLA 感受性ハプロタイプの同定. 第 15 回 日本生殖内分分泌学会 2010.

② 国際学会

- 1) Ishizuka B. 【Scientific Program】Premature ovarian failure - an update-. 3rd Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction 2010.
- 2) Suzuki N, Hashimoto S, Igarashi S, Takae S, Tsuji Y, Yamanaka M, Ohta S, Yamochi T, Takenoshita M, Hosoi Y, Morimoto Y, Ishizuka B. Fertilized ova from vitrified ovarian grafts in monkeys undergoing heterotopic autotransplantation: development of a new vitrification technique. The 26th Annual Meeting of the European Society of Human Reproduction and Embryology 2010.
- 3) Sugishita Y, Watanabe M, Yoshioka N, Saito J, Tamura M, Ishizuka B. Effects of new protocol for estrogen and progesterone replacement with FSH/HMG stimulation on patients with premature ovarian failure: a report of a case in whom fertility was successfully induced. 3rd World Congress on Mild Approaches in Assisted Reproduction 2010.
- 4) Suzuki N, Hosonuma S, Yoshioka N, Yahagi N, Ohara T, Tozawa A, Kondo H, Kobayashi Y, Kiguchi K, Ishizuka B. Psychological characteristics of Japanese gynecologic cancer patients after learning the diagnosis according to the hospital anxiety and depression scale. 13th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society 2010.
- 5) Tozawa A, Suzuki N, Yoshida A, Koizumi H, Kobayashi Y, Kiguchi K, Ishizuka B. Identification of heat shock protein 27 expression in squamous neoplasia of the uterine cervix. 13th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society 2010.
- 6) Yahagi N, Kobayashi Y, Ohara T, Kondo H, Tozawa A, Suzuki N, Kiguchi K, Ishizuka B. Combination of irinotecan and nedaplatin for recurrent cervical cancer. 13th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society 2010.
- 7) Nishijima Y, Goto Y, Sugiyama T, Harasawa M, Miyzawa M, Hirasawa T, Muramatsu T, Ishimoto H, Suzuki N, Kiguchi K, Toyoda M, Umezawa A, Mikami M. Detection of Sugar Chains

of glycoproteins expressed by normal endometrium and uterine endometrial cancer (well-differentiated and poorly-differentiated) with the lectin arrays. 13th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society 2010.

- 8) Kondo H, Tozawa A, Koike J, Yahagi N, Ohara T, Suzuki N, Kobayashi Y, Kiguchi K, Ishizuka B. Mixoid and fibrous endometrial stromal sarcoma of the uterus: a report of two cases. 13th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society 2010.
- 9) Ishizuka B. 【Scientific Program】Etiology of premature ovarian failure. International Ovarian Conference 2010.
- 10) Takahashi N, Ishizuka B. Nestin expression in ovary. FertiLink 2010.
- 11) Sugishita Y, Okamoto N, Watanabe M, Yoshioka N, Nishijima C, Hamada N, Takahashi N, Ishizuka B. CGG repeat numbers on the FMR1 gene in Japanese patients with premature ovarian insufficiency. FertiLink 2010.
- 12) Okamoto N, Takahashi N, Itoh M, Ishizuka B. Experimental autoimmune factor affect an ovarian function after neonatal thymectomy in the mouse. FertiLink 2010.

③ その他

- 1) 石塚文平. 【特別講演】早発閉経は絶対的の不妊ではない. 三重県産婦人科医会 特別研修会 2010.
- 2) 石塚文平. 早発卵巣不全 (POF) は決して稀ではありません!. 第 3 回 不妊予防フォーラム in いわき 2010.
- 3) 石塚文平. 【特別講演】早発閉経は意外に多い-その診断と対策-. 厚木産婦人科医会 学術講演会 2010.
- 4) 石塚文平. 【特別講演】早発閉経 -最近の話題-. 第 8 回 岐阜 ART セミナー 2010.
- 5) 石塚文平. メノポーズ週間のアウトライン&ハナコ世代 (更年期世代) へのアンケート調査結果概要. 日本更年期医学会主催 メノポーズ週間 2010 プレスセミナー 2010.
- 6) 石塚文平. 【特別講演】卵巣機能不全の臨床 -DOR から POF まで-. 中河内産婦人科勉強会 2010.
- 7) 石塚文平. 【特別講演】早発閉経は不妊治療の対象となる. 第 20 回 茨城不妊臨床懇話会 2010.
- 8) 石塚文平. 【特別講演】早発閉経治療の新しい展開. 第 5 回 生殖・発達内分分泌研究会 2011.
- 9) 鈴木直. 婦人科手術後の静脈血栓塞栓症に対する新しい抗凝固薬の有用性について. 静岡県中部地区産婦人科 VTE 予防セミナー 2010.
- 10) 鈴木直. 婦人科手術後の静脈血栓塞栓症に対する新しい抗凝固薬の有用性について. 静岡県西部地区産婦人科 VTE Expert Meeting 2010.
- 11) 鈴木直. 婦人科領域術後の抗凝固療法開始と硬膜外カテーテル抜去のタイミングに関して. VTE Protection Summit 2010.
- 12) 鈴木直. 【招請講演】子宮頸がん予防ワクチンの安全性ならびに有用性に関する最新の話. 自由民主党・公明党 子宮頸がん予防ワクチンに関するプロジェクトチーム 自由民主党 政務調査会ワクチンに関するプロジェクトチーム合同会議 2010.
- 13) 鈴木直. インフォームドコンセント (外来編): 疾患、処置、手術の説明書類例集. 平成 22 年度第 1 回神奈川母体保護法指定医研修会 2010.
- 14) 木口一成. 知りたい婦人科がん情報-集学的治療の基礎とし

産婦人科学（産科・婦人科）

での免疫細胞治療. 横浜市市民公開セミナー 2010.

- 15) 吉田彩子, 大原樹, 秦ひろか, 村山季美枝, 吉岡範人, 矢作奈美子, 西ヶ谷順子, 戸澤晃子, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平. 再発子宮頸癌に対する塩酸イリノテカン+ネダプラチン併用療法の有用性. 第 28 回神奈川 3 大学オンコロジストの会 2010.
- 16) 藪田直樹, 秦ひろか, 上里忠英, 吉岡伸人, 奥津由記, 五十嵐豪, 田村みどり, 木口一成, 石塚文平. 脳脊髄疾患と胎盤異常が合併した症例. 第 364 回四水会 2010.

| | | 和 文 | 英 文 |
|------|---------|-----|-----|
| 著 書 | | 3 | |
| 論 文 | 原著 | 8 | 8 |
| | 総説または解説 | 10 | |
| | 症例報告 | 3 | 3 |
| | その他 | 1 | 1 |
| 学会発表 | 国内学会 | 80 | |
| | 国際学会 | 12 | |
| | その他 | 16 | |

眼科学

著書

- 1) 高木均. 糖尿病網膜症の成因と治療の進歩. 糖尿病学の進歩 2010; (44):248-252.
- 2) 高木均. 対糖尿病合併症のイノベーション 成因から管理、治療まで. 糖尿病 UP-DATE 2010; (26):204-213.

学術論文 [和文]

② 総説又は症例解説

- 1) 高木均. 特集「目で見る糖尿病眼科診療」ステロイド・抗VEGF療法. Diabetes Frontier 2010
- 2) 高木均. 特集「2型糖尿病診療の新展開」糖尿病網膜症は今. Pharma Medica 2010;28(5):47-51.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) 栗林純子, 北岡康史, 宗正泰成, 上野聰樹. kinesin-1 and degenerative changes in optic nerve axons in NMDA-induced neurotoxicity. Brain Research 2010;1362:133-140.
- 2) 宗正泰成, 北岡康史, 栗林純子, 上野聰樹. Modulation of mitochondria in the axon and soma of retinal ganglion cells in a rat glaucoma model. Journal of Neurochemistry 2010;115:1508-1519.
- 3) Kusahara S, Ooto S, Kimura D, Itoi K, Mukuno H, Miyamoto N, Akimoto M, Takagi H. Intraocular gas dynamics after 20-and23-gauge vitrectomy with sulfur hexafluoride gas tamponade. Retina 2011;31(2):250-256.

学会発表

① 国内学会

- 1) 北岡康史, 宗正泰成, 栗林純子, 林泰博, 上野聰樹. TNF誘発視神経障害における Nmnat3 の役割. 第114回日本眼科学会 2010.
- 2) 栗林純子, 北岡康史, 宗正泰成, 林泰博, 武田裕行, 上野聰樹. NMDA 障害モデルでの視神経軸索変性機構の解明. 第114回日本眼科学会 2010.
- 3) 宗正泰成, 北岡康史, 栗林純子, 上野聰樹. 緑内障性視神経症におけるミトコンドリア外膜の透過性制御と細胞死機構. 第114回日本眼科学会 2010.
- 4) 井上順, 岡美佳子, 徳田直人, 井上恵理, 井坂光良, 竹鼻眞, 上野聰樹. 各種プロスタグランジン関連薬のウサギ角膜上皮細胞に対する細胞毒性の比較. 第114回日本眼科学会 2010.
- 5) 北岡康史, 宗正泰成, 林泰博, 武田裕行, 栗林純子, 上野聰樹. 緑内障モデルとしてのTNF誘発網膜神経節細胞及び軸索障害. 第2回神奈川眼科学会 2010.
- 6) 徳田直人, 井上順, 上野聰樹. 塩化ベンザルコニウム非含有トラボプロストの角膜上皮バリアー機能への影響. 第2回神奈川眼科学会 2010.
- 7) 向後二郎, 徳田直人, 井上順, 北岡康史, 宗正泰成, 松澤亜紀子, 嘉山尚幸, 高木均, 上野聰樹. スペクトラルドメイン光干渉断層計による黄斑円孔の術後早期経過の観察. 第2回神奈

川眼科学会 2010.

- 8) 徳田直人, 井上順, 松澤亜紀子, 高木均, 上野聰樹. 抗緑内障点眼薬を3剤以上併用した症例に対する Selective laser trabeculoplasty(SLT)の治療成績. 第2回神奈川眼科学会 2010.
- 9) 佐々木秀郎, 小野元, 中村晴美, 竹内みき, 吉野茂, 上野聰樹, 佐藤雄一, 宮野佐哲, 堤久, 力石辰也, 中澤龍斗, 江東邦夫. 泌尿器科における角膜提供症例の検討. 第22回神奈川移植医学会 2010.
- 10) 上野聰樹. 【特別講演】緑内障手術を考える. 第90回香川県眼科集談会 2010.
- 11) 高木均. 虚血性網膜血管新生への血糖降下薬の影響. 第21回眼科酸化ストレス研究会 2010.
- 12) 高木均. 黄斑円孔手術とOCT所見. 第12回 Japan Macula Club 2010.
- 13) 北岡康史, 宗正泰成, 小島香, 林泰博, 栗林純子, 上野聰樹. 高眼圧モデルにおける Nmnat3 の役割. 第21回日本緑内障学会 2010.
- 14) 宗正泰成, 北岡康史, 栗林純子, 小島香, 上野聰樹. 高眼圧モデルラットにおける軸索輸送関連蛋白の変化. 第21回日本緑内障学会 2010.
- 15) 小島香, 北岡康史, 宗正泰成, 上野聰樹. TNF- α 誘発視神経軸索障害モデルにおけるリン酸化 PS1 の関与. 第21回日本緑内障学会 2010.
- 16) 徳田直人, 井上順, 山崎泉, 松澤亜紀子, 宗正泰成, 上野聰樹. ステロイド緑内障に対する Selective laser trabeculoplasty の治療成績. 第21回日本緑内障学会 2010.
- 17) 向後二郎, 塩野陽, 高木均, 上野聰樹. 特発性黄斑円孔手術における視力改善に関連する因子の検討. 第15回 Tokyo Retina Club 2010.
- 18) 松澤亜紀子, 工藤昌之, 徳田直人, 伊勢ノ海一之, 針谷明美, 上野聰樹. Dynamic Contour Tonometer を用いたソフトコンタクトレンズ上の眼圧測定. 第64回日本臨床眼科学会 2010.
- 19) 檀之上和彦, 宮田信之, 高木均, 上野聰樹. Short-Pulsed CO2 レーザーによる低侵襲眼瞼下垂症手術. 第64回日本臨床眼科学会 2010.
- 20) 塩野陽, 向後二郎, 井上順, 高木均, 上野聰樹. 糖尿病網膜症の牽引によって硝子体術後に黄斑円孔剥離を生じた1例. 第64回日本臨床眼科学会 2010.
- 21) 向後二郎, 井上順, 塩野陽, 高木均, 上野聰樹. 特発性黄斑円孔術後の黄斑形態および視力改善に関連する因子の検討. 第64回日本臨床眼科学会 2010.
- 22) 北野滋彦, 池田誠宏, 大越貴志子, 佐藤幸裕, 高木均, 山本禎子. 目にやさしい糖尿病黄斑浮腫治療. 第64回日本臨床眼科学会 2010.
- 23) 北岡康史. 緑内障視神経軸索保護治療の可能性. GLAY 2010.
- 24) 向後二郎, 塩野陽, 高木均, 上野聰樹. 20G および 25G 硝子体手術における術後角膜惹起乱視の検討. 第49回日本網膜硝子体学会 2010.
- 25) 塩野陽, 向後二郎, 徳田直人, 井上順, 高木均, 上野聰樹. 網膜静脈分枝閉塞症における黄斑浮腫に対する AV sheathotomy の検討. 第43回神奈川県眼科臨床談話会 2011.
- 26) 金成真由, 徳田直人, 井上順, 上野聰樹. 当院におけるぶどう膜炎続発緑内障に対する手術治療 ~術式による比較検討~. 第43回神奈川県眼科臨床談話会 2011.

眼科学

- 27) 塩野陽, 井上順, 徳田直人, 向後二郎, 高木均, 上野聰樹.
OPMI LUMERA700 内蔵スリット照明および眼底観察システム RESIG 性 T の有用. 第 34 回日本眼科手術学会 2011.
- 28) 金成真由, 徳田直人, 井上順, 高木均, 向後二郎, 塩野陽, 山崎泉, 上野聰樹. ぶどう膜炎続発緑内障の術後長期成績と術前ステロイド投与の有効性について. 第 34 回日本眼科手術学会 2011.
- 29) 高木均. 小切開硝子体手術の疾患別手術テクニック. 第 34 回日本眼科手術学会 2011.
- 30) 向後二郎, 塩野陽, 井上順, 徳田直人, 高木均, 上野聰樹.
特発性黄斑円孔手術における ICG 染色の黄斑形態と視力改善に及ぼす影響の検討. 第 34 回日本眼科手術学会 2011.

② 国際学会

- 1) 北岡康史, 宗正泰成, 栗林純子, 林泰博, 上野聰樹.
Axonal protection by nicotinamide mononucleotide adenylyltransferase3 (Nmnat3) in TNF-induced and high IOP-induced optic nerve degeneration. ARVO 2010.
- 2) 高田和秀, 宗正泰成, 藤野博美, 北岡康史. Protective effect against N-methyl-D-aspartate-induced retinal neurotoxicity. ARVO 2010.
- 3) 宗正泰成, 北岡康史, 栗林純子, 林泰博, 武田裕行, 上野聰樹. Modulation of axonal transport of mitochondria in rat glaucoma model. ARVO 2010.
- 4) 高木均, 上野聰樹. Microincision Vitrectomy Surgery(MIVS)for Removal of the internal Limiting Membrane Without indocyanine Green. ARVO 2010.

④ その他

- 1) 上野聰樹. 【教育セミナー】はじめての緑内障手術. 第 9 回 Bay Ocular Club 2010.
- 2) 上野聰樹. 日ごろ気になる あの症状—かすみ眼—. 第 30 回 聖マリアンナ医科大学公開講座 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 2 | |
| 論文 | 原著 | | 3 |
| | 総説または解説 | 2 | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 30 | |
| | 国際学会 | 4 | |
| | その他 | 2 | |

著書

- 1) 肥塚泉. 前庭眼反射を用いた検査(温度眼振検査,回転刺激検査). 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2010;82(5):109-115.
- 2) 肥塚泉. 眼球運動. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2010;82(7):457-463.
- 3) 肥塚泉. 子どもがめまいと吐き気がするということで小児科に行ったらメニエール病だといわれ薬をもらいましたが、良くなりません。どうしたらよいのでしょうか? . JOHNS 2010 ; 26 (9) : 1296-1297.
- 4) 渡辺昭司. 食道異物. JOHNS 東京医学社 2010;26(3):456-458.
- 5) 肥塚泉. 良性発作性頭位めまい症. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2011;83(1):35-42.
- 6) 肥塚泉. 体性感覚と前庭系. 日本平衡機能検査技術者会誌 2010;30:16-19.
- 7) 肥塚泉. メニエール病. 今日の治療指針 2011 2011 ; : 1278-1279.
- 8) 肥塚泉. カンファランスの聞き方、発表の仕方. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研修ノート 2011 ; :24-26.
- 9) 肥塚泉. 学会での症例報告の準備と発表のしかた. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研修ノート 2011 ; :27-30.
- 10) 肥塚泉. 外来検査の看護の要点. JOHNS 2011 ; 27 (3) : 293-295.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 北島尚治, 北島明美, 渡邊雄介, 鈴木衛. メニエール病に対するハーブティー療法の試み. 日本補完代替医療学会誌 2010;7(2):95-102.
- 2) 渡辺昭司, 大塚崇志, 及川貴生, 向出光博, 三上公志, 齋藤善光, 赤澤吉弘, 春日井滋, 五味弘道, 高橋美緒, 肥塚泉. 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科における上咽頭癌に対するneoadjuvant chemotherapy と交替療法の治療成績の比較. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2011;38(4):241-248.
- 3) 渡辺昭司, 大塚崇志, 赤澤吉弘, 春日井滋, 向出光博, 及川貴生, 三上公志, 齋藤善光, 宮本康裕, 肥塚泉. 舌扁平上皮癌の頸部郭清範囲と後発転移に対する救済率改善の検討. 耳鼻咽喉科臨床 2011;104(4):273-278.
- 4) 肥塚泉. 耳石-眼反射を用いた耳石器検査法. Equilibrium Res 2010;69(3):161-167.
- 5) 犬飼賢也, 高橋紳一郎, 肥塚泉. 難治性良性発作性頭位めまい症と考えられてた 1 症例. EQUILIBRIUM RESEARCH 2011;70(1):17-22.

② 総説又は症例解説

- 1) 肥塚泉, 渡辺昭司, 大塚崇志, 宮本康裕, 春日井滋, 向出光博, 及川貴生, 三上公志, 齋藤善光. 特集企画「がん診療の最前線」頭頸部領域. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(1):53-62.

③ 症例報告

- 1) 小宅大輔, 岡田智幸, 春日井滋, 深澤雅彦, 肥塚泉. 唾液腺内視鏡ガイド下による顎下腺移行部唾石摘出術. 耳鼻咽喉科臨床 2010;103(6):547-550.

- 2) 内海愛, 榎本浩幸, 山本馨, 木村優, 肥塚泉, 佃守. めまいのみの訴えで入院した小脳梗塞症例の検討. 日本耳鼻咽喉科学会誌 2010;113(7):593-601.

学会発表

① 国内学会

- 1) 中村学, 桑原大輔, 田中泰彦, 堤康一朗, 肥塚泉. 頭痛を主訴に来院した上咽頭嚢胞の1例. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会 第152回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 2010.
- 2) 岡田智幸, 依道淳, 田中泰彦, 肥塚泉, 中村歩希. 脳膿瘍より口腔内常在菌が検出された1症例(その誘因の一考察). 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会 第153回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 2010.
- 3) 北島明美, 肥塚泉. 体性感覚入力の前庭-眼反射への影響. 第111回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 2010.
- 4) 北島明美, 肥塚泉. 振り様 OVAR を用いた聴神経腫瘍症例の検討. 第69回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会 2010.
- 5) 北島明美, 肥塚泉. 体性感覚入力の前庭-眼反射に及ぼす影響について. 平成22年度厚生労働科学研究補助金(難治性疾患克服研究事業)「前庭機能異常に関する調査研究」研究報告会 2011.
- 6) 北島尚治, 北島明美, 渡邊雄介, 鈴木衛. メニエール病へのハーブティー療法の効果について. 第111回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 2010.
- 7) 北島尚治, 北島明美. スキューバダイビングにて耳症状を生じた患者の耳鼻咽喉科所見について一耳管機能検査を中心に. 第56回日本宇宙航空環境医学会大会 2010.
- 8) 北島尚治, 北島明美, 鈴木衛. ハーブティーを用いたメニエール病の緩解期治療. 第69回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会 2010.
- 9) 肥塚泉. めまい・平衡障害のリハビリテーション-その原理と実際-. 第20回日本耳科学会総会・学術講演会ランチョンセミナー 2010.

② 国際学会

- 1) Shoji Watanabe, Takao Oikawa, Mitsuhiro Mukaide. Adequate area of neck dissection of cancer of the tongue for II, III and IV. 4th World congress of international federation of head and neck oncologic society 2010.

③ その他

- 1) 肥塚泉. めまいの診療と治療 up-to-date. 第6回山口県めまい・難聴治療研究会 2010.
- 2) 肥塚泉. めまい診察再入門-めまいの診断と治療 up-to-date-. 長崎県医師会学術講演会 2010.
- 3) 肥塚泉. めまい診察再入門-めまいの診断と治療 up-to-date-. 伊東市医師会講演会 2011.
- 4) 肥塚泉. めまいの診断と治療 up-to-date. 第1回鹿児島聴覚・平衡研究会 2011.
- 5) 肥塚泉. めまいの診断と治療 up-to-date. 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 2011.

耳鼻咽喉科学

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 10 | |
| 論文 | 原著 | 5 | |
| | 総説または解説 | 1 | |
| | 症例報告 | 2 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 9 | |
| | 国際学会 | 1 | |
| | その他 | 5 | |

著書

- 1) 中島康雄, 松岡伸, 八木橋国博, 藤川あつ子, 奥田逸子. 症状から引く胸部画像診断 流れがわかる検査・診断のコツ. 症状から引く「胸部画像診断」2010;:1-144.
- 2) Suguru Igarashi, Shinichirou Izuchi, Bunpei Ishizuka, Misako Yoshimatu, Kenji Takizawa. A case of pregnancy and childbirth after uterine artery embolization with a permanent embolic agent. *Fertility and Sterility* 2011;95(1).
- 3) 奥田逸子, 中島康雄. 神奈川県のがん検診～マンモグラフィ検診における遠隔画像診断の重要性と課題～. 神奈川県医師会「がん検診研究会論文集」2011;:5-9.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 鈴木卓也, 松本純一, 船窪正勝, 山下寛高, 江原範重, 箕輪良行, 中島康雄. 急性腹症の患者の診断におけるCT検査の有用性に関する研究. *日本腹部救急医学会雑誌* 2010;30(7):875-881.
- 2) 渡辺昭司, 大塚崇志, 及川貴生, 向出光博, 三上公志, 斎藤善光, 赤澤吉弘, 春日井滋, 五味弘道, 高橋美緒, 肥塚泉. 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科における上咽頭癌に対するneoadjuvant chemotherapyと交替療法の治療成績の比較. *聖マリアンナ医科大学雑誌* 2011;38:241-248.

② 総説又は症例解説

- 1) 栗原宜子. 頸静脈孔解剖・臨床症状と疾患の画像診断. *臨床放射線* 2010;55(4):525-534.
- 2) 森本毅, 近藤睦子, 栗原宜子, 中島康雄, 宮川国久, 四万村司. 大腸の画像診断CT colonographyによる大腸癌術前診断. *臨床消化器内科* 2010;25(7):851-857.
- 3) 永澤清, 今村恵子, 中島康雄. 画像診断の社会学 医療技術の臨床利用への採用プロセス～米国などの最近事情～. *JCR News* 2010;178:23-29.
- 4) 荒井保明, 中島康雄. エビデンスの光と影 序にかえて. *臨床放射線* 2010;55(5):597-599.
- 5) 橋川薫, 平野貴章, 仁木久照. 特集:リスフラン関節損傷MRIによるリスフラン関節損傷の診断. *整形・災害外科* 2010;53(6):691-696.
- 6) 中地俊介, 中島康雄. 医療機器 CT. *EBnursing 看護データベース* 2010;10(Sup1):102-103.
- 7) 岸本佳子, 中島康雄. 医療機器 MRI. *EBNursing 看護データベース* 2010;10(Sup1):104-105.
- 8) 宮川国久, 中島康雄. 医療機器 PET. *EBNursing* 2010;10(Sup1):106-107.
- 9) 小林陽一, 細沼信示, 矢作奈美子, 和田康菜, 大原樹, 戸澤晃子, 近藤春裕, 鈴木直, 木口一成, 石塚文平, 五味弘道, 滝澤謙治. Neoadjuvant Chemotherapyとして動注療法を併用したConcurrent Chemoradiotherapy(CCRT). *日本婦人科腫瘍学会雑誌* 2010;28(2):127-131.
- 10) 中島康雄, 木場律子, 今村恵子. 画像診断の社会学 わが国のマンモグラフィの精神向上 マンモグラフィ検診が果たしてきた役割と今後の課題. *JCR ニュース* 2010;176:19.
- 11) 栗原宜子. 読影に役立つ石灰化の知識 頭頸部. *臨床画像* 2010;26(9):979-987.

- 12) 森本毅, 武藤絢子, 栗原宜子, 中島康雄. CT Colonographyにおける新たな診断技術と大腸癌スクリーニングへの応用. *臨床画像* 2010;26(8):948-952.
- 13) 永澤清, 今村恵子, 中島康雄. 画像診断の社会学 医療技術の臨床利用への採用プロセス-米国などの最新事情-. *JCR ニュース* 2010;178:23.
- 14) 中島康雄. 画像診断・未来予想図 画像診断の現状と未来展望、画像診断医に求められるものは？. *映像情報 Medical* 2010;42(4):362-363.
- 15) 栗原泰之. 比較的まれな肺疾患の画像診断. *日本胸部臨床* 2010;69(7):645-652.
- 16) 小林泰之. 無症候性心病変を捉える. *Rad Fan* 2010;8(8):6-10.
- 17) 印牧義英. 乳がん診断技術の進歩と臨床応用の動向 MRマンモグラフィの技術的進歩と臨床応用 -BI-RADSにおける撮影方法と適応基準を踏まえて-. *INNERVISION* 2010;25(8):14-17.
- 18) 今村恵子, 小林和子, 中島康雄. 画像診断の社会学 高齢化社会の画像診断への影響. *JCRニュース* 2010;179:16-21.
- 19) 小林泰之, 中島康雄. CTの最新技術と課題 面検出器CT:ADCT(area detector computed tomography)の特徴と臨床的有用性. *CLINICIAN* 2010;157(593):115-124.
- 20) 中島康雄. 画像診断医に求められる職業意識 力を抜いて放射線科ライフを楽しむ. *臨床画像* 2010;26(12):1404-1405.
- 21) 滝澤謙治, 小川普久, 吉松美佐子, 小池祐哉, 濱口真吾, 中島康雄. バスキュラーインターベンション オンコロジーIVR -緩和治療への応用を中心に-. *日本臨床* 2010;69(2):350-356.
- 22) 中島康雄. 臨床放射線医学 診断面とIVR. *日本医事新報* 2011;4535:71.
- 23) 松岡伸. 臨床放射線医学 診断とIVR 胸部領域. *日本医事新報* 2011;4535:73-74.
- 24) 小林泰之. 臨床放射線医学 診断面とIVR 循環器領域. *日本医事新報* 2011;4535:74-75.
- 25) 宮川国久. 肝・胆・膵・消化管関連. *日本医事新報* 2011;4535:75.
- 26) 橋川薫. 骨軟部領域. *日本医事新報* 2011;4535:76-77.
- 27) 太田智行. 小児領域. *日本医事新報* 2011;4535:77-78.
- 28) 小川普久. IVR領域 血管系IVR. *日本医事新報* 2011;4535:79.
- 29) 滝澤謙治. オンコロジーIVR. *日本医事新報* 2011;4535:79-80.
- 30) 松本純一, 新美浩. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル胸部 ALI/ARDS. *救急医学* 2011;32(2):166-168.
- 31) 熊野玲子, 山内栄五郎, 松本純一, 村上健司, 武藤絢子, 立澤夏紀, 八木橋国博, 大西毅. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル腹部 腹腔内出血. *救急医学* 2011;32(2):172-175.
- 32) 松本純一, 船窪正勝, 山下寛高. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル 外傷 肺縦隔損傷. *救急医学* 2011;32(2):231-232.
- 33) 山下寛高, 松本純一, 船窪正勝. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル 外傷 腹部実質臓器損傷. *救急医学* 2011;32(2):236-238.
- 34) 服部貴行. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル 外傷 四肢外傷. *救急医学* 2011;32(2):248-250.

放射線医学

- 35) 船窪正勝, 中島康雄. 救急領域のマルチスライスCTマニュアル救急領域における有用性と限界. 救急医学 2011;32(2):130-132.
- 36) 橘川薫, 大橋健二郎. <関節の画像診断の新たな展開>今日のCT・MR関節造影. 臨床画像(別刷) 2010;11(26):1240-1249.
- 37) 橘川薫. <スポーツによる手関節・肘関節障害に対する最新の治療>スポーツによる手関節・肘関節障害の診断「MRI画像診断法」手関節・肘関節. 関節外科～基礎と臨床～(別刷) 2011;30(3):69-77.

③ 症例報告

- 1) 藤川あつ子, 滝澤謙治, 嶋本裕, 上島巖, 小川普久, 八木橋国博, 吉松美佐子, 濱口真吾, 中島康雄, 松永光太郎, 池田裕喜, 岡本賢, 根岸龍二郎. Sonazoid US Angiography 併用により超選択的肝動脈化学塞栓療法を完遂できた肝細胞癌の1例. INTERVENTIONAL RADIOLOGY 2010;24(3):271-275.

④ その他

- 1) 藤川あつ子. 第8回バルカン放射線学会. 日本放射線科専門医会 2011;(181):22-24.
- 2) 中島康雄. 医用放射線の過剰使用. 日本放射線科専門医会 2011;(181):16-16.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Kunihiro Yagihashi, Kenji Takizawa, Yukihisa Ogawa, Kyoko Okamoto, Misako Yoshimatsu, Atsuko Fujikawa, Hiroshi Shimamoto, Yasuo Nakajima. Clinical Application of a New Indwelling Catheter with a Side-Hole and Spirally Arranged Shape-Memory Alloy for Hepatic Infusion Chemotherapy. Cardiovasc Intervention Radiol 2010;33(6):1153-1158.
- 2) Nao Suzuki, Norihito Yoshioka, Tatsuru Ohara, Noriyuki Yokomichi, Takafumi Nako, Namiko Yahagi, Suguru Igarashi, Yoichi Kobayashi, Misako Yoshimatsu, Kenji Takizawa, Yasuo Nakajima, Kazushige Kiguchi, Bunpei Ishizuka. Risk factors for perioperative venous thromboembolism:A retrospective study in Japanese women with gynecologic diseases. THROMBOSIS JOURNAL 2010;8(17):1-9.
- 3) Yuya Koike, Kenji Takizawa, Yukihisa Ogawa, Ayako Muto, Misako Yoshimatsu, Kunihiro Yagihashi, Yasuo Nakajima. Transcatheter Arterial Chemoembolization(TACE) or Embolization(TAE) for Symptomatic Bone Metastases as a Palliative Treatment. Cardiovasc Intervent Radiol 2010.

② 総説又は症例解説

- 1) Shinya Tajima, Ichiro Maeda, Yoshihiro Kanemaki, Yasuo Nakajima, Shinobu Tatsunami, Mamoru Fukuda, Masayuki Takagi. Evaluation of CD56 and CD57 Immunostainings for Discrimination between Endocrine Ductal Carcinoma in Situ and Intraductal Papilloma. Pathology International 2010;60(6):459-465.
- 2) Shinya Tajima, Ichiro Maeda, Yashihide Kanemaki, Yasuo Nakajima, Shinobu Tatsunami, Mamoru Fukuda, Masayuki Takagi. Evaluation of CD56 and CD57 Immunostainings for

Discrimination between Endocrine Ductal Carcinoma in Situ and Intraductal Papilloma. Pathology International 2010;60(6):459-465.

- 3) Itsuko Okuda, Yasuo Nakajima, Daishu Miura, Hirota Maruno, Tadasu Kohno, Kazuaki Hirata. Diagnostic Localization of Ectopic Parathyroid Lesions:Developmental consideration. Japan J Radiology 2010;28:707-713.
- 4) Itsuko Okuda, Harushi Udagawa, Kazuaki Hirata, Yasuo Nakajima. Depiction of the Thoracic Duct by Magnetic Resonance Imaging:Comparison between Magnetic Resonance Imaging and the Anatomical Literature. Japan J Radiology 2011;29(1):39-45.

学会発表

① 国内学会

- 1) 森本毅, 近藤睦子, 小林泰之, 栗原宜子, 中島康雄, 力石耕介, 小川泰良, 立石貴代子, 吉川達生, 四万村司. 教育展示 CT colonography による大腸癌術前シミュレーション. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 2) 栗原宜子, 鈴木卓也, 高橋美緒, 中島康雄. 教育展示『複視』あなたは何処をチェックしますか. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 3) 大倉直樹. 経皮的瘻孔形成術により非手術的に治療し得た外傷性回腸穿孔の1例. 第39回日本IVR学会総会 2010.
- 4) 形部倫子. わたしたち、もうセブラフィルムには騙されない！. 第39回日本IVR学会総会 2010.
- 5) 吉松美佐子. N-butyl Cyanoacrylate を用いた産科出血に対する経皮的動脈塞栓術. 第39回日本IVR学会総会 2010.
- 6) 武藤絢子, 橘川薫, 立澤夏紀, 中島康雄, 安藤亮, 中島浩志, 新井猛, 別府諸兄. 健康成人における肘関節滑膜ヒダのMRIによる形成学的検討. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 7) 松岡伸, 藤川あつ子, 八木橋国博, 山城恒雄, 小池祐哉, 栗原泰之, 中島康雄. 気管支喘息における気管支壁CT吸収値と呼吸機能の関連. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 8) 小林泰之, 小川普久, 中島康雄, Shikata Hidenori, 松本和彦, Lima Joao, Lardo Albert. Tagging MRI/Non-tagged cine MRIにおけるImage tracking法を用いたstrain解析法の開発. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 9) 吉松美佐子, 滝澤謙治, 小川普久, 八木橋国博, 上島巖, 小池祐哉, 武藤絢子, 中島康雄, 田村泰治. 吸引減圧下セメント注入(CIVAS)可能な骨セメント用ニードルの開発. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 10) 今村恵子, 小林和子, 稲田陽一, 栗原泰之, 中島康雄. 医用画像の電子運用の普及について. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 11) 上島巖, 吉松美佐子, 滝澤謙治, 松岡伸, 小川普久, 八木橋国博, 藤川あつ子, 橘川薫, 中島康雄. MDCTによるヒト屍体を用いた経皮的椎体形成術の骨セメント定量化実験. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 12) 橘川薫, 立澤夏紀, 今村恵子, 中島康雄, 平野貴章, 仁木久照. リスフラン靱帯のMRI像と解剖所見の対比:12屍体足による検討. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
- 13) 小川普久, 滝澤謙治, 小池祐哉, 吉松美佐子, 武藤絢子, 八木橋国博, 中島康雄, 田村泰治. 腹部動脈性出血に対するNBCA塞栓術の臨床成績と病理学的検証. 第69回日本医学

放射線医学

- 放射線学会総会 2010.
- 14) 栗原泰之. 胸部単純X線をもう一度見直す 胸膜から胸郭. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
 - 15) 中島康雄. オートプシーイメージング(AI)ワーキンググループ報告. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
 - 16) 遠藤啓吾, 今村恵子. 放射線科医からみた画像診断の診療報酬と我々の社会的地位. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
 - 17) 中島康雄. 救急放射線医学における放射線技師の役割. 日本救急撮影技術師認定機構創立記念講演会 2010.
 - 18) 武藤絢子, 近藤睦子, 中島康雄, 松本純一, 平泰彦, 脇坂宗親, 島秀樹, 北川博昭. 腹部小児鈍的脾損傷におけるTEAの適応について. 第46回日本小児放射線学会 2010.
 - 19) 松岡伸. 診断最新技術 塞栓性肺疾患のCT ～形態から機能をみる～. 19th CMRS 2010.
 - 20) 松岡伸. CTによる呼吸器機能画像～形態から機能へ～. 第72回難治研修会 2010.
 - 21) 橋川薫. 関節疾患とストレス骨折 足関節. 第21回骨軟部放射線診断セミナー 2010.
 - 22) 滝澤謙治. 緩和医療におけるIVRの役割. 第9回Advanced Life Science Meeting 2010.
 - 23) 栗原泰之. 定期健康診断時におけるエックス線写真読影上の留意点. 全衛連・医師研修会 2010.
 - 24) 吉松美佐子. N-butyl Cyanoacrylateを用いた産科出血に対する経皮的動脈塞栓術. 第39回日本IVR学会総会 2010.
 - 25) 大倉直樹, 松本純一, 藤川あつ子, 形部倫子, 熊野玲子, 柳井真知, 森澤健一郎, 平泰彦, 山内栄五郎. 経皮的瘻孔形成術により非手術的に治癒し得た外傷性回腸穿孔の1例. 第39回日本IVR学会総会 2010.
 - 26) 大倉直樹. 脾内副脾に発生した炎症性偽腫瘍の1例. 第24回腹部放射線研究会 2010.
 - 27) 高橋美緒, 境野晋二郎, 岡田幸法, 阿部達之, 五味弘道, 滝澤謙治, 中島康雄, 井上年幸. 乳房温存療法の術後照射におけるField-in-field法とウエッジフィルターを用いた通常照射法の比較. 第11回乳癌最新情報カンファランス 2010.
 - 28) 池田裕隆, 吉松美佐子, 滝澤謙治, 小川普久, 加藤洋, 上島巖, 武藤絢子, 八木橋国博, 小池祐哉, 濱口真吾, 中島康雄, 笹生豊. 椎体偽関節(cleft)に対する経皮的椎体形成術後に圧潰した隣接椎体との連続性を有した3症例. 第5回日本IVR学会関東地方会 2010.
 - 29) 森本毅. 大腸がん術前におけるCT colonographyの有用性. 第1回CT Colonography, Hands-on Workshop 2010.
 - 30) 松岡伸. 胸部CT ～形態から機能へ～. 第35回福岡胸部放射線研究会 2010.
 - 31) 江原範重. 放射線診断物理学. 第6回医学物理コース 2010.
 - 32) 印牧義英. 乳房MRIガイドラインに基づいた1.5Tesla 16ch Mammo Trakでの乳房MRI検査. 第69回日本医学放射線学会総会 2010.
 - 33) 嶋本裕. MR検出病変に対しての病理的検討. 第18回日本乳癌学会学術総会 2010.
 - 34) 滝澤謙治. IVR:IVRの魅力を語る. 第6回前期臨床研修医のための画像診断セミナー 2010.
 - 35) 森本毅. CTC症例の実際. 第1回消化管CT技術研究会 2010.
 - 36) 上島巖, 濱口真吾, 中島康雄, 宮野佐哲, 佐々木秀郎, 中野透, 江東邦夫, 佐藤雄一, 力石辰也, 立石文子, 高木正之. 著明な石灰化を伴った尿管癌の一例. 第32回泌尿器画像診断研究会 2010.
 - 37) 松岡伸. CTを用いた肺機能画像. 第46回日本医学放射線学会秋季大会 2010.
 - 38) 印牧義英. 乳房MRI検診の可能性. 第46回日本医学放射線学会秋季大会 2010.
 - 39) 中島康雄. 今求められるレジデント教育 研修プログラムの現状と展望:放射線診断. 第46回日本医学放射線学会秋季大会 2010.
 - 40) 中島康雄. 画像診断における最近のトピックス～聖マリアンナ医科大学で提供できる最新テクノロジーを含めて～. 地域医療のための学術講演会 2010.
 - 41) 加藤洋. GDA-コイル法以外の留置法によるGスパイラルカテーテルを用いた動注リザーバー療法の経験. 第35回リザーバー研究会 2010.
 - 42) 小川普久. 教育講演 局所進行乳癌に対する動注療法一局所再発・皮膚転移への挑戦. 第35回リザーバー研究会 2010.
 - 43) 栗原泰之. 特別講演 胸部単純X線写真 再入門. 第6回上越画像カンファランス特別講演会 2010.
 - 44) 吉松美佐子, 石蔵礼一, 米虫敦. 放射線科の将来を語ろう. 2010年ミッドサマーセミナー 2010.
 - 45) 中島康雄. 救急放射線診療における画像診断の役割と診療放射線技師の関わり. 第11回千葉県CT研究会 2010.
 - 46) 滝澤謙治. 癌治療、緊急、除痛のIVR. 千葉県銚子市医師会講演会 2010.
 - 47) 滝澤謙治. 症状緩和のためのインターベンショナルラジオロジー. 第46回日本医学放射線学会総会秋季大会 2010.
 - 48) 阿部達之, 境野晋二郎, 高橋美緒, 岡田幸法, 五味弘道. CTガイド3DCRTを行った限局性前立腺癌における計画時と治療時アイソセンタのずれ. 日本放射線腫瘍学会第23回学術大会 2010.
 - 49) 高橋美緒, 五味弘道, 滝澤謙治, 江原範重, 阿部達之, 境野晋二郎, 岡田幸法, 中島康雄, 鈴木直, 木口一成. 進行子宮頸癌に対する動注を含む化学療法同時併用放射線治療の成績. 日本放射線腫瘍学会第23回学術大会 2010.
 - 50) 境野晋二郎, 阿部達之, 岡田幸法, 高橋美緒, 五味弘道, 滝澤謙治, 中島康雄. 肝細胞癌骨転移に、動注塞栓療法、骨セメント療法、放射線治療を併用した1例. 日本放射線腫瘍学会第23回学術大会 2010.
 - 51) 岡田幸法, 境野晋二郎, 高橋美緒, 阿部達之, 五味弘道, 滝澤謙治, 中島康雄. 脊髄圧迫骨転移放射線治療後の再発症例に動脈塞栓術を行った1例. 日本放射線腫瘍学会第23回学術大会 2010.
 - 52) 中島康雄. 乳がん、検診から画像診断、IVRまで:放射線診断医に求められていること. 第15回大分総合画像診断研究会 2010.
 - 53) 中島康雄. マンモグラフィ検診遠隔診断:その構築と今後の課題. 第20回日本乳癌検診学会 2010.
 - 54) 橋川薫. 乳幼児重症型血友病に対する定期補充療法研究一補充療法開始時における関節症の画像評価. 第52回日本小児血液学会総会 2010.
 - 55) 池田裕隆, 橋川薫, 中島康雄, 笹生豊. 環椎後頭骨癒合・歯突起骨に合併した歯突起後方偽腫瘍の1例. 第22回骨軟部放射線研究会 2011.
 - 56) 小林泰之. 無症候性心臓病変を捉える ～進歩するCT・MRIテクノロジーへの期待～. 第21回日本心血管画像動態学会

- 2011.
- 57) 印牧義英. FDG-PET Mammography. SMMERT～FDG-PET Mammography～ 2011.
- 58) 加藤洋, 小川善久, 濱口真吾, 吉松美佐子, 藤川あつ子, 池田裕隆, 滝澤謙治, 中島康雄. 一時的な大動脈フィルター留置後に大きな下大静脈血栓を生じた一例. 第20回東京血管外科画像診断治療研究会 2011.
- 59) 小川善久, 八木橋国博, 加藤洋, 藤川あつ子, 濱口真吾, 池田裕隆, 滝澤謙治, 中島康雄, 石山めぐみ, 田村みどり, 永田徳一郎, 近田正英. 一時的埋め込み型 IVC フィルターにより心タンポナーデとなった1症例. 第20回東京血管外科画像診断治療研究会 2011.
- 60) 加藤洋, 滝澤謙治, 濱口真吾, 小川善久, 吉松美佐子, 藤川あつ子, 小池祐哉, 中島康雄. 白蓋骨転移に対する経皮的骨形成術の経験. 第四回 脊椎 IVR フォーラム 2011.
- 61) 吉松美佐子, 滝澤謙治, 中島康雄, 小林信雄, 沼口雄治, 齋田幸久. 保健認可をうけて我々のなすべきこと～施設基準、教育プログラム等～. 第四回 脊椎 IVR フォーラム 2011.
- 62) 松岡伸. Chronic Obstructive Pulmonary Disease. 第三回呼吸機能イメージング研究会学術集会／第五回肺機能イメージング国際ワークショップ 2011.
- 63) 中島康雄. 救急の画像診断: 症例検討. 第20回那須画像セミナー 2011.
- 64) 中島康雄, 奥田逸子. CT 時代の胸部単純写真の役割と読影の基本. 川崎市放射線科医会講演会(川崎市) 2011.
- 65) 森本毅. CTC の現状と今後の展望～医師・診療放射線技師の立場から～. 第23回日本消化器画像診断情報研究会 2011.
- 66) 中島康雄. 演題: デジタルトモシンセシスの使用経験(座長). 「20回日本乳癌画像研究会ランチョンセミナー」 2011.
- 67) 上島巖, 濱口真吾, 中島康雄, 工藤浩也, 中野透, 宮野佐哲, 力石辰也. 腎盂尿管腫瘍との鑑別が困難であった尿路カンジダ症の一例. 第33回泌尿器画像診断研究会 2011.
- 68) 橘川薫. 講演. 第23回徳島県放射線科医会 2010.
- 69) 秋山唯, 仁木久照, 平野貴章, 岡田洋和, 橘川薫, 別府諸兄. 腓骨筋腱脱臼に対する高分解能 MRI の有用性. 第35回日本足の外科学術会 2010.
- 70) 平野貴章, 仁木久照, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄, 橘川薫. リスフラン関節 subtle injury の MRI 所見. 第35回日本足の外科学術会 2010.
- 71) 平野貴章, 仁木久照, 岡田洋和, 秋山唯, 別府諸兄, 橘川薫. Freiberg 病における MRI 所見の検討. 第35回日本足の外科学術会 2010.
- 72) 橘川薫. 骨軟部「足関節・足趾」. 第46回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2010.

② 国際学会

- 1) Yoshiko Kurihara, Takuya Suzuki, Yasuyuki Kurihara, Yasuo Nakajima. Perineural Spread in Head and Neck Malignancies: Key Radiological Findings and Pitfalls. IFHNOS2010 2010.
- 2) Nakamura H, Nakaji S, Tazawa Y, Nakajima, Y. Mimics of Middle Cerebral Artery Infarction: Spectrum of Diseases, Review of Misinterpreted Cases. ASNR2010 2010.
- 3) Y Koike, K Takizawa, Y Ogawa, A Mutou, I Uejima, M Yoshimatsu, K Yagihashi, Y Nakajima. Clinical Efficacy of Transcatheter Arterial Embolization(Tag) For Bone Metastases.

GEST2010 2010.

- 4) Shinya Tajima, Ichiro Maeda, Yoshihide Kanemaki, Hiroshi Shimamoto, Hiroko Okazaki, Keiko Kishimoto, Yasuo Nakajima, Shinobu Tatsunami, Mamoru Fukuda, Masayuki Takagi. Evaluation of CD56 and CD57 Immunostainings for Discrimination between Endocrine Ductal Carcinoma in Situ and Intraductal Papilloma. Bit's 3rd Annual World Cancer Congress 2010.
- 5) Naoki Okura, Junichi Matsumoto, Takayuki Hattori, Yoshiaki Ichinose, Shinji Kuwabara, Yosuke Matsumura, Hiroshi Kato, Kenji Takizawa, Yasuo Nakajima. Emergency Complications; Diagnosis and Therapeutic Strategy. ASER2010 2010.
- 6) 中島康雄. 救急 IVR について. 蘇州大学付属第一医院記念講演会 2010.
- 7) Yasuyuki Kobayashi, Keisuke Kida, Kihei Yoneyama, Yoshihiro Akashi, Kengo Suzuki, Yasuo Nakajima. Principle, Techniques, and Clinical Applications of Global and Regional Cardiac Function Analysis by Using US, MRI, and CT: Routine to Cutting Edge. RSNA2010 2010.
- 8) Tsuyoshi Morimoto, Mutsuko Kondo, Ayako Muto, Yoshiko Kurihara, Yasuo Nakajima, Tsukasa Shimamura. Three-dimensional Preoperative Simulation Using CT Colonography for Laparoscopic Colorectal Surgery: What the Surgeon Wants to Know. RSNA2010 2010.
- 9) Yukihiisa Ogawa, Kenji Takizawa, Masakatsu Funakubo, Kunihiro Yagihashi, Yuya Koike, Misako Yoshimatsu, Iwao Uejima, Ayako Muto, Yasuo Nakajima, M Tadokoro. A Histological Study in Animal Models after Embolization of the Mesenteric Artery with N-butyl-2-cyanocrylate. GEST2010 2010.
- 10) Kunihiro Yagihashi. Percutaneous Biopsy - Thoracic. 8th BCR2010 2010.
- 11) Yasuo Nakajima. Critical care imaging-Portable chest and life supporting devices. BCR2010「8th Balkan Congress of Radiology」 2010.

③ その他

- 1) 橘川薫. 「骨撮影」骨軟部領域の画像診断. 平成22年度神奈川県診療放射線技術講習会 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 3 | |
| 論文 | 原著 | 2 | 3 |
| | 総説または解説 | 37 | 4 |
| | 症例報告 | 1 | |
| | その他 | 2 | |
| 学会発表 | 国内学会 | 72 | |
| | 国際学会 | 11 | |
| | その他 | 1 | |

麻酔学

著書

- 1) 日野博文. Advanced Course 手術室におけるアナフィラキシー. 救急・集中治療 2010;22(7-8):959-966.
- 2) 舘田武志, 坂本三樹. 多発外傷. 麻酔科研修ノート 2010;(:547-549.
- 3) 福島祐二. レバブピバカインによる術中硬膜外麻酔Ⅱ. レボブピバカインの基礎と臨床 2010;:103-112.
- 4) 山中郁男, 永納和子. 医師国家試験解説(麻酔科). サクセス 2011 医師国試問題解説マイナー 2010.
- 5) 山中郁男, 永納和子. 医師国家試験解説. サクセス 2012 医師国試問題解説マイナー 2011.
- 6) 舘田武志. 麻酔薬. メディックイックブック 患者さんによくわかる薬の説明 2011;:779-789.
- 7) 日野博文, 舘田武志. 第1章Ⅰ 術前外来(評価)の目的と実践. 周術期管理チームテキスト 2010 2010;3-7.
- 8) 舘田武志. 第1章Ⅱ 術前の検査. 周術期管理チームテキスト 2010 2010;8-14.
- 9) 田尻治. 第1章Ⅲ 気道確保困難の予測. 周術期管理チームテキスト 2010 2010;15-17.
- 10) 舘田武志. 第1章Ⅳ 麻酔のリスクの説明と同意. 周術期管理チームテキスト 2010 2010;18-22.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 西木戸修, 岡本健一郎, 増田豊, 佐藤祐, 樋口比登実, 舘田武志. 帯状疱疹に対する神経ブロックの治療効果;早期神経ブロック療法の有効性. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2011;38(4):249-255.

② 総説又は症例解説

- 1) 田尻治, 鈴木沙理, 申美和, 王子盛嘉, 横塚牧人, 佐藤祐, 内村彩子, 高林令奈, 篠田麻衣子, 進藤由樹, 升森泰, 森田さおり, 安藤由美, 矢郷泰子, 土居朗子, 椋本知佐子, 西木戸修, 矢崎泰司, 伊藤宏之, 赤坂徳子, 福島祐二, 岡田吉史, 坂本三樹, 日野博文, 永納和子, 舘田武志. 覚醒時興奮. 臨床麻酔 2011;35(2):249-256.
- 2) 舘田武志. 臨床医学教育の現状と課題:麻酔学. 聖マリアンナ医科大学雑誌 2010;38(特集増刊):59-63.
- 3) 浅霧和子, 日野博文, 峯下昌道. 画像検査6:呼吸器ケア 2010;8(4):377-383.
- 4) 田尻治, 舘田武志. 症例検討「ショック」との遭遇外傷, 出血性ショック:隠された病変に要注意. Lisa 2010;17(11):1102-1107.

③ 症例報告

- 1) 高林令奈, 田尻治, 伊藤宏之, 矢郷泰子. 抜管後の急激な高血圧から肺水腫を来した 1 症例. 麻酔 2010;59(12):1487-1489.
- 2) 篠田麻衣子, 日野博文, 高林令奈, 土居朗子, 矢崎泰司, 舘田武志. Brugada 症候群に肥大型心筋症を合併した患者の麻酔経験. 麻酔と蘇生 2010;46(4):65-68.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Uchida Kazuhide, Nishikido Osamu, Hino Hirofumi, Tateda Takeshi. Influences of quincke, huber, sprotte, and whitacre point spinal needles on spread direction of the injectates, hyperbaric and isobaric bupivacaine, into artificial cerebrospinal fluid. Journal of St.Marianna University 2010;1(1):1-6.
- 2) Nishikido Osamu, Uchida Kazuhide, Tateda Takeshi. Accuracy and precision of the New TOP-5510 syringe pump. Journal of St.Marianna University 2010;1(1):51-52.

② 総説又は症例解説

- 1) Kazuhide Uchida, Osamu Tajiri, Hirofumi Hino, Takeshi Tateda. Incidence of Post-dural Puncture Headache and Risk Factors for Its Occurrence. Journal of St.Marianna University 2010;1(2):57-64.

学会発表

① 国内学会

- 1) 高林令奈, 田尻治, 矢郷泰子, 伊藤宏之, 舘田武志. 脊髄くも膜下麻酔の帝王切開中に完全房室ブロックを来した 1 症例. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 2) 升森泰, 申美和, 佐藤祐, 西木戸修, 安藤由美, 土居朗子, 坂本三樹, 舘田武志. パルスオキシメーターにより異常酸素飽和度を認めた不安定 Hb 症 1 例. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 3) 申美和, 赤坂徳子, 横塚牧人, 椋本知佐子, 黒屋進吾, 鈴木沙理, 日野博文, 舘田武志. 二期的に手術を施行した頸背部の巨大腫瘍に対する麻酔経験. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 4) 福島祐二, 森田さおり, 進藤由樹, 篠田麻衣子, 永納和子, 舘田武志. ロクロニウムの作用遷延がみられた熱傷患者の一例. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 5) 篠田麻衣子, 日野博文, 進藤由樹, 森田さおり, 黒屋進吾, 福島祐二, 永納和子, 舘田武志. Osler-Rendu-Weber 病患者の腹腔鏡下手術の麻酔経験. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 6) 王子盛嘉, 坂本三樹, 升森泰, 安藤由美, 佐藤祐, 高林令奈, 椋本知佐子, 舘田武志. 腎移植ドナー麻酔管理における術前輸液有用性の検討. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 7) 黒屋進吾, 高林令奈, 鈴木沙理, 王子盛嘉, 土居朗子, 西木戸修, 日野博文, 舘田武志. HTLV-1 関連脊髄症(HAM)合併患者の麻酔経験. 第 30 回日本臨床麻酔学会 2010.
- 8) 進藤由樹, 永納和子, 森田さおり, 篠田麻衣子, 福島祐二. 持続硬膜外カテーテル挿入後に判明した脊髄動静脈瘻の 1 例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部 第 50 回合同学術集会 2010.
- 9) 升森泰, 申美和, 横塚牧人, 赤坂徳子, 日野博文, 舘田武志. 声門直下気管ステント留置術中の緊急気道確保を要した症例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部 第 50 回合同学術集会 2010.
- 10) 鈴木沙理, 日野博文, 王子盛嘉, 土居朗子, 椋本知佐子, 舘田武志. 術前評価では発見できなかった下顎隆起により挿管困難を来した 1 例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支

麻酔学

部第 50 回合同学会 2010.

- 11) 横塚牧人, 坂本三樹, 高林令奈, 安藤由美, 舘田武志. 福山型先天性筋ジストロフィー患児の腹腔鏡下噴門形成術 (Nissen) および胃ろう造設術の麻酔管理. 第 16 回日本小児麻酔学会 2010.
- 12) 安藤由美, 坂本三樹, 横塚牧人, 高林令奈, 舘田武志. 虫垂炎穿孔により腹部コンパートメント症候群を来した 1 症例. 第 16 回小児麻酔学会 2010.
- 13) 佐藤祐, 坂本三樹, 安藤由美, 篠田麻衣子, 進藤由樹, 横塚牧人, 舘田武志. 開心術中硬膜下血腫を発症した 1 症例. 第 15 回日本心臓血管麻酔学会 2010.
- 14) 坂本三樹, 佐藤祐, 安藤由美, 横塚牧人, 舘田武志, 後藤晃一郎. 巨大冠動脈瘤を伴う冠動脈閉鎖術および再冠動脈瘤切除術の麻酔経験-TEE の評価を含めて-. 第 15 回日本心臓血管麻酔学会 2010.
- 15) 田尻治, 伊藤宏之, 進藤由樹, 矢郷泰子, 舘田武志, 田尻美香. Pressure control ventilation 中の tidal volume 変化. 第 57 回日本麻酔科学会 2010.
- 16) 篠田麻衣子, 坂本三樹, 矢崎泰司, 赤坂徳子, 申美和, 舘田武志. 婦人科手術におけるフォンダパリヌクス投与と硬膜外カテーテル抜去時間に関する検討. 第 57 回日本麻酔科学会 2010.
- 17) 進藤由樹, 田尻治, 伊藤宏之, 矢郷泰子, 舘田武志. 抗血小板薬を継続して行った大腿骨頸部骨折手術に対する周術期管理の検討. 第 57 回日本麻酔科学会 2010.
- 18) 安藤由美, 福島祐二, 進藤由樹, 森田さおり, 高林令奈, 永納和子. 帝王切開術時の脊髄くも膜下麻酔後低血圧に対する昇圧剤投与の胎児臍帯動脈血への影響. 第 57 回日本麻酔科学会 2010.
- 19) 佐藤祐, 西木戸修, 笹野淳, 椋本知佐子, 土居朗子, 舘田武志. 抵抗消失法専用注射器の検討-注射筒にかかる摩擦力の測定-. 第 57 回日本麻酔科学会 2010.
- 20) 瀬尾晃平, 坂本三樹, 赤坂徳子, 鈴木沙理, 申美和, 王子盛嘉, 横塚牧人, 高林令奈, 安藤由美, 椋本知佐子, 笹野淳, 西木戸修, 日野博文, 舘田武志. 仙骨前方髄膜瘤に対し, 帝王切開術を全身麻酔管理にて行った 1 症例. 聖マリアンナ医科大学医学部 2010.
- 21) 佐藤弥生, 安藤由美, 西木戸修, 鈴木沙理, 申美和, 王子盛嘉, 横塚牧人, 赤坂徳子, 坂本三樹, 舘田武志. 脊椎くも膜下麻酔後頭痛を契機に CT にて発見された先天性中脳水道狭窄症の一例. 第 42 回神奈川麻酔医会 2011.
- 22) 西木戸修, 舘田武志, 岡本健一郎, 増田豊, 樋口比登実. 帯状疱疹に対する神経ブロックの治療効果; 早期神経ブロック療法の有効性. 第 25 回日本ペインクリニック学会東京地方会 2011.
- 23) 日野博文, 三浦亜里彩, 近和佳子. 敗血症ラットモデルにおける神経伝達検査とアンチトロンビン 3 の改善効果. 第 38 回日本集中治療医学会 2011.
- 24) 日野博文, 三浦亜里彩, 近和佳子. Critical illness polyneuropathy の発生機序の解明—敗血症ラットモデルにおける神経伝達検査—. 第 32 回日本呼吸療法医学会学術総会 2010.

② 国際学会

- 1) Masumori Yasushi, Tateda Takeshi, Sakaoto Miki, Yokozuka Makito, Oji Moriyoshi. Anesthetic management for tracheoplasty of the bifurcational tracheal tumor under total

extracorporeal circulation. The 13th AACA 2010.

- 2) Nishikido Osamu, Okamoto Kenichiro, Masuda Yutaka, Tateda Takeshi. The effects of nerve blocks for severe and elderly herpes zoster :earlier performance creates better outcome. 13th World Congress on Pain 2010.
- 3) Hirofumi Hino. Abnormal Nerve Conduction in Rat Sciatic Nerves induced by Lipopolysaccharide and the Protective Effects of Danaparoid. Cretical Care Congress 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 10 | |
| 論文 | 原著 | 1 | 2 |
| | 総説または解説 | 4 | 1 |
| | 症例報告 | 2 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 24 | |
| | 国際学会 | 3 | |
| | その他 | | |

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 吉田徹, 服部潤, 神應知道, 片岡裕一, 上條吉人, 今井寛, 北原孝雄, 相馬一玄. 救命救急センター三次搬送患者の来院時バイオマーカー (B 型ナトリウム利尿ペプチドとトロポニン I, D-dimer) による予後予測. ICU と CCU 2011; 35(1): 77-83.

② 総説又は症例解説

- 1) 高松由佳, 柳井真知, 藤谷茂樹. 治療のためのカギ【治療ストラテジー】敗血症の有効な治療はステロイドでしたっけ? やっばり EGDt!. medicina 2010; 47(5): 826-830.
- 2) 入江仁, 箕輪良行. 当直における患者・家族との接し方 レイプ(強姦)被害女性への接し方と対応. 消化器外科 2010; 33(5): 983-985.
- 3) 児玉貴光, 藤谷茂樹, 川本英嗣, 中川雅史, 讚井將満, 安宅一晃. 集中治療と MET (Medical Emergency Team) / RRT (Rapid Response Team) MET/RRT のメンバー構成とトレーニングの実践. ICU と CCU 2010; 34(6): 439-446.
- 4) 箕輪良行. ATOM コース開催はわが国の外傷診療に妥当であるか?. 日本外科学会雑誌 2010; 111(臨増 3): 25-27.
- 5) 若竹春明, 藤谷茂樹. 種々の臨床現場における電解質異常を知っておこう ICU で多い酸塩基異常とその対応. medicina 2010; 47(6): 1004-1008.
- 6) 児玉貴光, 藤谷茂樹, 讚井將満, 安宅一晃. 集中治療の基礎を学びたい外科医へ “FCCS” による集中治療の標準化と普及. Medical Torch 2010; 6(1): 26-27.
- 7) 根本隆章, 松本純一, 藤谷茂樹. 呼吸療法上しばしば問題になる疾患・病態(胸部 X 線写真および CT 画像)アスペルギルス真菌による感染症. 呼吸器ケア 2010; 夏季増刊: 274-279.
- 8) 矢田哲康, 森實雅司, 藤谷茂樹. CRRT のトラブルシューティング 臨床工学技士・看護師の立場から. INTENSIVIST 2010; 2(2): 347-368.
- 9) 尾崎孝平, 関一平. 見逃せない陰影変化・基本的な異常陰影 陽圧人工呼吸の影響 気腫性の変化. 呼吸器ケア 2010; 夏季増刊: 193-196.
- 10) 田中拓, 箕輪良行. 【救急の現場において医療行為以外で留意すべきこと】症候・手技以外に知っておきたいこと. レジデントノート 2010; 12(10): 221-229.
- 11) 児玉貴光, 榊井良裕, 箕輪良行. アナフィラキシーの概念. 救急・集中治療 2010; 22(7-8): 792-796.
- 12) 児玉貴光, 藤谷茂樹. 院内急変対応システム Rapid Response System (RRS) とは何か?. LiSA 2010; 17(10): 980-981.
- 13) 児玉貴光, 箕輪良行. 骨盤骨折③. Medical Torch 2010; 6(2): 40-43.
- 14) 山田広之, 藤谷茂樹. 血液・凝固に関する評価と治療方針. レジデントノート 2010; 12(11): 1962-1970.
- 15) 和田崇文. 人工呼吸管理中の安全管理 安全管理の観点からみたスタッフ間の意思疎通の技術. 救急医学 2010; 34(10): 1382-1386.
- 16) 若竹春明, 藤谷茂樹. 院内感染対策総論. 臨床麻酔 2011; 35(2): 171-183.
- 17) 箕輪良行. 総合内科医が救急外来でみるめまいへのアプローチ. 日本内科学会誌 2011; 100(3): 743-749.

③ 症例報告

- 1) 丸山泰貴, 若竹春明, 児玉貴光, 石川淳哉, 藤谷茂樹, 平泰彦. カルシウムブロッカーの大量内服によって遅発性に中毒症状を呈した 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2010; 31: 38-39.
- 2) 若竹春明, 児玉貴光, 丸山泰貴, 入江仁, 川本英嗣, 山田広之, 石川淳哉, 吉田徹, 藤谷茂樹, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦. 新型インフルエンザによる重症呼吸不全の診療に関する問題点. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2010; 31: 68-69.
- 3) 入江仁, 児玉貴光, 丸山泰貴, 若竹春明, 和田崇文, 平泰彦. Idiopathic Spontaneous Hemothorax の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2010; 31: 96-97.
- 4) 吉田徹, 児玉貴光, 下澤信彦, 田中拓, 和田崇文, 今井寛, 箕輪良行, 平泰彦, 北原孝雄, 相馬一玄. 救急救命士による末梢路確保を念頭においたマンシュート方式による新型駆血帯の開発(第 1 報). 日本救急医学会関東地方会雑誌 2010; 31: 158-159.
- 5) 山下寛高, 松本純一, 岡本恭子, 八木橋国博, 滝澤謙治, 中島康雄. 中心静脈カテーテル挿入・留置に伴う合併症の 1 例. Japanese Journal of Radiology 2010; 28(Suppl.): 19.

④ その他

- 1) 鈴木衛, 嶋原俊太郎, 箕輪良行. 【座談会】救急疾患としてのめまい. MEDICO 2011; 41(5): 164, 169-178.

学術論文 [英文]

③ 症例報告

- 1) Masui Yoshihiro, Morisawa Kenichirou, Yanai Machi, Koyama Yasuyuki, Shimizu Misao, Takamatsu Yuka, Maruyama Yasuki, Iwasaki Kenichi, Fujitani Shigeki, Akiko Hosoyama, Seki Ippei, Ikeda Katsuki, Taira Yasuh. Traumatic Diaphragmatic Injury—Our experience with 7 cases—. Journal of St. Marianna University 2010; 1(1): 43-49.

学会発表

① 国内学会

- 1) 児玉貴光, 藤谷茂樹, 讚井將満, 安宅一晃. 院内急変対応の教育～FCCS の有用性について～. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 2) 神保大士, 児玉貴光, 小原秀樹, 藤野智子, 本館教子, 和田崇文. DMAT 検討部会による災害医療教育の効果. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 3) 漆山幸江, 児玉貴光, 小原秀樹, 神保大士, 藤野智子, 本館教子, 和田崇文. 災害医療における薬剤師の役割について. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 4) 若竹春明, 井澤純一, 徳田安春, 児玉貴光, 藤谷茂樹, 平泰彦. 悪性症候群の長期予後評価について. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 5) 高松由佳, 吉田徹, 山田広之, 若竹春明, 児玉貴光, 下澤信彦, 藤谷茂樹, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦. 抗凝固療法のみで PCPS より離脱し得た急性肺血栓塞栓症による心肺停止の 1 例. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 6) 川本英嗣, 児玉貴光, 藤谷茂樹. Medical Emergency Team

- (MET)構成メンバーに関する看護師の意識調査. 第 13 回日本臨床救急医学会 2010.
- 7) 鹿志村剛, 小松弘嗣, 古屋利行, 森田典子, 細山明子, 平泰彦. ラットを用いた一酸化炭素中毒モデルの検討. 第 10 回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会 2010.
 - 8) 森克哉, 松本純一, 児玉貴光, 山下寛高, 船窪正勝, 箕輪良行, 平泰彦, 服部貴行, 小井土雄一. 重症顔面外傷における診療標準化の試み. 第 24 回日本外傷学会 2010.
 - 9) 平泰彦, 森澤健一郎, 柳井真知, 藤谷茂樹. PICCO の有用性と問題点. 第 35 回日本外科系連合学会 2010.
 - 10) 松本純一, 服部貴行, 山下寛高, 船窪正勝, 平泰彦, 箕輪良行, 中島康雄. 外傷センターには機能した画像診断/IVR 支援体制が必要である. 第 24 回日本外傷学会 2010.
 - 11) 宮崎国久, 箕輪良行. ATOM(advanced trauma operative management)course の日本開催について. 第 110 回日本外科学会 2010.
 - 12) 箕輪良行. 外傷外科医をいかに育成すべきか ATOM コース開催はわが国の外傷診療に妥当であるか?. 第 110 回日本外科学会 2010.
 - 13) 児玉貴光, 川本英嗣, 箕輪良行. Rapid Response System 導入の利点. 第 1 回日本プライマリ・ケア連合学会 2010.
 - 14) 丸山泰貴, 若竹春明, 児玉貴光, 川本英嗣, 田中拓. 新型インフルエンザにおける診療上の留意点. 第 1 回日本プライマリ・ケア連合学会 2010.
 - 15) 川本英嗣, 児玉貴光, 井上浩子, 竜トシ子, 藤谷茂樹. Rapid Response System(RRS)に関する医療従事者の意識調査. 第 59 回聖マリアンナ医科大学医学部 2010.
 - 16) 若竹春明, 藤谷茂樹, 平泰彦. 救命救急センターにおける MRSA 保菌者の疫学調査. 第 6 回救命耐性菌感染症研究会 2010.
 - 17) 吉田徹, 和田崇文, 若竹春明, 山田広之, 藤谷茂樹, 箕輪良行, 平泰彦. 経皮的心肺補助(PCPS)により救命し予後良好であった偶発性低体温症による心肺停止の一例. 第 19 回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 2010.
 - 18) 渡邊周子, 林宏行, 松崎貴志, 齋藤秋雄, 中沢恒太, 柳井真知, 森澤健一郎, 藤谷茂樹, 平泰彦. 救命センターにおけるテイクプラニン(TEIC)投与 48 時間後の目標血中濃度を 15 μ g/ml に設定した投与设计. 第 58 回日本化学療法学会 2010.
 - 19) 藤谷茂樹, 山田広之, 平泰彦. Sepsis up-to-date 下部消化管穿孔症例による汎発性腹膜炎での検討. 第 25 回日本 Shock 学会 2010.
 - 20) 安宅一晃, 藤谷茂樹, 児玉貴光, 古川力丸, 嶋岡英輝, 西信一. 救急・集中治療医学教育における FCCS コースの重要性と可能性. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 21) 児玉貴光, 下澤信彦, 吉田徹, 田中拓, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦, 明石勝也. 川崎市におけるサポート救急の実態. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 22) 田中拓, 松本純一, 船窪正勝, 山下寛高, 小山泰明, 児玉貴光, 吉田徹, 下澤信彦, 箕輪良行, 平泰彦, 明石勝也. 救急外来診療における CT 検査の有用性に関する検討. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 23) 吉田徹, 下澤信彦, 児玉貴光, 田中拓, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦. 来院時心肺停止例(CPAOA)への経皮的心肺補助(PCPS)施行決断の要因. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 24) 梨木洋, 児玉貴光, 森澤健一郎, 箕輪良行, 平泰彦, 明石勝也. 遺伝性血管浮腫に対する救急医療システムの構築について. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 25) 山下寛高, 松本純一, 船窪正勝, 中島康雄, 箕輪良行, 平泰彦. 外傷診療における画像診断・IVR の役割についての提言. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 26) 小山泰明, 箕輪良行, 和田崇文, 藤谷茂樹, 田中拓, 山田明生, 榊井良裕, 境野高資. 6 年間の経験から救急医学会 ER 後期研修プログラムを検証する. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 27) 池田勝紀, 金弘, 藤崎宣友, 有馬孝博, 井上哲也, 境田康二, 葉丸洋秋, 箕輪良行, 平泰彦. 船橋市ドクターカーにおける不搬送症例の検討. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 28) 久志本成樹, 平泰彦, 北澤康秀, 奥地一夫, 坂本照夫, 石倉宏恭. 急性肺水腫の定量的評価による病態解析に関する多施設共同前向き試験:中間解析結果. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 29) 若竹春明, 徳田安春, 井澤純一, 藤谷茂樹, 平泰彦. 悪性症候群の長期予後評価の検討. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 30) 吉田徹, 片岡祐一, 上條吉人, 今井寛, 北原孝雄, 相馬一玄. 来院時血液マーカーによる重症救急患者の予後予測. 第 38 回日本救急医学会 2010.
 - 31) 川本英嗣, 児玉貴光, 藤谷茂樹, 平泰彦. イヌサフラン経口摂取による中毒の 1 例. 第 4 回横浜急性中毒治療研究会 2010.
 - 32) 藤谷茂樹. 集中治療分野におけるシュミレーショントレーニング. 第 45 回山陰麻酔学会 2010.
 - 33) 平泰彦. ショックの新しい定義. 第 60 回聖マリアンナ医科大学医学部 2010.
 - 34) 鈴木寛俊, 柳井真知, 萩原悠太, 平泰彦, 榊井良裕, 矢崎俊二, 藤田雄一, 森澤健一郎, 若竹春明, 森克哉, 土田興生, 今井健, 五味渕智香, 廣瀬雅宣. 2 型糖尿病にけいれんを合併しミトコンドリア脳筋症(MELAS)を疑った 1 例. 第 61 回日本救急医学会関東地方会 2011.
 - 35) 五味渕智香, 小山泰明, 柳井真知, 森澤健一郎, 榊井良裕, 平泰彦. 縦隔炎を来した A 群 β 溶連菌性咽頭炎の 2 例. 第 61 回日本救急医学会関東地方会 2011.
 - 36) 児玉貴光, 川本英嗣, 藤谷茂樹, 下澤信彦, 平泰彦. Rapid Response System 導入に関する問題点について. 第 61 回日本救急医学会関東地方会 2011.
 - 37) 吉田徹, 藤井智子, 小山泰明, 高松由佳, 児玉貴光, 下澤信彦, 田中拓, 藤谷茂樹, 和田崇文, 箕輪良行, 平泰彦. 経皮的心肺補助(PCPS)を使用して救命し得た肥大型心筋症によると考えられる心肺停止の一例. 第 61 回日本救急医学会関東地方会 2011.
 - 38) 芳賀吉輝, 堀博志, 若竹春明, 川本英嗣, 蜂須賀智, 村上万里子, 川岸利臣, 山田広之, 柳井真知, 森澤健一郎, 榊井良裕. 早期の血漿交換が著効した血栓性血小板減少性紫斑病の一例. 第 61 回日本救急医学会関東地方会 2011.
 - 39) 松本純一, 船窪正勝, 服部貴行, 山下寛高, 一ノ瀬嘉明, 平泰彦. 尿路外傷の考え方. 第 46 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2010.
 - 40) 五味渕智香, 吉田徹, 高松由佳, 丸山泰貴, 山田広之, 児玉貴光, 下澤信彦, 藤谷茂樹, 和田崇文, 平泰彦. ICU 経過中感染性心内膜炎が判明した 2 例の検討. 第 38 回日本集中治療医学会 2011.
 - 41) 児玉京子, 児玉貴光, 京谷裕佳, 佐々木早苗, 持田麻矢, 小原秀樹, 藤野智子, 川本英嗣, 藤谷茂樹, 平泰彦. Medical Emergency Team(MET)メンバーである看護師の意識調査. 第

救急医学

38 回日本集中治療医学会 2011.

42) 児玉貴光. DMAT による病院支援訓練から得られた課題. 第 16 回日本集団災害医学会 2011.

43) 児玉貴光, 安宅一晃, 藤谷茂樹, 川本英嗣, 中川雅史. Fundamental Critical Care Support におけるシミュレーション教育. 第 6 回日本医学シミュレーション学会 2011.

② 国際学会

1) Kodama Takamitsu, Fujitani Shigeki, Kawamoto Eiji, Nakagawa Masashi, Sanui Masamitsu, Atagi Kazuaki. A Newly Introduced Rapid Response System Training Program in Japan. The 6th International Symposium on Rapid Response and Medical Emergency Teams conference 2010.

2) Kodama Takamitsu, Mori Katsuya, Matsumoto Junichi, Fujitani Shigeki. Establishment of Crisis Control System by the Security Guard in Our Emergency Department. 13th International Conference on Emergency Medicine 2010.

3) Kawamoto Eiji, Kodama Takamitsu, Fujitani Shigeki, Nakagawa Masashi, Sanui Masamitsu, Atagi Kazuaki. An Educational Program for Medical Emergency Team: Impact of Using High-Fidelity Mannequin (Slim-Man®3G, Laerdal). 4th Japanese-Korean Joint Session of 38th Annual Meeting of JAAM 2010.

4) Kodama Takamitsu, Fujitani Shigeki, Minowa Yoshiyuki, Shimozawa Nobuhiko, Wada Takafumi, Taira Yasuhiko, Akashi Katsuya. Transition of the Number of Ambulance Dispatch and Operation Time in Kawasaki-City Fire Department, Kanagawa Prefecture. 4th Japanese-Korean Joint Session of 38th Annual Meeting of JAAM 2010.

5) Fujii Tomoko, Fujitani Shigeki, Wakatake Haruaki, Yanai Machi, Taira Yasuhiko. Decision Making to Initiate Antibiotics for Aspiration Pneumonia Using Procalcitonin. 48th Annual Meeting of the Infectious Diseases Society of America (IDSA) 2010.

6) Fujii Tomoko, Namba Yoshitomo, Fujitani Shigeki, Sasaki Jun, Narihara Kentarou, Taira Yasuhiko. Low-Intensity CRRT May Lead to Better Outcomes in Septic AKI in ICU. Society of Critical Care Medicine's 40th Critical Care Congress 2011.

7) Atagi Kazuaki, Fujitani Shigeki, Kodama Takamitsu, Nishi Shinichi, Shimaka Hideki. Importance and Potential of the Fundamental Critical Care Support (FCCS) in Japan. Society of Critical Care Medicine's 40th Critical Care Congress 2011.

8) Wakatake Haruaki, Fujitani Shigeki, Taira Yasuhiko. MRSA Surveillance Study Using Standard Nasal Swab Culture and MRSA PCR Assay at an Emergency Department to an Intensive Care Unit in Japan. Society of Critical Care Medicine's 40th Critical Care Congress 2011.

9) Kodama Takamitsu. Educational effects of fundamental critical care support in Japan. International Critical Care Congress 2011.

③ その他

1) 児玉貴光. 急変時の迅速対応 (有害事象の早期発見と緊急対応). 医療安全全国フォーラム 2010.

2) 大橋仁志, 平泰彦. 敗血症性ショックにおける乳酸とビルビン酸の持続測定の検討. 第 15 回エンドトキシン血症救命治療研究会 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | 1 | |
| | 総説または解説 | 17 | |
| | 症例報告 | 5 | 1 |
| | その他 | 1 | |
| 学会発表 | 国内学会 | 43 | |
| | 国際学会 | 9 | |
| | その他 | 2 | |

臨床腫瘍学

著書

- 1) 堀江良樹, 山崎健太郎, 朴成和, 船越太郎, 濱内諭, 谷口浩也, 對馬隆浩, 戸高明子, 町田望, 多久佳成, 安井博史, 小野澤祐輔. 3剤(5-FU, CPT-11, OHP)不応切除不能・再発大腸癌に対するセツキシマブ療法の治療成績. 日本癌治療学会誌 2010;45(2):814.
- 2) 對馬隆浩, 安井博史, 朴成和, 山崎健太郎, 小野澤祐輔, 多久佳成, 福富晃, 戸高明子, 町田望, 船越太郎, 谷口浩也, 濱内諭, 堀江良樹. 胃癌術後補助化学療法不応と初回 S-1 不応進行胃癌に対するCPT-11+CDDP療法の治療成績. 日本癌治療学会誌 2010;45(2):614.
- 3) 橋本淳, 中島貴子. 患者さんへの説明・インフォームドコンセントの基本 1. あらゆる病態・症例に対応できる 消化器がん化学療法の実践 2010;:14-18.
- 4) 秋吉宏平, 中島貴子. 高度な通過障害を有する食道がん. あらゆる病態・症例に対応できる 消化器がん化学療法の実践 2010;:103-108.
- 5) 橋本淳, 中島貴子. 初発時から食道気管(支)瘻をきたしている食道がん. あらゆる病態・症例に対応できる 消化器がん化学療法の実践 2010;:114-115.
- 6) 秋吉宏平, 中島貴子. 化学放射線治療中、瘻孔を併発した症例. あらゆる病態・症例に対応できる 消化器がん化学療法の実践 2010;:246-248.
- 7) 中島貴子. うまく続ける 消化管がん化学療法. 消化器BOOK6 2011;:34-39.
- 8) 中島貴子, 朴成和. 臨床医が感じるコンパニオン診断薬の有用性～大腸がん治療での遺伝子検査、抗がん剤治療を例として～. 個別化医療の世界的動向を踏まえた開発・事業戦略 2011;:55-64.
- 9) Takako E Nakajima, Yasuhide Yamada. Gastric Cancer Metastasis. CANCER METASTASIS -Biologic Basis and Therapeutics 2011;:325-332.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 寺島雅典, 坂東悦郎, 徳永正則, 谷澤豊, 川村泰一, 近藤潤也, 杉沢徳彦, 瀧雄介, 大島令子, 茂木陽子, 三木祐一朗, 山川雄士, 幕内梨恵, 網笠祐輔, 金本秀行, 上坂克彦, 安井博史, 朴成和. 【StageIV胃癌における外科治療の有用性】腹腔洗浄細胞診陽性例に対する肉眼的治癒切除の意義. 癌の臨床 2011;56(4):291-295.
- 2) 朴成和. 食道癌の化学放射線療法について-Oncologistの立場から-. 日本気管食道学会会報 2010;61(2):203.

② 総説又は症例解説

- 1) 津田享志, 中島貴子, 朴成和. 大腸癌に対する分子標的療法の現状と問題点. 日本消化器病学会雑誌 2011;108(1):19-23.
- 2) 朴成和. 次代のスタンダードとして期待されるレジメン 現在進行中の試験から. 臨床腫瘍プラクティス 2011;別冊:85-90.
- 3) 河野晶子, 中島貴子. がん診療の考え方・進め方-患者と向きあうための基礎知識「消化器がん患者を診る」. レジデントノート 2010;12(9):1525-1538.
- 4) 岩佐悟, 中島貴子. 【外来癌化学療法の現状と進歩】新規分

子標的薬剤・支持療法の外来導入「シスプラチンを含むレジメン;胃癌」. Pharma Medica 特集 2010;28(6):39-42.

- 5) 中島貴子. レジデントからの Q&A「殺細胞性抗癌剤と分子標的薬の違いについて教えてください」. 胃がん perspective 2010;3(2):118-120.
- 6) 堀江良樹, 多久佳成, 朴成和. 【大腸疾患の臨床 ガイドラインに基づいた最新の実地診療の実際】治療/実地医家が知っておくべき下部消化管疾患の治療の現状と進歩 大腸癌化学療法の実状と進歩. Medical Practice 2010;27(8):1378-1383.
- 7) 杉沢徳彦, 多久佳成, 朴成和. 【今日の未分化胃癌(sig,por)の治療】腹膜播種陽性の未分化胃癌の治療. 外科治療 2010;103(4):365-370.
- 8) 對馬隆浩, 朴成和. 【稀少がん、原発不明がんの臨床】稀少がんの臨床 腹膜偽粘液腫. 腫瘍内科 2010;6(6):533-536.
- 9) 中島貴子. 臨床力を鍛える Case Study: strategy 2. 胃癌を診る・治療する -早期発見から緩 20 和ケアまで 2010;:162-164.

③ 症例報告

- 1) 朴成和. 分子標的薬剤の新展開 大腸がんにおける分子標的薬剤の現状と展開. 日本癌治療学会誌 2010;45(2):313.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Hyodo I, Suzuki H, Takahashi K, Saito Y, Tanaka S, Chiu HM, Kim NK, Li J, Lim R, Villalon A, Boku N. Present status and perspectives of colorectal cancer in Asia:Colorectal Cancer Working Group report in 30th Asia-Pacific Cancer Conference. Jpn J Clin Oncol 2010;40(1):38-43.
- 2) Muro K, Boku N, Shimada Y, Tsuji A, Sameshima S, Baba H, Satoh T, Denda T, Ina K, Nishina T, Yamaguchi K, Takiuchi H, Esaki T, Tokunaga S, Kuwano H, Komatsu Y, Watanabe M, Hyodo I, Morita S, Sugihara K. Irinotecan plus S-1(IRIS)versus fluorouracil and folinic acid plus irinotecan(FOLFIRI)as second-line chemotherapy for metastatic colorectal cancer:a randomised phase 2/3 non-inferiority study(FIRIS study). Lancet Oncol 2010;11(9):853-860.
- 3) shukuya T, Yasui H, Boku N, Onozawa Y, Fukutomi A, Yamazaki K, Taku K, Kojima T, Machida N. Weekly Paclitaxel After Failure of Gemcitabine in Pancreatic Cancer Patients with Malignant Ascites:A Retrospective Study. Jpn J Clin Oncol 2010.
- 4) Hironaka S, Yamazaki K, Taku K, Yokota T, Shitara K, Kojima T, Ueda S, Machida N, Muro K, Boku N. Phase I Study of Docetaxel,Cisplatin and S-1 in Patients with Advanced Gastric Cancer. Jpn J Clin Oncol 2010.
- 5) Doi T, Boku N, Kato K, Komatsu Y, Yamaguchi K, Muro K, Hamamoto Y, Sato A, Koizumi W, Mizunuma N, Takiuchi H. Phase I / II Study of Capecitabine Plus Oxaliplatin(XELOX) Plus Bevacizumab As First-line Therapy in Japanese Patients with Metastatic Colorectal Cancer. Jpn J Clin Oncol 2010;40(10):913-920.
- 6) Bang YJ, Kang YK, Kang WK, Boku N, Chung HC, Chen JS, Doi T, Sun Y, Shen L, Qin S, Ng WT, Tursi JM, Lechuga MJ, Lu DR, Ruiz-Garcia A, Sobrero A. Phase II study of sunitinib as

- second-line treatment for advanced gastric cancer. Invest New Drugs 2010.
- 7) Oshima N, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Tokunaga M, Sugisawa N, Taki Y, Motegi Y, Boku N, Sasaki K, Terashima M. Histological complete response in a case of advanced gastric cancer treated by neo-adjuvant chemotherapy with S-1/CDDP. Gan to Kagaku Ryoho 2010;37(4):697-701.
 - 8) Doi T, Muro K, Boku N, Yamada Y, Nishina T, Takiuchi H, Komatsu Y, Hamamoto Y, Ohno N, Fujita Y, Robson M, Ohtsu A. Multicenter phase II study of everolimus in patients with previously treated metastatic gastric cancer. J Clin Oncol 2010;28(11):1904-1910.
 - 9) Asakura H, Hashimoto T, Zenda S, Harada H, Hirakawa K, Mizumoto M, Furutani K, Hironaka S, Fuji H, Murayama S, Boku N, Nishimura T. Analysis of dose-volume histogram parameters for radiation pneumonitis after definitive concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer. Radiother Oncol 2010;95(2):240-244.
 - 10) Sakamoto T, Yasui H, Boku N, Onozawa Y, Hironaka S, Fukutomi A, Yamazaki K, Taku K, Machida N, Todaka A, Tomita H, Tshushima T, Taniguchi H, Hamauchi S. Comparison of combination chemotherapy with irinotecan and cisplatin regimen administered every 2 or 4 weeks in pretreated patients with unresectable or recurrent gastric cancer;retrospective analysis. Int J Clin Oncol 2010;15(3):287-293.
 - 11) Todaka A, Fukutomi A, Boku N, Onozawa Y, Hironaka S, Yasui H, Yamazaki K, Taku K, Machida N, Sakamoto T, Tomita H. S-1 monotherapy as second-line treatment for advanced pancreatic cancer after gemcitabine failure. Jpn J Clin Oncol 2010;40(6):567-572.
 - 12) Ishii H, Furuse J, Boku N, Okusaka T, Ikeda M, Ohkawa S, Fukutomi A, Hamamoto Y, Nakamura K, Fukuda H. Phase II study of gemcitabine chemotherapy alone for locally advanced pancreatic carcinoma:JCOG0506. Jpn J Clin Oncol 2010;40(6):573-579.
 - 13) Okusaka T, Furuse J, Funakoshi A, Ioka T, Yamao K, Ohkawa S, Boku N, Komatsu Y, Nakamori S, Iguchi H, Ito T, Nakagawa K, Nakachi K. Phase II study of erlotinib plus gemcitabine in Japanese patients with unresectable pancreatic cancer. Cancer Science 2011;102(2):425-431.
 - 14) Takako Eguchi Nakajima, Yasuhide Yamada, Tetsutaro Hamano, Koh Furuta, Takahisa Matsuda, Shin Fujita, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Yasuhiro Shimada. Adipocytokines as new promising markers of colorectal tumors:Adiponectin for colorectal adenoma, and resistin and visfatin for colorectal cancer. Cancer Science 2010;101(5):1286-1291.
 - 15) Kenji Hashimoto, Atsuo Takashima, Kengo Nagashima, Shunsuke Okazaki, Takako Eguchi Nakajima, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Yasuhide Yamada, Yasuhiro Shimada. Progression-free survival in first-line chemotherapy is a prognostic factor in second-line chemotherapy in patients with advanced gastric cancer. J Cancer Res Clin Oncol 2010;136(7):1059-1064.
 - 16) Yasuhide Yamada, Tokuzo Arao, Kazuko Matsumoto, Vinita Gupta, Woei Tan, Joe Fedynshyn, Takako E. Nakajima, Yasuhiro Shimada, Tetsuya Hamaguchi, Kazuto Nishio, Ken Kato, Hirokazu Taniguchi, Yutaka Saito, Takahisa Matsuda, Yoshihiro Moriya, Takayuki Akasu. Plasma concentrations of VCAM-1 and PAI-1:A predictive biomarker for post-operative recurrence in colorectal cancer. Cancer Science 2010;101(8):1886-1890.
 - 17) Tetsuya Hamaguchi, Toshihiko Doi, Takako Eguchi-Nakajima, Ken Kato, Yasuhide Yamada, Yasuhiro Shimada, Nozomu Fuse, Atsushi Ohtsu, Shin-ichi Matsumoto, Yasuhiro Matsumura, Masaya Takanashi. Phase I study of NK012, a novel SN-38-incorporating micellar nanoparticle, in adult patients with solid tumors. Clinical Cancer Research 2010;16(20):5058-5066.
 - 18) Ishii-Watabe A, Saito Y, Suzuki T, Tada M, Ukai M, Maekawa K, Kurose K, Kaniwa N, Sawada JI, Matsumura Y, Kawasaki N, Yamaguchi T, Eguchi Nakajima T, Kato K, Yamada Y, Shimada Y, Yoshida T, Ura T, Saito M, Muro K, Doi T, Fuse N. Genetic polymorphisms of FCGRT encoding FcRn in a Japanese population and their functional analysis. Drug Metab Pharmacokinet 2010;25(6):578-587.
 - 19) Satoru Iwasa, Takako Eguchi Nakajima, Kenichi Nakamura, Atsuo Takashima, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Yasuhide Yamada, Yasuhiro Shimada. Systemic chemotherapy for peritoneal disseminated gastric cancer with inadequate oral intake:a retrospective study. Int J Clin Oncol 2011;16(1):57-62.
 - 20) Satoru Iwasa, Yasuhide Yamada, Takeo Fukagawa, Takako Eguchi Nakajima, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Shinji Morita, Makoto Saka, Hitoshi Katai, Yasuhiro Shimada. Management of adjuvant S-1 therapy after curative resection of gastric cancer:dose reduction and treatment schedule modification. Gastric Cancer 2011;14(1):28-34.
 - 21) Natsuko Tsuda Okita, Ken Kato, Daisuke Takahari, Yoshinori Hirashima, Takako E. Nakajima, Junichi Matsubara, Tetsuya Hamaguchi, Yasuhide Yamada, Yasuhiro Shimada, Kuniaki Shirao, Hirokazu Taniguchi. Neuroendocrine tumors of the stomach: chemotherapy with cisplatin plus irinotecan is effective for gastric poorly-differentiated neuroendocrine carcinoma. Gastric Cancer 2011.
 - 22) Chiharu Tanai, Takako Eguchi Nakajima, Kengo Nagashima, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Kei Muro, Kuniaki Shirao, Hideo Kunitoh, Yasuhiro Matsumura, Yasuhiro Shimada, Seiichi Yamamoto. Characteristics and outcome of patients with advanced gastric cancer who declined to participate in a randomized clinical chemotherapy trial. J Oncol Pract 2011;7:148-153.
 - 23) Koizumi W, Boku N, Yamaguchi K, Miyata Y, Sawaki A, Kato T, Toh Y, Hyodo I, Nishina T, Furuhashi T, Miyashita K, Okada Y. Phase II study of S-1 plus leucovorin in patients with metastatic colorectal cancer. Ann Oncol 2010;21(4):766-771.
 - 24) Koizumi W, Takiuchi H, Yamada Y, Boku N, Fuse N, Muro K, Komatsu Y, Tshuburaya A. Phase II study of oxaliplatin plus S-1 as first-line treatment for advanced gastric cancer (G-Sox study). Ann Oncol 2010;21(5):1001-1005.
 - 25) Atsuo Takashima, Kuniaki Shirao, Yoshinori Hirashima, Daisuke Takahari, Natsuko Okita, Takako E. Nakajima, Ken Kato, Tetsuya Hamaguchi, Yasuhide Yamada, Yasuhiro Shimada. Sequential chemotherapy with methotrexate and

- 5-fluorouracil for chemotherapy-naïve advanced gastric cancer with disseminated intravascular coagulation at initial diagnosis. *J Cancer Res Clin Oncol* 2010;136:243-248.
- 26) Hashimoto K, Takashima A, Nagashima K, Okazaki SS, Nakajima TE, Kato K, Hamaguchi T, Yamada Y, Shimada Y. Progression-free survival in first-line chemotherapy is a prognostic factor in second-line chemotherapy in patients with advanced gastric cancer. *J Cancer Res Clin Oncol* 2010;136:1059-1064.
- 27) Kato K, Muro K, Minashi K, Ohtsu A, Ishikura S, Boku N, Takiuchi H, Komatsu Y, Miyata Y, Fukuda H. Phase II Study of Chemoradiotherapy with 5-Fluorouracil and Cisplatin for Stage II - III Esophageal Squamous Cell Carcinoma:JCOG Trial(JCOG 9906). *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* 2010;:[Epub ahead of print].
- 28) Hamaguchi T, Doi T, Eguchi-Nakajima T, Kato K, Yamada Y, Shimada Y, Fuse N, Ohtsu A, Matsumoto S, Takahashi M, Matsumura Y. Phase I study of NK012, a novel SN-38-incorporating micellar nanoparticle, in adult patients with solid tumors. *Clin Cancer Res* 2010;16:5058-5066.
- 29) Tsushima T, Hironaka S, Boku N, Machida N, Yamazaki K, Yasui H, Taku K, Fukutomi A, Onozawa Y. Safety and efficacy of S-1 monotherapy in elderly patients with advanced gastric cancer. *Gastric Cancer* 2010;13(4):245-250.
- 30) Nishiofuku H, Tanaka T, Aramaki T, Boku N, Inada Y, Sato Y, Matsuoka M, Otsuji T, Arai Y, Kichikawa K. Hepatic arterial infusion of 5-Fluorouracil for patients with liver metastases from colorectal cancer refractory to standard systemic chemotherapy: a multicenter, retrospective analysis. *Clin Colorectal Cancer* 2010;9(5):305-310.
- 31) Doi T, Murakami H, Ohtsu A, Fuse N, Yoshino T, Yamamoto N, Boku N, Onozawa Y, Hsu CP, Gorski KS, Friberg G, Kawaguchi T, Sasaki T. Phase I study of conatumumab, a pro-apoptotic death receptor 5 agonist antibody, in Japanese patients with advanced solid tumors. *Cancer Chemother Pharmacol* 2010;:[Epub ahead of print].
- 32) Asakura H, Hashimoto T, Harada H, Mizumoto M, Furutani K, Hasuike N, Matsuoka M, Ono H, Boku N, Nishimura T. Palliative radiotherapy for bleeding from advanced gastric cancer: is a schedule of 30 Gy in 10 fractions adequate?. *CJ Cancer Res Clin Oncol* 2011;137:125-130.
- 33) Taniguchi H, Yamazaki K, Boku N, Funakoshi T, Hamauchi S, Tsushima T, Todaka A, Sakamoto T, Tomita H, Machida N, Taku K, Fukutomi A, Onozawa Y, Tsubosa Y, Sato H, Nishimura T, Yasui H. Risk factors and clinical courses of chemoradiation-related arterio-esophageal fistula in esophageal cancer patients with clinical invasion of the aorta. *Int J Clin Oncol* 2011;:[Epub ahead of print].

② 総説又は症例解説

- 1) Boku N. Emerging treatment with systemic chemotherapy and targeted agents for biliary cancers. *Curr Opin Investig Drugs* 2010;11(6):653-660.
- 2) Toda Y, Machida N, Boku N. The role of oral fluoropyrimidines in colorectal cancer treatment—a review. *Gan To Kagaku Ryoho* 2010;37(7):1198-1202.

学会発表

① 国内学会

- 1) 木村陽, 町田望, 安達勇, 大坂巖, 朴成和. 消化器癌患者における在宅 IVH の安全性に関する検討. 第 15 回日本緩和医療学会 2010.
- 2) Narikazu Boku. Role of Japan in the global development of new agents for gastrointestinal malignancies. 第 69 回日本癌学会学術総会 2010.
- 3) N.Yamamoto, T.Naito, Y.Onozawa, K.Yamazaki, H.Yasui, K.Taku, M.Niwakawa, R.Yamaguchi, S.Akinaga, N.Boku. Phase I study for KRN951(AV-951), a selective VEGFR receptor 1,2,3 tyrosine kinase inhibitor in Japanese patients with metastatic solid tumors. 第 69 回日本癌学会学術総会 2010.
- 4) 堤莊一, 鮫島伸一, 馬場秀夫, 岡村修, 大植雅之, 島田安博, 朴成和, 渡邊昌彦, 杉原健一. FIRIS: 切除不能大腸癌の二次治療例に対する FOLFIRI 療法と IRIS 療法との第 III 相臨床試験. 第 65 回日本消化器外科学会総会 2010.
- 5) 滝沢耕平, 武藤学, 三梨桂子, 二瓶圭二, 陳勁松, 石原立, 奥野達哉, 朴成和, 福田治彦. Stage I 食道癌に対する EMR+CRT の第 II 相試験(JCOG0508). 第 64 回日本食道学会学術集会 2010.

② 国際学会

- 1) Masanori Tokunaga, Masanori Terashima, Yutaka Tanizawa, Etsuro Bando, Taiichi Kawamura, Narikazu Boku. Gastrectomy does not improve long-term survival rate of gastric cancer patients with peritoneal dissemination. *American College of Surgeons* 2010.
- 2) Takehito Shukuya, Hye-Ran Lee, Masakuni Serizawa, Naohisa Ogo, Akira Asai, Narikazu Boku, Nobuyuki Yamamoto, Yasuhiro Koh. A novel mitotic kinesin Eg5 inhibitor exerts the growth-inhibitory effect in cancer cells in a manner independent of induction of monoastal formation but dependent on KRAS mutation status. *American Association for Cancer Research (AACR)* 2010.
- 3) H Takiuchi, H Fukuda, N Boku, Y Shimada, J Nasu, Y Hamamoto, S Hironaka, K Yamaguchi, A Takashima, A Ohtsu. Randomized phase II study of best-available 5-fluorouracil(5-FU) versus weekly paclitaxel in gastric cancer with peritoneal metastasis(PM) refractory to 5-FU containing regimens: JCOG 0407. *American Society of Clinical Oncology (ASCO)* 2010.
- 4) T Tsuchida, M Muto, K Minashi, H Ono, Y Morita, R Ishihara, I Toshiro, H Kawai, N Boku, H Fukuda. A phase II trial of combined treatment of endoscopic mucosal resection(EMR) and chemoradiotherapy(CRT) for clinical stage I esophageal squamous cell carcinoma(ESCC):Japan clinical oncology group study JCOG0508. *American Society of Clinical Oncology(ASCO)* 2010.
- 5) A Takashima, N Boku, K Kato, J Mizusawa, K Nakamura, H Fukuda, K Shirao, Y Shimada, A Ohtsu. Survival prolongation after treatment failure in patients with advanced gastric cancer(AGC)—Results from combined analysis of JCOG9205 and JCOG9912. *American Society of Clinical Oncology(ASCO)*

臨床腫瘍学

2010.

- 6) E Suzuki, M Ikeda, T Okusaka, S Nakamori, S Ohkawa, T Nagakawa, N Boku, H Yamagimoto, K Sugimori, J Furuse. A multicenter phase II of S-1 in gemcitabine-refractory biliary tract cancer. American Society of Clinical Oncology(ASCO) 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 9 | |
| 論文 | 原著 | 2 | 33 |
| | 総説または解説 | 9 | 2 |
| | 症例報告 | 1 | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 5 | |
| | 国際学会 | 6 | |
| | その他 | | |

学会発表

② 国際学会

- 1) Mutsuko Ihara, Katsuo Tamaoka, Hynjun Lim. Phonetic and Phonological Effects in Japanese Sequential Voicing. Phonlex 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | | |
| | 国際学会 | 1 | |
| | その他 | | |

医学教育文化部門（人文・社会科学）

学術論文 [和文]

- 1) 清泉女子大学キリスト教文化研究所年報第19巻掲載:テーマ『ハンス・キュンクのキリスト教理解における本質と非本質に対する問い』、2011.3.20、p.1-23.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | 1 | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | | |

医学教育文化部門（医学統計学）

著書

- 1) Shinobu Tatsunami, Takahiko Ueno, Rie Kuwabara, Junichi Mimaya, Akira Shirahata, Masashi Taki. Estimation of the Number of Sustained Viral Responders by Interferon Therapy Using Random Numbers with a Logistic Model. Classification as a Tool for Research 2010;509-516.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Takedani H, Fujii T, Kobayashi Y, Haga N, Tatsunami S, Fujii T. Inter-observer reliability of three different radiographic scores for adult haemophilia. Haemophilia 2010 ; 17 (1) : 134-138
- 2) Shinya Tajima, Ichiro Maeda, Yoshihide Kanemaki, Yasuo Nakajima, ShinobuTatsunami, Mamoru Fukuda, Masayuki Takagi. Evaluation of CD56 and CD57 immunostainings for discrimination between endocrine ductal carcinoma in situ and intraductal papilloma. Pathology international 2010 ; 60 (6) : 459-465.
- 3) Ogino S, Miyamoto S, Tenjin T, Kitajima R, Ojima K, Miyake N, Funamoto Y, Arai J, Tsukahara S, Ito Y, Tadokoro M, Anai K, Tatsunami S, Kubota H, Kaneda Y, Yamaguchi N. Effects of discontinuation of long-term biperiden use on cognitive function and quality of life in schizophrenia. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2011;35(1) :78-83.
- 4) Kamiyo-Ikemori Atsuko, Sugaya Takeshi, Yasuda Takashi, Kawata Takehiro, Ota Akio, Tatsunami Shinobu, Kaise Ruriko, Ishimitsu Toshihiko, Tanaka Yasushi, Kimura Kenjiro. Clinical Significance of Urinary Liver-Type Fatty Acid-Binding Protein in Diabetic Nephropathy of Type 2 Diabetic Patients. Diabetes Care 2011;34(3) :691-696.

学会発表

① 国内学会

- 1) 立浪忍, 三間屋純一, 白幡聡, 瀧正志. 本邦の血液凝固異常症における生活習慣病の合併症・既往症の調査結果. 第 72 回日本血液学会総会 2010.
- 2) 立浪忍. 本邦の HIV・HCV 重複感染凝固異常症におけるインターフェロン治療効果について:乱数を用いたロジスティックモデルによる推定. 第 30 回医療情報学連合大会 2010.
- 3) 立浪忍, 桑原理恵, 浅原美恵子, 三間屋純一, 白幡聡, 瀧正志. HIV 感染血液凝固異常症における糖尿病、高血圧症、高脂血症の合併について. 第 24 回日本エイズ学会学術集会 2010.
- 4) 中村治彦, 新明卓夫, 安藤幸二, 望月篤, 栗本典昭, 横手薫美夫, 立浪忍. 非小細胞肺癌患者の生命予後における性別の役割. 第 51 回日本肺癌学会総会 2010.
- 5) 廣井朋子, 立浪忍, 山本多喜男, 桑原理恵, 神山廣司, 松井宏晃. フレキシブルホースを用いた放射性施設排水管の予防保守について. 日本放射線安全管理学会第 9 回学術大会 2010.
- 6) 廣井朋子, 立浪忍, 桑原理恵, 井上雪乃, 神山廣司, 松井宏

晃. 屋上排気設備の予防保守における経験について. 日本放射線安全管理学会第 9 回学術大会 2010.

② 国際学会

- 1) S Tatsunami, M Mimaya, A Shirahata, J Hanai, Y Nishina, K Ohira, M Taki. Long-Term Observation Of Japanese HIV-Infected Hemophiliacs:Changes In The Survival Curve And Coinfection With HCV. 2010 East Asia Haemophilia Forum 2010.
- 2) Tatsunami S, Ueno T, Kuwabara R, Mimaya J, Shirahata A, Taki M. Right-censored Survival Analysis of Data with an Indefinite Initial Time Point. The 19th International Conference on Computational Statistics 2010.
- 3) Tatsunami S, Ueno T, Taki M. Analysis of Free Answered Descriptions from Patients with Coagulation Disorders in Japan. 34th Annual Conference of the German Classification Society 2010.
- 4) Takahiko Ueno, Shinobu Tatsunami. A Non-Parametric Analysis for a Questionnaire Survey. 3rd German-Japanese Workshop 2010.
- 5) Tatsunami S, Kuwabara R, Mimaya J., Shirahata A, Taki M. Status of Hepatitis C Virus infection in Long-Term survivors among human immunodeficiency virus-infected Japanese patients with coagulation disorders. 22nd Annual Conference for the Australasian Society for HIV Medicine 2010.
- 6) Shinya Tajima, Ichiro Maeda, Yoshihide Kanemaki, Hiroshi Shimamoto, Hiroko Okazaki, Keiko Kishimoto, Yasuo Nakajima, Shinobu Tatsunami, Mamoru Fukuda, Masayuki Takagi. Evaluation of CD56 and CD57 Immunostainings for Discrimination between Endocrine Ductal Carcinoma in Situ and Intraductal Papilloma. Bit's 3rd Annual World Cancer Congress 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 1 | |
| 論文 | 原著 | | 4 |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 6 | |
| | 国際学会 | 6 | |
| | その他 | | |

医学教育文化部門（医学教育研究）

著書

- 1) 伊野美幸. 「チーム医療のパートナーシップのために」. 極意を伝授① 2011;1:47.

学会発表

① 国内学会

- 1) 平出敦, 奈良信雄, 伊野美幸, 守屋利佳, 林弘人, 村岡亮. 臨床研修指導医講習会に望まれる技法の検討. 第 42 回日本医学教育学会総会および大会 2010.
- 2) 江島佐知子, 伊野美幸, 熊井俊夫, 内藤麻緒, 伊藤正則, 東郷建, 谷田部かなえ. 医学部新入生に対するプロフェッショナルリズム教育の導入－PBL を用いた試み－. 第 42 回日本医学教育学会総会および大会 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 1 | |
| 論文 | 原著 | | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 2 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | | |

著書

- 1) Ymano Y, Jacobson S. HTLV-1 infected CD4+CD25+CCR4+T-cells disregulate balance of inflammation and tolerance in HTLV-1 associated neuroinflammatory disease. *Immunologic Signatures of Rejection* 2010;:189-198.
- 2) 岡寛. リウマチ病セミナーXXI 治療と副作用. *Immunologic 線維筋痛症(FM)の新しい治療薬* 2010;:210-215.
- 3) 唐澤里江, 尾崎承一. 抗血管内皮細胞抗体. *日本臨床増刊号:広範囲血液・尿化学検査,免疫学的検査(第7版)* 2010;68(6):705-707.
- 4) 山口葉子. 無機質でコートしたコアシェル型ナノカプセル『ナノエッグ』. *コアシェル微粒子の設計・合成技術・応用の展開* 2010;:224-225.

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 岡寛. 厚生労働科学研究補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業、線維筋痛症の発症原因の解明及び治療システムの確立と評価に関する研究 線維筋痛症の痛みの Pain Vision による評価に関する研究. 平成 21 年度厚生労働科学研究補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 研究報告書 2010;:26-27.

② 総説又は症例解説

- 1) 武永美津子, 太田有紀. 再生医療に関する最近の話題. *聖マリアンナ医科大学雑誌* 2010;38(2-3):161-170.
- 2) 佐藤知雄, 中島利博, 山野嘉久. プロスタグランジン関連分子標的薬---とくに抗炎症薬について. *日本臨床* 2010;68(10):1835-1839.
- 3) 遊道和雄. ナノメディスンの運動器疾患治療への応用. *聖マリアンナ医大誌* 2010;38(1):1-8.
- 4) 青島央江, 平良光, 山名修一, 宍戸潔, 竹内睦, 遊道和雄. フラーレン(C60)の関節炎に対する抗炎症、破骨細胞分化・機能抑制効果. *グルコサミン研究* 2010;6:61-67.
- 5) 鈴木越, 木村健二郎. ANP/BNP/CNP. 腎と透析 2010;69:397-399.
- 6) 岡寛, 西岡久寿樹. アダリムマブ、エタネルセプト、インフリキシマブで治療した関節リウマチ患者における治療反応性、寛解率、薬剤継続率の直接比較:デンマークの全国規模の DANBIO 登録者におけるサーベイランスの 8 年間の結果. *日本医事新報* 2010;4489:38.
- 7) 岡寛. 最新 薬物治療の実際 関節リウマチの薬物療法:生物学的製剤治療の実際. *CLINIC magazine* 2010;5(489):24-28.
- 8) 岡寛, 山野嘉久, 遊道和雄, 鈴木登, 須賀万智. 解説 再発性多発軟骨炎の国内疫学調査. *リウマチ科* 2010;44(3):381-383.
- 9) 岡寛, 西岡久寿樹. 海外情報セレクト 抗 CCP 抗体とリウマトイド因子の濃度は男性関節リウマチのより高い活動性を予測する. *日本医事新報*. *日本医事新報* 2010;4509:39.
- 10) 岡寛. ペインクリニックで使用する薬の新展開:E.疾患別治療薬、18.線維筋痛症の薬物療法. *ペインクリニック別冊秋号* 2010;31:425-431.
- 11) 岡寛, 西岡久寿樹. 海外情報セレクト てんかん患者における抗けいれん薬の使用と自傷行為または自殺行為. *日本医事*

新報 2010;4514:63.

- 12) 岡寛, 西岡久寿樹. 海外情報セレクト リウマチの X 線所見の進行と寛解率—二重盲検無作為化 CIMESTRA 試験の 5 年延長試験において MRI の骨髄浮腫および抗 CCP 抗体陽性が X 線上の骨破壊の進行を予測できた. *日本医事新報* 2010;4521:44.
- 13) 岡寛. 線維筋痛症 リウマチと鑑別が必要な疾患とその特徴. *medicina* 2011;48(2):231-233.
- 14) 岡寛, 西岡久寿樹. 海外情報セレクト 免疫抑制療法を受けている関節リウマチ患者における B 型肝炎ウイルスの再活性化の前向き研究. *日本医事新報* 2011;4529:90.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Disratthakit A, Doi N, Takenaga M, Ohta Y. Anti-tuberculosis activity and drug interaction with nevirapine of inhalable lipid microspheres containing rifampicin in murine model. *J Microencapsulation* 2010;27(4):365-371.
- 2) Takenaga M, Ishihara T, Ohta Y, Tokura Y, Hamaguchi A, Igarashi R, Mizushima T. Nano PGE₁ promoted the recovery from spinal cord injury-induced motor dysfunction through its accumulation and sustained release. *J Controlled Release* 2010;148(2):249-254.
- 3) Furukawa R, Yamada Y, Takenaga M, Igarashi R, Harashima H. Octaarginine-modified liposomes enhance the anti-oxidant effect of Lecithinized superoxide dismutase by increasing its cellular uptake. *Biochem. Biophys. Res. Commun* 2011;404(3):796-801.
- 4) Kamihira S, Yamano Y, Iwanaga M, Sasaki D, Satake M, Okayama A, Umeki K, Kubota R, Izumo S, Yamaguchi K, Watanabe T. Inter- and intra-laboratory Variability in HTLV-1 Proviral Load Quantification Using Real-Time Polymerase Chain Reaction Assays: A Multi-Center Study. *Cancer Sci* 2010;101(11):2361-2367.
- 5) Hasegawa D, Fujii R, Yagishita N, Matsumoto N, Aratani S, Izumi T, Azakami K, Nakazawa M, Fujita H, Sato T, Araya N, Koike J, Tadokoro M, Suzuki N, Nagata K, Senoo H. E3 Ubiquitin Ligase Synoviolin Is Involved in Liver Fibrogenesis. *PLoS One* 2010;5(10):e13590.
- 6) Sato T, Konomi K, Fujii R, Aono H, Aratani S, Yagishita N, Araya N, Yudoh K, Beppu M, Yamano Y, Nishioka K, Nakajima T. Prostaglandin EP2 receptor signalling inhibits the expression of matrix metalloproteinase 13 in human osteoarthritic chondrocytes. *Ann Rheum Dis* 2011;70(1):221-226.
- 7) Araya N, Takahashi K, Sato T, Nakamura T, Sawa C, Hasegawa D, Ando H, Aratani S, Yagishita N, Fujii R, Oka H, Nishioka K, Nakajima T, Mori N, Yamano Y. Fucoidan therapy decreases the proviral load in patients with human T-lymphotropic virus type1-associated neurological disease. *Antivir Ther* 2011;16(1):89-98.
- 8) Karasawa R, Kurokawa MS, Yudoh K, Masuko K, Ozaki S, Kato T. Peroxiredoxin 2 is a novel autoantigen for anti-endothelial cell antibodies in systemic vasculitis. *Clin Exp Immunol* 2010;161(3):459-470.
- 9) Oba Shigeyoshi, Kumano Shintaro, Suzuki Etsu, Nishimatsu

Hiroaki, Takahashi Masao, Takamori Hajime, Kasuya Masatoshi, Ogawa Yousuke, Sato Kenichiro, Toshiro Fujita, Kimura Kenjiro, Homma Yukio, Hirata Yasunobu. miR-200b precursor can ameliorate renal tubulointerstitial fibrosis. PLoS One 2010;5(10):e13614.

- 10) Yudoh K, Karasawa R. Statin prevents chondrocyte aging and degeneration of articular cartilage on osteoarthritis(OA). AGING 2010;2(12):990-998.

② 総説又は症例解説

- 1) Matsuura E, Yamano Y, Jacobson S. Neuroimmunity of HTLV-I Infection. J Neuroimmune Pharmacol 2010;5(3):310-325.
- 2) Sato T, Azakami K, Ando H, Araya N, Yamano Y. Human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1) and innate immunity. Inflammation and Regeneration 2011;31(1):110-115.
- 3) Karasawa R, Fujieda M, Yudoh K. Detection of specific markers ;Our research on the marker in patients with Kawasaki disease. Japanese Journal of Clinical Immunology 2010;33(4):207-213.
- 4) Karasawa R, Yudoh K, Ozaki S, Kato T. Anti-endothelial cell antibodies(AECA) in patients with systemic vasculitis: our research using proteomics. Expert Opin Biol Ther 2011;11(1):77-87.

学会発表

① 国内学会

- 1) 古屋直樹, 武永美津子, 太田有紀, 都倉享恵, 濱口明美, 宮沢輝臣. エラスターゼ誘導肺気腫モデルラットにおけるASCs移植の効果. 第50回日本呼吸器学会 2010.
- 2) 古川亮, 山田勇磨, 武永美津子, 五十嵐理慧, 原島秀吉. 効率的な細胞内導入を目的としたレンチン化 SOD (PC-SOD) 搭載 R8 リポソームの構築およびその機能評価. 日本薬剤学会第25年会 2010.
- 3) 井上肇, 太田有紀, 富岡みゆき, 都倉享恵, 武永美津子. “潤うコラーゲン 15000” (低分子コラーゲン) 服用による関節リウマチ発症予防効果. 第10回 抗加齢学会 2010.
- 4) 武永美津子, 石原務, 太田有紀, 都倉享恵, 濱口明美, 五十嵐理慧, 水島徹. Nano PGE1 製剤の外傷性脊髄損傷モデルにおける体内動態と治療効果. 第26回日本 DDS 学会 2010.
- 5) 太田有紀, 古屋直樹, 都倉享恵, 濱口明美, 宮沢輝臣, 武永美津子. エラスターゼ誘導肺気腫ラットにおける脂肪組織由来細胞移植の効果. 第31回日本炎症再生医学会 2010.
- 6) 古屋直樹, 武永美津子, 太田有紀, 濱口明美, 都倉享恵, 恵坂巻綾, 宮澤輝臣. エラスターゼ誘導肺気腫モデルラットへの脂肪組織由来幹細胞移植の効果. 第7回東京呼吸器リサーチフォーラム 2010.
- 7) 岡寛, 遊道和雄, 山野嘉久, 清水潤, 須賀万智, 鈴木登, 尾崎承一. 我が国の再発性多発軟骨炎の臨床像と治療の実態に関する疫学調査~162 症例の集計結果. 第54回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 8) 村田三奈子, 遊道和雄, 唐沢里江, 中村洋, 別府諸兄, 加藤智啓, 増子佳世. 関節軟骨における低酸素環境とMMP-1,-3,-13の発現についての検討. 第54回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.

- 9) 増子佳世, 村田三奈子, 遊道和雄, 別府諸兄, 中村洋, 加藤智啓. ヒト関節軟骨細胞における CTGF/CCN2 のプロスタグランジンによる制御. 第54回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 10) 増子佳世, 遊道和雄. スフィンゴシン 1 リン酸のヒト関節軟骨細胞への作用の解析. 第31回日本・炎症再生医学会 2010.
- 11) 太田有紀, 都倉享恵, 濱口明美, 武永美津子. 外傷性脊髄損傷に対する脂肪組織由来幹細胞移植の効果. 第10回日本再生医療学会 2011.
- 12) 藤井亮爾, 佐藤知雄, 許斐康爾, 青野浩之, 八木下尚子, 山野嘉久, 別府諸兄, 西岡久寿樹, 中島利博. リウマチ滑膜炎特異的に発現する新規滑膜増殖因子 SPACIA1. 第54回日本リウマチ学会 2010.
- 13) 山野嘉久, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 鈴木登. HAM における血中 sIL-2R と IP-10 のバイオマーカーとしての有用性. 第51回日本神経学会 2010.
- 14) 山野嘉久, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 安藤仁, 神奈木真理, 田中勇悦, 宇都宮與. HAM における IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性 T 細胞の発生機構とその脊髄炎症病巣へのリクルート機構に関する解析. 第3回 HTLV-1 研究会 2010.
- 15) 佐藤知雄, 新谷奈津美, 安藤仁, 山野嘉久. HAM の疾患活動性血中バイオマーカーの同定およびステロイドの長期予後改善効果に関する検討. 第3回 HTLV-1 研究会 2010.
- 16) 新谷奈津美, 佐藤知雄, 神奈木真理, 田中勇悦, 宇都宮與, 山野嘉久. HTLV-関連脊髄症 (HAM) における HTLV-1 tax を介した IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性 T 細胞発生機構の解析. 第3回 HTLV-1 研究会 2010.
- 17) 新谷奈津美, 佐藤知雄, 安藤仁, 宇都宮與, 山野嘉久. HTLV- 関連脊髄症 (HAM) における IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性 T 細胞発生の分子機構解析. 第33回日本分子生物学会 2010.
- 18) Wu Yaqiong, Takahashi Hidenori, Numabe Atsushi, Yanagi Yasuo, Tamaki Yasuhiro, Suzuki Etsu, Yamazaki Tadashi, Araie Makoto, Uehara Yoshio. The Dual Regulatory Effects of Calcium Channel Blockers in Signal Transduction in Vascular Smooth Muscle Cells. 第33回日本高血圧学会 2010.
- 19) 松本美富士, 西岡久寿樹, 村上正人, 岡寛. 線維筋痛症ガイドライン(2009). 第107回日本内科学会総会・講演会 2010.
- 20) 岡寛, 西岡洋右, 西岡久寿樹. 関節リウマチにおけるトシリズマブ治療の寛解率. 第54回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 21) 岡寛. 疲労と内科的疾患 特にリウマチ性疾患の疲労について. 第6回日本疲労学会総会・学術集会シンポジウム 2010.
- 22) 岡寛. 線維筋痛症の痛みの PainVision による評価. 日本線維筋痛症学会第2回学術集会 2010.
- 23) 岡寛, 西岡久寿樹. 線維筋痛症に対する薬物療法の考え方「鋼薬薬の適応と有効性」. 日本線維筋痛症学会第2回学術集会 2010.
- 24) 岡寛. 改訂された線維筋痛症の新しい診断基準 (ACR2010) の本邦患者の評価. 第25回日本臨床リウマチ学会 2010.
- 25) 松本美富士, 岡寛, 岡本連三, 近藤正一, 渋谷美雪, 松原司, 村澤章. 日本リウマチ財団の取り組み: リウマチケア看護師制度. 第25回日本臨床リウマチ学会 2010.
- 26) 松本美富士, 西岡久寿樹, 浦野房三, 行岡正雄, 村上正人, 宮岡等, 岡寛, 長田賢一, 班目健夫, 横田俊平. 本邦「線維筋

- 痛症診療ガイドライン 2009」. 第 25 回日本臨床リウマチ学会 2010.
- 27) 唐澤里江, 太田和秀, 藤枝幹也, 遊道和雄. Our research on anti-*peroxiredoxin2* antibodies in patients with Kawasaki disease. 第 30 回日本川崎病学会学術集会 2010.
- 28) 山口葉子. 本当に機能性化粧品は必要か? DDS 技術を取り入れた化粧品の開発. 第 26 回日本 DDS 学会ランチョンセミナー 2010.
- 29) 山口葉子. スキンケア化粧品開発のブレークスルーになる技術. 第 28 回関西界面化学セミナー 2010.
- 30) 山口葉子. 基調講演 ナノカプセル化が開く薬剤の未来. 静岡大学生物産業創出推進拠点 第 25 回研究会 2010.
- 31) 山口葉子. 構造物理と生体メカニズムとの関係 -皮膚再生と経皮吸収-. 第 1 回 Marianna Research Council (MRC) 2010.
- 32) 久保田芳樹, 長澤輝明, 山口葉子. トレチノインナノカプセル (NANOEGG) による皮膚色素沈着及びしわの治療効果-副作用の軽減を示した 臨床研究を中心に-. 第 10 回日本抗加齢医学会 2010.
- 33) 長澤輝明, 久保田芳樹, 山口葉子, 横山朋典, 五十嵐理慧. リオトロピック液晶 (NANOCUBE) による色書沈着改善効果-スキンケア化粧品・医薬部外品への配合による高機能化-. 第 10 回日本抗加齢医学会 2010.
- 34) 武蔵弥菜, 長澤輝明, 山口葉子, 久保田芳樹, 山下裕司, 横山朋典. 皮膚賦活剤によるニキビモデルマウスの毛穴への効果. 第 35 回日本化粧品学会 2010.
- 35) 岡本一起, 三井寛之, 末松直也, 黒川真奈絵, 有戸光美, 永井宏平, 佐藤利行, 遊道和雄, 加藤智啓. グルココルチコイドセプター・コアクティベーター (MTI-II) による抗炎症作用. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会 2010.
- 36) 三井寛之, 岡本一起, 末松直也, 黒川真奈絵, 有戸光美, 永井宏平, 佐藤利行, 遊道和雄, 別府諸兄, 加藤智啓. 新規の核内レセプター・コアクティベーター (MTI-II) タンパク質の細胞内への導入. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会 2010.
- 37) 岡寛, 遊道和雄, 山野嘉久, 清水潤, 須賀万智, 尾崎承一, 鈴木登. 本邦における再発性多発軟骨炎の疫学調査研究 (第 1 報: 臨床像および治療の実態調査 102 例の報告). 第 20 回日本リウマチ学会関東支部学術集会 2010.
- 38) 古屋直樹, 武永美津子, 太田有紀, 都倉享恵, 濱口明美, 宮沢輝臣. エラストーゼ誘導肺気腫モデルラットにおける ASCs 移植の効果. 第 10 回日本再生医療学会 2011.
- ② 国際学会
- 1) Furukawa R, Yamada Y, Takenaga M, Igarashi R, Harashima H. Octaarginine-modified liposome enhances anti-oxidant effect of PC-SOD through the improvement of intracellular trafficking. 13th Liposome Research Days Conference 2010.
- 2) Karasawa R, Kato T, Ozaki S, Yudoh K. NOVEL AUTOANTIGEN FOR ANTI-ENDOTHELIAL CELL ANTIBODY (AECA) IDENTIFIED BY PROTEOMICS IN VASCULITIS. British Society for Rheumatology 2010.
- 3) Masuko K, Murata M, Yudoh K, Nakamura H, Kato T. PROSTAGLANDIN E2 REGULATES CTGF/CCN2 EXPRESSION IN HUMAN ARTICULAR CHONDROCYTES. British Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 4) Yudoh K, Masuko K, Kato T. TELOMERIZED AND REJUVENATED PRE-SENESCENT CHONDROCYTES ARE FUNCTIONAL TO MAINTAIN THE CARTILAGE MATRIX IN VITRO AND IN VIVO. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 5) Karasawa R, Yudoh K. IGG ANTIBODIES TO PEROXIREDOXIN2: A USEFUL MARKER FOR KAWASAKI DISEASE. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 6) Karasawa R, Kato T, Ozaki S, Yudoh K. THE ROLE OF THE AUTOANTIBODIES TO PEROXIREDOXIN2, AUTOANTIGEN FOR ANTI-ENDOTHELIAL CELL ANTIBODY (AECA), IN PATHOGENESIS OF SYSTEMIC VASCULITIS. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 7) Yudoh K, Oka H, Yamano Y, Shimizu J, Suzuki N. RELAPSING POLYCHONDRITIS IN JAPAN: EPIDEMIOLOGIC STUDY OF 239 CASES. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 8) Yudoh K, Karasawa R, Masuko K, Shishido K, Takeuchi M, Yamana S, Aoshima H, Kato T. Nanomedicine and Osteoarthritis: What Can We Expect for the Future?. 2010 World Congress on Osteoarthritis 2010.
- 9) Kannagi M, Kinpara S, Hasegawa A, Shimizu Y, Oiki H, Masuda T, Yamano Y, Utsunomiya A. Double control of viral expression by innate and acquired immunity in Human T-cell leukemia virus type-I infection. 14th International Congress of Immunology 2010.
- 10) Yamano Y. HTLV-1 infected CD4+CD25+CCR4+ T-cells disregulate balance of inflammation and tolerance in HTLV-1 associated neuroinflammatory disease. Viruses, Genes and Cancer 2010.
- 11) Sato T, Araya N, Suzuki N, Yamano Y. The plasma levels of soluble IL-2 receptor and CXCL10 are useful indicators for disease activity in patients with HAM/TSP. Viruses, Genes and Cancer 2010.
- 12) Araya N, Sato T, Utsunomiya A, Jacobson S, Yamano Y. HTLV-1 promotes the plasticity of HTLV-1 infected T-cells through the regulation of T-bet transcriptional activation in HAM/TSP. Viruses, Genes and Cancer 2010.
- 13) Yamano Y. Noble advance in rheumatology by Asian rheumatologist—Current novel achievement in rheumatology. 14th Congress of Asia Pacific League of Associations for Rheumatology 2010.
- 14) Karasawa R, Yudoh K. A useful marker for Kawasaki disease. 14th International Congress of Immunology 2010.
- 15) Yudoh K, Karasawa R. Mitochondria 8-Oxouanine DNA Glycosylase (Ogg1) Regulates the Cellular Function and Survival of Osteoarthritic Chondrocytes in Response to Catabolic Stress in Osteoarthritis. American College of Rheumatology, 74th Annual Scientific Meeting 2010.
- 16) Karasawa R, Fujieda M, Ohta K, Yudoh K. Detection of Specific Markers Using Proteomics: Our Research on the Marker in Patients with Kawasaki Disease (KD). American College of Rheumatology, 74th Annual Scientific Meeting 2010.
- 17) Kitazono T, Okazaki T, Yamano Y, Yamada Y, Inoue M, Ozaki S. Both qualitative increase of TCR-binding capacity and quantitative increase of the TCRs on the cell surface define the

難病治療研究センター

higher avidity of Tax-specific CTL in HLA-A2 transgenic mice. 14th International Congress of Immunology 2010.

③ その他

- 1) 山野嘉久. HAM の重症度別治療指針に資する疾患活動性バイオマーカーの有用性とステロイド治療による反応性. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費補助金 難知性疾患克服研究事業「HAM の新規バイオマーカー同定による重症度別治療指針の作成と病因細胞標的治療法の開発」平成 22 年度第 2 回合同班会議 2011.
- 2) 山野嘉久. HAM における HTLV-1 Tax によるヘルパー CD4+T 細胞の可塑的变化とその慢性炎症病変形成への関与. 平成 22 年度免疫性神経疾患に関する調査研究班 班会議 2011.
- 3) 山野嘉久. HAM の重症度別治療指針に資する疾患活動性バイオマーカーの有用性とステロイド治療による反応性. 平成 22 年度免疫性神経疾患に関する調査研究班 班会議 2011.
- 4) 山野嘉久, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 中村龍文, 森直樹, 首藤紘一, 宇都宮與. HTLV-1 感染細胞を標的とした治療法の開発. 厚生労働省科学研究費補助金研究事業 2010 年度 HTLV-1 関連合同班会議 2011.
- 5) 山野嘉久. 線維筋痛症について. 線維筋痛症友の会 医療講演会 2010.
- 6) 山野嘉久. HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型)について. 公明党北区総会 2010.
- 7) 山野嘉久. 白血病ウイルス(HTLV-1)と HAM について 一政府 HTLV-1 特命チームの進捗状況も含めて一. HAM 患者会 関東支部講演会 2010.
- 8) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症の診断および治療に関する研究. 六医科大学合同新技術説明会 2010.
- 9) 山野嘉久. 政府 HTLV-1 特命チームによる HTLV-1 総合対策の全貌. 市民健康講演会「感染症ウイルス」2011.
- 10) 山野嘉久. HTLV-1 を学ぶ～適切な保健相談・指導のために～. みなと保健所 保健師部門研修 2011.
- 11) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症(HAM)の臨床と研究. 難治性疾患克服研究事業に関する市民・研究者シンポジウム「難病研究と創薬」2011.
- 12) 山野嘉久. HAM について. 厚生労働省主催 HTLV-1 母子感染予防対策全国研修会 2011.
- 13) 山野嘉久. HTLV-1 ウイルスと母子感染対策. 東京都医師会主催 平成 22 年度妊婦健康診査における HTLV-1 抗体検査の実施に関する研修会 2011.
- 14) 岡寛. 線維筋痛症の新しい治療展開. 石川県神経科精神科医学会学術講演会 2010.
- 15) 岡寛. 関節リウマチにおけるトシズマブ使用の実際. 第 3 回アクテムラ適正使用検討会 2010.
- 16) 岡寛. 関節リウマチに間質性肺炎を伴った症例解析～肺感染症を含めて～. 第 4 回市原リウマチカンファレンス 2010.
- 17) 岡寛. 線維筋痛症の新しい治療展開. 第 8 回整形外科痛みを語る会 特別講演 2010.
- 18) 岡寛. 第 1 部:RA,AS 領域 演題 1 関節リウマチ治療の up to date. 第 2 回 TNF- α 阻害剤のメカニズムを考える会 2010.
- 19) 岡寛. 特別講演 リウマチ性疾患における慢性疼痛症. 第 20 回千葉膠原病セミナー 2010.
- 20) 岡寛. 線維筋痛症の新しい治療展開. 医療法人十全会 おおらクリニック 第 2 回一般公開医療講演会 2010.
- 21) 岡寛. 線維筋痛症の新しい治療展開. 線維筋痛症友の会

医療講演会 in 千葉 2010.

- 22) 岡寛. 特別講演 関節リウマチにおける寛解導入の意義～トシズマブを中心として～. 第 2 回 道北臨床リウマチ研究会 (日本医師会生涯教育講座) 2011.
- 23) 遊道和雄. 関節リウマチ治療の現状と未来、次に来るもの. 第 49 回新潟リウマチ研究会 2010.
- 24) 遊道和雄. 医療現場から産業界に望むこと-共に歩み医療向上にむけて-. かわさきライフサイエンスネットワーク事業講演会 2011.
- 25) 遊道和雄. 平成 21 年度の研究成果を基に計画された薬物療法の有効性を評価する臨床試験(前向き試験)について. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費 補助金難治性疾患克服研究事業 再発性多発性軟骨炎の診断と治療体系の確立班 第 1 回班会議 2011.
- 26) 遊道和雄. 症例提示と新たな治療研究の案について. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費 補助金難治性疾患克服研究事業「再発性多発性軟骨炎の診断と治療体系の確立班」第 2 回班会議 2010.
- 27) 北菌貴子, 岡崎貴裕, 山野嘉久, 山田恭暉, 田中勇悦. HLA-A2 トランスジェニックマウスをもちいた Tax 特異的細胞障害性 T 細胞の解析. 第 3 回 HTLV-1 研究会・合同班会議 2010.
- 28) 山野嘉久. HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型)について. 公明党東京都本部女性局勉強会 2010.
- 29) 武永美津子. 再生医療研究-最近の動向. 聖マリアンナ医大リサーチカンファレンス 2011.

| | | 和 文 | 英 文 |
|------|---------|-----|-----|
| 著 書 | | 4 | |
| 論 文 | 原著 | 1 | 10 |
| | 総説または解説 | 14 | 4 |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 38 | |
| | 国際学会 | 17 | |
| | その他 | 29 | |

アイソトープ研究施設

著書

- 1) Shinobu Tatsunami, Takahiko Ueno, Rie Kuwabara. Estimation of the Number of Sustained Viral Responders by Interferon Therapy Using Random Numbers with a Logistic Model. Classification as a Tool for Research 2010;509-516.

学会発表

① 国内学会

- 1) 廣井朋子, 立浪忍, 桑原理恵, 井上雪乃, 神山廣司, 松井宏晃. 屋上排気設備の予防保守における経験について. 日本放射線安全管理学会第9回学術大会 2010.
- 2) 廣井朋子, 立浪忍, 山本多喜男, 桑原理恵, 神山廣司, 松井宏晃. フレキシブルホースを用いた放射性施設排水管の予防保守について. 日本放射線安全管理学会第9回学術大会 2010.
- 3) 立浪忍, 桑原理恵, 浅原美恵子, 三間屋純一, 白幡聡, 瀧正志. HIV 感染血液凝固異常症における糖尿病、高血圧症、高脂血症の合併について. 第24回日本エイズ学会学術集会 2010.

② 国際学会

- 1) Tatsunami S, Ueno T, Kuwabara R, Mimaya J, Shirahata A, Taki M. Right-censored Survival Analysis of Data with an Indefinite Initial Time Point. The 19th International Conference on Computational Statistics 2010.
- 2) Tatsunami S, Kuwabara R, Mimaya J, Shirahata A, Taki M. Status of Hepatitis C Virus infection in Long-Term survivors among human immunodeficiency virus-infected Japanese patients with coagulation disorders. 22nd Annual Conference for the Australasian Society for HIV Medicine 2010.
- 3) Osada K, Haga T, Ogawa Y, Matsui H, Nakano M, Asakura M, Yamaguchi N. Fluvoxamine and Sigma-1 Receptor Agonists Dehydroepiandrosterone (DHEA)-sulfate Induces the Ser473-Phosphorylation of Akt-1 in PC12 Cells. 41th Annual Meeting of Neuroscience 2010.
- 4) Ogawa Y, Osada K, Nakano M, Matsui H, Asakura M, Yamaguchi N. Milnacipran was a substrate for P-glycoprotein in the hippocampal neuronal in vitro system of HT22 cells. Neuroscience 2010.
- 5) Haga T, Osada K, Ogawa Y, Nakano M, Matsui H, Asakura M, Yamaguchi N. The expression and transporter function of P-glycoprotein was in the hippocampal neuronal in vitro system of HT22 cells. Neuroscience 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | 1 |
| 論文 | 原著 | | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 3 | |
| | 国際学会 | 5 | |
| | その他 | | |

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Mikihito Hayashi, Naoki Matsumoto, Mikihito Hayashi, Sachiko Takenoshita-Nakaya, Yuko Takeba, Minoru Watanabe, Toshio Kumai, Masayuki Takagi, Masami Tanaka, Takehito Otsubo, Shinichi Kobayashi. Individual metabolic capacity evaluation of cytochrome P450 2C19 by protein and activity in the small intestinal mucosa of Japanese pancreatoduodenectomy patients. Biological & Pharmaceutical Bulletin 2011;34(1): 71-76.

Takeba, Y Harimoto, S Takenoshita, Y Kinoshita, M Yamauchi, S Kobayashi, F Miyake, H Musha, S Kobayashi. Influence of VKORC1 polymorphism on PT-INR adherence to the target therapeutic range in long-term warfarin therapy. World Pharma 2010 16th World Congress on Basic and Congress of Basic and Clinical Pharmacology 2010.

学会発表

① 国内学会

- 1) 田中政巳, 横見出, 渡辺実, 須藤カツ子, 佐藤均, 五十嵐恒雄, 関あづさ, 小林慎一. 自然発症軟骨石灰化不全ラット(CCIラット)における fibroblast growth factor18 の役割. 第 84 回日本薬理学会年会 2011.
- 2) 田中政巳, 横見出, 渡辺実, 須藤カツ子, 佐藤均, 五十嵐恒雄, 関あづさ, 小林慎一. 自然発症軟骨石灰化不全ラット(CCIラット)における骨化異常と遺伝子発現の解析. 第 57 回日本実験動物学会総会 2010.
- 3) 渡辺実, 松本直樹, 田中政巳, 武半優子, 張本敏江, 熊井俊夫, 小林真一. ヒト肝癌組織における DNA メチル化に対する肝基礎疾患の影響. 第 84 回日本薬理学会年会 2011.
- 4) 張本敏江, 竹ノ下(中谷)祥子, 武半優子, 松本直樹, 渡辺実, 熊井俊夫, 田中政巳, 小泉哲, 中野浩, 小林真一, 大坪毅人. 日本人小腸における薬物代謝酵素 CYP3A4 および, 3A5 の蛋白発現に及ぼす遺伝子多型の影響. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 5) 天野均, 井上利志子, 田中政巳, 小林真一, 山田庄司. CCIラットにおける頭蓋顔面異常に関する研究. 第 30 回日本骨形態計測学会 2010.
- 6) 松本直樹, 熊井俊夫, 張本敏江, 竹ノ下祥子, 田中政巳, 渡辺実, 木下雄一, 武半優子, 小林真一. 臨床試験登録を教材とした臨床研究学習方法. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 7) Izuru YOKOMI, Masami TANAKA, Katsuko SUDO, Hitoshi SATOH. Cytogenetical study of self-renewal capacity of Trisomy 1 by repeated transplantation from paraplegia CCI rat spleen origin. 財団法人染色体学会第 61 回(2010 年度)年会 2010.

② 国際学会

- 1) Minoru Watanabe, N Matsumoto, T kumai, M Tanaka, Y Mitani, S Kobayashi. VKORC1 and CYP2C9 genotyping using a rapid single nucleotide polymorphism(SNP) detection system named smart amplification process(smartamp) method. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.
- 2) 田中政巳, I Yokomi, M Watanabe, K Sudo, H Satoh, T Igarashi, A Seki, S Kobayashi. Analysis of gene expression in the spontaneously cartilage calcification insufficient(CCI) rat. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.
- 3) Naoki Matsumoto, M Watanabe, T Kumai, M Tanaka, Y

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | | 1 |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 7 | |
| | 国際学会 | 3 | |
| | その他 | | |

著書

- 1) 木村健二郎. 腎生検病理診断に必要な臨床情報. 腎生検病理アトラス 2010; :3-9.
- 2) Sato Yoko, Nozawa Shiari, Yoshiike Miki, Arai Michiko, Sasaki Chizuko, Iwamoto Teruaki. Xenografting of testicular tissue from an infant human donor results in accelerated testicular maturation. Hum Reprod 2010;25(5):1113-1122.

学術論文 [和文]

② 総説又は症例解説

- 1) 安田隆. コレステロール塞栓症と急性腎不全. 日本内科学会雑誌 2010;99(5):943-949.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Matsui Katsuomi, Kamijo-Ikemori Atsuko, Hara Masanori, Sugaya Takeshi, Kodama Tkamitsu, Fujitani Sigeki, Taira Yasuhiko, Yasuda Takashi, Kimura Kenjiro. Clinical significance of tubular and podocyte biomarkers in acute kidney injury. Clin Exp Nephrol 2011;15(2):220-225.
- 2) Suguru Igarashi, Nao Suzuki, Marie Osada, Seido Takae, Wataru Tarumi, Bunpei Ishizuka. Cryopreservation of ovarian tissue after pretreatment with a gonadotropin-releasing hormone agonist. Reproductive Medicine and Biology 2010; (9):197-203.
- 3) Sato Yoko, Nozawa Shiari, Yoshiike Miki, Arai Michiko, Sasaki Chizuko, Iwamoto Teruaki. Xenografting of testicular tissue from an infant human donor results in accelerated testicular maturation. Hum Reprod 2010;25(5):1113-1122.

学会発表

① 国内学会

- 1) 山口葉子. 基調講演. 静岡大学生物産業創出推進拠点第25回研究会 2010.
- 2) 花田健, 谷澤雅彦, 嶋崎美奈子, 櫻田勉, 白井小百合, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎. Mantle type B cell Lymphomaに伴う膜性腎症にリツキシマブ投与が奏功した1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 3) 鶴岡佳代, 島芳憲, 市川大介, 村尾命, 関谷秀介, 木村健二郎. アミロイドーシスが疑われたが腎生検で診断に至らず, Necropsy で AL アミロイドーシスと診断した1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 4) 横山健, 福田鈴子, 佐々木浩代, 今井五郎, 佐藤武夫, 木村健二郎. 大量胸水を合併し治療に難渋した全身性 AL アミロイドーシスの1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 5) 福田鈴子, 花田健, 小坂橋賢一郎, 白井小百合, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎, 小池淳樹, 萩本剛一. 家族性の lipoprotein glomerulopathy を発症した1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 6) 小島茂樹, 江東邦夫, 北島和樹, 佐々木秀郎, 宮野佐哲, 堤久, 佐藤雄一, 力石辰也, 安田隆, 木村健二郎. 血液透析患

者における黄色肉芽腫性腎盂腎炎の一例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.

- 7) 上原圭太, 柴垣有吾, 山内淳司, 安田隆, 木村健二郎. Crystal storing histiocytosis を呈した Bence Jones 型多発性骨髄腫の一例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 8) 清水さやか, 花田健, 白井小百合, 柴垣有吾, 木村健二郎. 尋常性天疱瘡・シェーグレン症候群に合併した AA アミロイドーシスによる腎障害を来した1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 9) 末木志奈, 富永直人, 白井小百合, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎. C-ANCA 陽性 PR3-ANCA 陰性全身型 Wegener 肉芽腫で急性腎傷害を呈した1例. 第40回日本腎臓学会東部学術大会 2010.
- 10) 市川大介, 鶴岡佳代, 村尾命, 関谷秀介, 島芳憲, 木村健二郎. 急性糸球体腎炎でステロイド治療、透析療法を要した1例. 第574回日本内科学会関東地方会例会 2010.
- 11) 山口葉子. スキンケア化粧品開発のブレイクスルーになる技術. 第28回関西界面化学セミナー 2010.
- 12) 御手洗哲也, 岩野正之, 武曾恵理, 湯村和子, 頼岡徳在, 川村哲也, 木村健二郎, 古巢朗, 宇都宮保典, 酒井紀, 富野康日己, 細谷龍男. IgA 腎症に対するカクテル療法の多施設共同研究. 第53回日本腎臓学会学術総会 2010.
- 13) 小坂橋賢一郎, 岡本一起, 白井小百合, 安田隆, 木村健二郎, 加藤智啓. 腎生検検体からの糸球体の単離方法とその有用性の検討. 第53回日本腎臓学会学術総会 2010.
- 14) 白井小百合, 大石大輔, 小坂橋賢一郎, 金城永幸, 柴垣有吾, 安田隆, 木村健二郎, 小池淳樹. IgA 腎症の予後予測における旧分類と Oxford 分類の比較検討. 第53回日本腎臓学会学術総会 2010.
- 15) 久保田芳樹, 長澤輝明. トレチノインナノカプセル (NANOEGG) による皮膚色素沈着及びしわの治療効果-副作用の軽減を示した 臨床研究を中心に-. 第10回日本抗加齢医学会 2010.

② 国際学会

- 1) Matsui Katsuomi, Kamijo Atsuko, Hara Masaki, Yasuda Takashi, Kimura Kenjiro, Sugaya Takeshi. Clinical Significance of Tubular and Podocyte Biomarkers in Acute Kidney Injury. American Society of Nephrology, Renal Week 2010.
- 2) Koitabashi Kenichiro, Yasuda Takashi, Kimura Kenjiro. Isolation of Whole Glomeruli from a Needle Biopsy Sample of a Patient with Glomerulonephritis. American Society of Nephrology, Renal Week 2010.

③ その他

- 1) 大塩恒太郎, 小野寺英孝, 内田将司, 田中雄一郎, 橋本卓雄. 自然発症 II 型糖尿病ラットの脳細小動脈レベルにおける動脈硬化性変化の組織学的検討と髄液持続還流法を用いた頭蓋内圧波形解析によるコンプライアンス評価の試み. 平成22年度構成労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究」班会議会 2010.

大学院電子顕微鏡研究施設

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | 2 | |
| 論文 | 原著 | | 3 |
| | 総説または解説 | 1 | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 15 | |
| | 国際学会 | 2 | |
| | その他 | 1 | |

学術論文 [和文]

② 総説又は症例解説

- 1) 太田智彦. BRCA 遺伝子異常と標的治療. がん分子標的治療 2010;8(2):46-51.
- 2) 太田智彦. 「DNA 損傷応答と乳癌の薬剤感受性」. 乳癌の臨床 2010;25(6):609-615.
- 3) 太田智彦. 「乳がん」. 遺伝子診療学(第2版)ー遺伝子診断の進歩とゲノム治療の展望ー(日本臨床) 2010;984(8):438-43.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Iwase H, Kurebayashi J, Tsuda H, Ohta T, Kurosumi M, Miyamoto K, Yamamoto Y, Iwase T. Clinicopathological analyses of triple negative breast cancer using surveillance data from the Registration Committee of the Japanese Breast Cancer Society. Breast Cancer 2010;17(2):118-24.
- 2) Koike A, Nishikawa H, Wu W, Okada Y, Venkitaraman AR, Ohta T. Recruitment of phosphorylated NPM1 to sites of DNA damage through RNF8-dependent ubiquitin conjugates. Cancer Res 2010;70(17):6746-56.
- 3) Wu W, Sato K, Koike A, Nishikawa H, Koizumi H, Venkitaraman AR, Ohta T. HERC2 is an E3 ligase that targets BRCA1 for degradation. Cancer Res 2010;70(15):6384-92.
- 4) Ohno Y, Yasunaga S, Ohtsubo M, Mori S, Tsumura M, Okada S, Ohta T, Ohtani K, Kobayashi M, Takihara Y. Hoxb4 transduction down-regulates Geminin protein, providing hematopoietic stem and progenitor cells with proliferation potential. Proc Natl Acad Sci U S A 2010;107(50):21529-34.

② 総説又は症例解説

- 1) Sato K, Ohta T, Venkitaraman AR. A mitotic role for the DNA damage-responsive CHK2 kinase. Nat Cell Biol 2010;12(5):424-5.

学会発表

① 国内学会

- 1) 太田智彦. 乳がんの DNA 相同組換え修復異常とユビキチン. 第69回日本癌学会学術総会・シンポジウム 2010.
- 2) 太田智彦. DNA 損傷応答と乳癌の薬剤感受性. 第18回日本乳癌学会学術総会・シンポジウム 2010.

② 国際学会

- 1) Tomohiko Ohta. Recruitment of phosphorylated NPM1 to sites of DNA damage through RNF8-dependent ubiquitin conjugates. EMBO Workshop -The interface between the ubiquitin family and the DNA damage response 2010.
- 2) Tomohiko Ohta. The DNA damage repair pathway in breast cancer chemotherapy. The 23rd International Symposium of the Foundation for Promotion of Cancer Research“Recent Progress on Breast Cancer 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | | 4 |
| | 総説または解説 | 3 | 1 |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 2 | |
| | 国際学会 | 2 | |
| | その他 | | |

学術論文 [和文]

① 原著

- 1) 小林真一, 松本直樹, 中野重行, 川合眞一, 渡邊裕司, 長谷川純一, 藤村昭夫, 木村健二郎, 熊井俊夫. 臨床試験を適正に行える医師養成のための教育システムの構築: 日本臨床薬理学会の果たすべき役割-臨床試験を適正に行える医師の教育に関するアンケート調査(その1). 臨床薬理 2011;42(1): 5-10.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Kazuma Kiyotani, Makiko Shimizu, Toshio Kumai, Tetsuya Kamataki, Shinichi Kobayashi, Hiroshi Yamazaki. Limited effects of frequent CYP2D6*36-10 tandem duplication allele on in vivo dextromethorphan metabolism in a Japanese population. Eur J Clin Pharmacol 2010;66(10): 1058-1065.

学会発表

① 国内学会

- 1) 武半優子, 松本直樹, 熊井俊夫, 渡辺実, 小林真一. ヒト初代培養肝細胞の CYP3A4 と薬物トランスポーターの活性維持のための培養法の検討. 第 84 回日本薬理学会年会 2011.
- 2) 渡辺実, 松本直樹, 田中政巳, 武半優子, 張本敏江, 熊井俊夫, 小林真一. ヒト肝癌組織における DNA メチル化に対する肝基礎疾患の影響. 第 84 回日本薬理学会年会 2011.
- 3) 熊井俊夫, 渡辺実, 武半優子, 松本直樹, 小池淳樹, 小林真一. 高血糖誘発高血圧脂質異常症自然発症ラットの脂質沈着血管壁におけるミトコンドリア異常. 第 84 回日本薬理学会年会 2011.
- 4) 張本敏江, 竹ノ下(中谷)祥子, 武半優子, 松本直樹, 渡辺実, 熊井俊夫, 田中政巳, 小泉哲, 中野浩, 小林真一, 大坪毅人. 日本人小腸における薬物代謝酵素 CYP3A4 および, 3A5 の蛋白発現に及ぼす遺伝子多型の影響. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 5) 山崎浩史, 熊井俊夫, 神作文康, 横塚牧人, 村山典恵, 清水万紀子, 館田武志, 小林真一. 全身性麻酔薬プロポフォール の覚醒遅延、薬物動態と薬物代謝酵素遺伝子多型の関連性. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 6) 松本直樹, 熊井俊夫, 張本敏江, 竹ノ下祥子, 田中政巳, 渡辺実, 木下雄一, 武半優子, 小林真一. 臨床試験登録を教材とした臨床研究学習方法. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 7) 武半優子, 熊井俊夫, 絵野沢伸, 池谷武志, 松本直樹, 中野浩, 大坪毅人, 小林真一. 基盤プレート(Cell-able)を用いた初代培養ヒト肝細胞の CYP3A4 mRNA 発現の検討. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.
- 8) 熊井俊夫, 松本直樹, 竹ノ下(中谷)祥子, 張本敏江, 小林真一. 全国 300 床以上の国公立医療機関における臨床研究の倫理指針等に関するアンケート調査. 第 31 回日本臨床薬理学会年会 2010.

② 国際学会

- 1) Minoru Watanabe, N Matsumoto, T Kumai, M Tanaka, Y Mitani, Y Hayashizaki, S Kobayashi. VKORC1 and CYP2C9 genotyping using a rapid single nucleotide polymorphism(SNP) detection system named smart amplification process(smartamp) method. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.
- 2) Yuko Takeba, N Matsumoto, T Kumai, M Watanabe, Y Kinoshita, S Kobayashi. IL-16 accelerates cell proliferation mediated by ERK-cyclin D1 pathway in hepatocellular carcinoma. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.
- 3) Shinichi Kobayashi, S Takenoshita-Nakaya, Y Kinoshita, N Matsumoto, Y Takeba, T Kumai. CYP2D6 mRNA expression and genetic polymorphism in the small intestine of Japanese. 16th World Congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.
- 4) Yuichi Kinoshita, M Hayashi, N Matsumoto, Y Takeba, T Kumai, S Kobayashi. Individual differences of CYP2C19 mRNA expression in the small intestine of Japanese subjects. 16th World congress on Basic and Clinical Pharmacology 2010.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | 1 | 1 |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 8 | |
| | 国際学会 | 4 | |
| | その他 | | |

学術論文 [和文]

② 総説又は症例解説

- 1) 遊道和雄. ナノメディシンの運動器疾患治療への応用. 聖マリアンナ医大誌 2010;38(1):1-8.
- 2) 青島央江, 平良光, 山名修一, 宍戸潔, 竹内睦, 遊道和雄. フラーレン(C60)の関節炎に対する抗炎症、破骨細胞分化・機能抑制効果. グルコサミン研究 2010;6:61-67.
- 3) 岡寛, 山野嘉久, 遊道和雄, 鈴木登, 須賀万智. 再発性多発軟骨炎の国内疫学調査. リウマチ科 2010;9(44):381-383.

学術論文 [英文]

① 原著

- 1) Karasawa R, Kurokawa MS, Yudoh K, Masuko K, Ozaki S, Kato T. Peroxiredoxin 2 is a novel autoantigen for anti-endothelial cell antibodies in systemic vasculitis. Clin Exp Immunol 2010;161(3):459-470.
- 2) Yudoh K, Karasawa R. Statin prevents chondrocyte aging and degeneration of articular cartilage on osteoarthritis(OA). AGING 2010;2(12):990-998.
- 3) Sato T, Konomi K, Fujii R, Aono H, Aratani S, Yagishita N, Araya N, Yudoh K, Beppu M, Yamano Y, Nishioka K, Nakajima T. Prostaglandin EP2 receptor signalling inhibits the expression of matrix metalloproteinase 13 in human osteoarthritic chondrocytes. Ann Rheum Dis 2011;70(1):221-226.

② 総説又は症例解説

- 1) Karasawa R, Fujieda M, Yudoh K. Detection of specific markers ;Our research on the marker in patients with Kawasaki disease. Japanese Journal of Clinical Immunology 2010;33(4):207-213.
- 2) Karasawa R, Yudoh K, Ozaki S, Kato T. Anti-endothelial cell antibodies(AECA) in patients with systemic vasculitis: our research using proteomics. Expert Opin Biol Ther 2011;11(1):77-87.

学会発表

① 国内学会

- 1) 岡寛, 遊道和雄, 山野嘉久, 清水潤, 須賀万智, 鈴木登, 尾崎承一. 我が国の再発性多発軟骨炎の臨床像と治療の実態に関する疫学調査～162 症例の集計結果. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 2) 村田三奈子, 遊道和雄, 唐沢里江, 中村洋, 別府諸兄, 加藤智啓, 増子佳世. 関節軟骨における低酸素環境とMMP-1,-3,-13の発現についての検討. 第54回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 3) 増子佳世, 村田三奈子, 遊道和雄, 別府諸兄, 中村洋, 加藤智啓. ヒト関節軟骨細胞における CTGF/CCN2 のプロスタグランジンによる制御. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2010.
- 4) 増子佳世, 遊道和雄. スフィンゴシン 1 リン酸のヒト関節軟骨細胞への作用の解析. 第 31 回日本・炎症再生医学会 2010.
- 5) 唐澤里江, 太田和秀, 藤枝幹也, 遊道和雄. Our research on anti-peroxiredoxin2 antibodies in patients with Kawasaki

disease. 第 30 回日本川崎病学会学術集会 2010.

- 6) 岡寛, 遊道和雄, 山野嘉久, 清水潤, 須賀万智, 尾崎承一, 鈴木登. 本邦における再発性多発軟骨炎の疫学調査研究(第 1 報:臨床像および治療の実態調査 102 例の報告. 第 20 回日本リウマチ学会関東支部学術集会 2010.
- 7) 三井寛之, 岡本一起, 末松直也, 黒川真奈絵, 有戸光美, 永井宏平, 佐藤利行, 遊道和雄, 別府諸兄, 加藤智啓. 新規の核内レセプター・コアクティベーター(MTI-II)タンパク質の細胞内への導入. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会 2010.
- 8) 岡本一起, 三井寛之, 末松直也, 黒川真奈絵, 有戸光美, 永井宏平, 佐藤利行, 遊道和雄, 加藤智啓. グルココルチコイドレセプター・コアクティベーター(MTI-II)による抗炎症作用. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会合同大会 2010.

② 国際学会

- 1) Karasawa R, Kato T, Ozaki S, Yudoh K. NOVEL AUTOANTIGEN FOR ANTI-ENDOTHELIAL CELL ANTIBODY (AECA) IDENTIFIED BY PROTEOMICS IN VASCULITIS. British Society for Rheumatology 2010.
- 2) Masuko K, Murata M, Yudoh K, Nakamura H, Kato T. PROSTAGLANDIN E2 REGULATES CTGF/CCN2 EXPRESSION IN HUMAN ARTICULAR CHONDROCYTES. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 3) Yudoh K, Masuko K, Kato T. TELOMERIZED AND REJUVENATED PRE-SENESCENT CHONDROCYTES ARE FUNCTIONAL TO MAINTAIN THE CARTILAGE MATRIX IN VITRO AND IN VIVO. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 4) Karasawa R, Yudoh K. IGG ANTIBODIES TO PEROXIREDOXIN2:A USEFUL MARKER FOR KAWASAKI DISEASE. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 5) Karasawa R, Kato T, Ozaki S, Yudoh K. THE ROLE OF THE AUTOANTIBODIES TO PEROXIREDOXIN2, AUTOANTIGEN FOR ANTI-ENDOTHELIAL CELL ANTIBODY (AECA), IN PATHOGENESIS OF SYSTEMIC VASCULITIS. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 6) Yudoh K, Oka H, Yamano Y, Shimizu J, Suzuki N. RELAPSING POLYCHONDRIITIS IN JAPAN: EPIDEMIOLOGIC STUDY OF 239 CASES. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2010.
- 7) Karasawa R, Yudoh K. A useful marker for Kawasaki disease. 14th International Congress of Immunology 2010.
- 8) Yudoh K, Karasawa R, Masuko K, Shishido K, Takeuchi M, Yamana S, Aoshima H, Kato T. Nanomedicine and Osteoarthritis: What Can We Expect for the Future?. 2010 World Congress on Osteoarthritis 2010.
- 9) Yudoh K, Karasawa R. Mitochondria 8-Oxouanine DNA Glycosylase(Ogg1) Regulates the Cellular Function and Survival of Osteoarthritic Chondrocytes in Response to Catabolic Stress in Osteoarthritis. American College of Rheumatology, 74th Annual Scientific Meeting 2010.
- 10) Karasawa R, Fujieda M, Ohta K, Yudoh K. Detection of Specific Markers Using Proteomics: Our Research on the Marker in Patients with Kawasaki Disease(KD). American

難治性疾患病態制御学

College of Rheumatology, 74th Annual Scientific Meeting 2010.

④ その他

- 1) 遊道和雄. 平成 21 年度の研究成果を基に計画された薬物療法の有効性を評価する臨床試験(前向き試験)について. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費 補助金難治性疾患克服研究事業「再発性多発性軟骨炎の診断と治療体系の確立班」第 1 回班会議 2010.
- 2) 遊道和雄. 関節リウマチ治療の現状と未来、次に来るもの. 第 49 回新潟リウマチ研究会 2010.
- 3) 遊道和雄. 症例提示と新たな治療研究の案について. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費 補助金難治性疾患克服研究事業「再発性多発性軟骨炎の診断と治療体系の確立班」第 2 回班会議 2010.
- 4) 遊道和雄. 医療現場から産業界に望むこと-共に歩み医療向上にむけて-. かわさきライフサイエンスネットワーク事業講演会 2011.

| | | 和 文 | 英 文 |
|------|---------|-----|-----|
| 著 書 | | | |
| 論 文 | 原著 | | 3 |
| | 総説または解説 | 3 | 2 |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 8 | |
| | 国際学会 | 10 | |
| | その他 | 4 | |

学会発表

① 国内学会

- 1) 渡部雄一, 高間久美子, 富岡みゆき, 千代倉友博, 菅谷文人, 井上肇, 熊谷憲夫. 多血小板血漿 (PRP)療法の研究(4) - PRP の血管新生への影響-. 第2回 PRP(多血小板血漿)療法研究会 2010.
- 2) 渡部雄一, 高間久美子, 富岡みゆき, 千代倉友博, 菅谷文人, 井上肇, 熊谷憲夫. 多血小板血漿 (PRP)療法の研究(5) - PRP の in vitro における評価-. 第 10 回 日本再生医療学会総会 2011.

| | | 和文 | 英文 |
|------|---------|----|----|
| 著書 | | | |
| 論文 | 原著 | | |
| | 総説または解説 | | |
| | 症例報告 | | |
| | その他 | | |
| 学会発表 | 国内学会 | 2 | |
| | 国際学会 | | |
| | その他 | | |